

**「アクションプログラム 2014」
実施結果**

**平成 27 年 8 月
川 崎 市**

目 次

第1章 「アクションプログラム 2014」の取組

- 1 「アクションプログラム 2014」について..... 2
- 2 アクションプログラムの基本戦略と重点課題 2
- 3 アクションプログラムの進行管理 4

第2章 事務事業・重点課題の取組結果

- 1 事務事業の達成状況 8
- 2 重点課題の達成状況 9

附属資料 「アクションプログラム 2014」重点課題進行管理シート

- 1 重点課題進行管理シートについて..... 12
- 2 重点課題進行管理シート＜全体版＞ 15
- 3 重点課題進行管理シート 掲載ページ索引..... 111

参考資料 帳票

- 1 様式 1 事務事業進行管理シート 117
- 2 様式 2 事務事業進行管理シート（重点課題用） 118
- 3 様式 3 事務事業進行管理シート（その他の事務事業用） 119
- 4 様式 4 「アクションプログラム 2014」に基づく重点課題進行管理シート
..... 120

第 1 章

「アクションプログラム 2014」の取組

第1章 「アクションプログラム 2014」の取組

1 「アクションプログラム 2014」について

川崎市がめざす方向について、総合的なビジョンと目標を示す新たな総合計画及び行財政改革に関する計画の策定に向けた作業を平成26年度からスタートし、約2年をかけて策定しています。

そのため、新たな総合計画や行財政改革に関する計画を策定するまでの間は、施政方針、予算及び「行財政運営に関する改革プログラム」をもって、市政運営の基本的な方針とし、これを「アクションプログラム 2014」（以下「アクションプログラム」という。）として平成26年3月に策定しました。

新たな総合計画等をスタートさせるまでの2年間は、このアクションプログラムに基づいて、優先度の高い課題の解決に取り組むとともに、事務事業の見直しや施策・事業の重点化を図るなど、メリハリのある行財政運営を進めていきます（図表1-1参照）。また、アクションプログラムに位置付けた事業については、効果的・効率的に進行管理を実施し、その結果を次年度以降の事業へ反映することなどにより、行財政運営を的確に進めていきます。

〔図表1-1〕 アクションプログラムの推進イメージ

年度	施政方針	予算	行財政改革	アクションプログラム
H26(2014)年度	H26年度施政方針	H26年度予算	行財政運営に関する改革プログラム	2014
H27(2015)年度	H27年度施政方針	H27年度予算		2015

↓

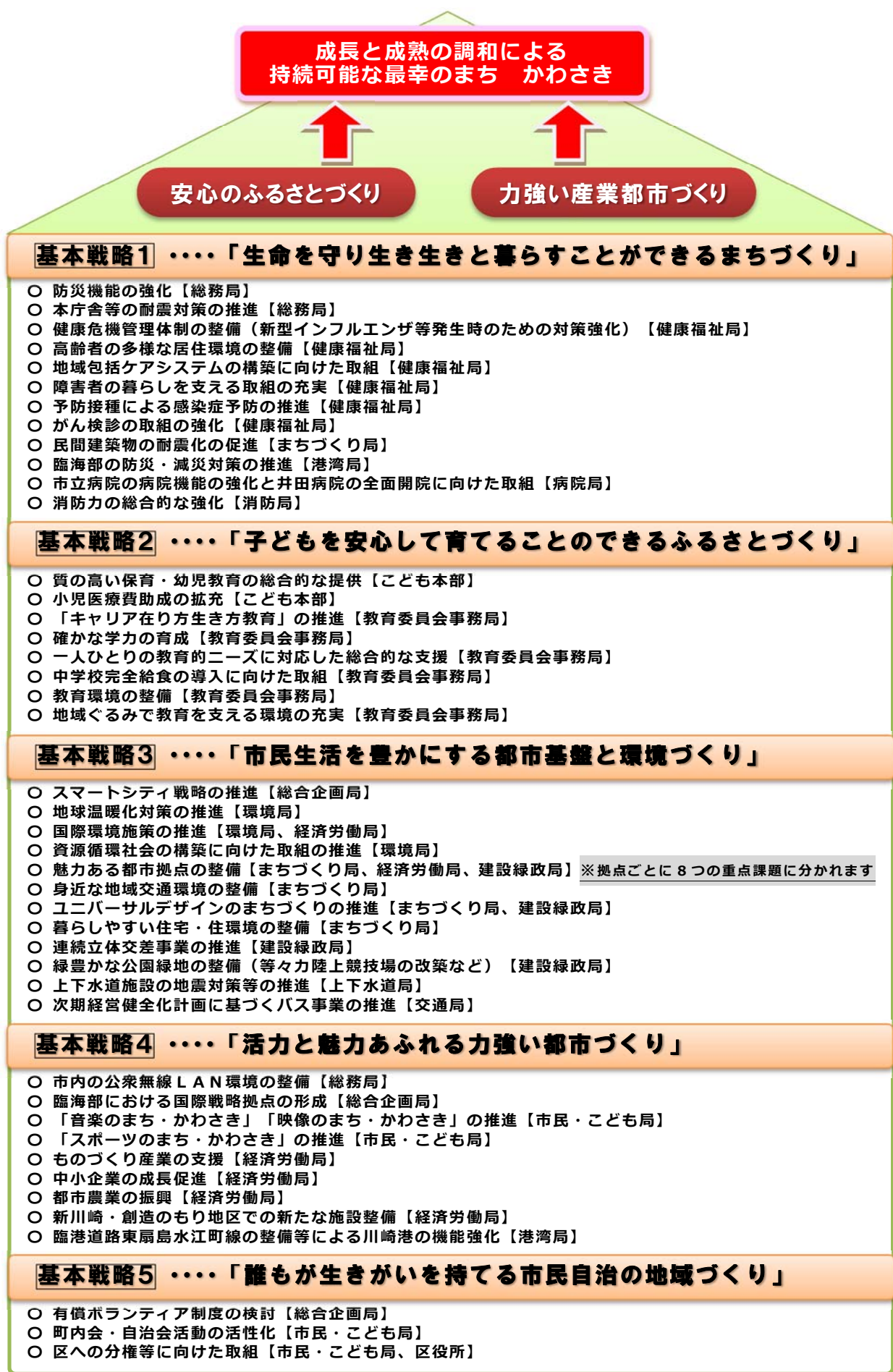
H28(2016)年度以降……新たな総合計画及び行財政改革の計画の推進

2 アクションプログラムの基本戦略と重点課題

アクションプログラムでは、子どもたちの笑顔があふれるまちづくりを進めるなどの「安心のふるさとづくり」やライフイノベーションなど成長産業への投資をはじめとした「力強い産業都市づくり」、行財政改革の取組の一層の推進などの基本的な認識に基づく取組の第一歩として、5つの基本戦略を掲げ、平成26年度の施政方針及び予算に主要な取組内容を盛り込みました。

また、基本戦略を推進するための重点的な取組として、平成26年度予算において特に重点的に取り組む事業とされているもの及びそれ以外で市の優先的な課題に対する取組で事業の進捗状況を重点的に把握していく必要性が大きいものを「重点課題」として位置付けました（図表1-2参照）。

〔図表 1－2〕 5つの基本戦略と重点課題の構成イメージ



3 アクションプログラムの進行管理

アクションプログラムの進行管理については、5つの基本戦略に基づく事務事業を中心に、概ね1年毎に事務事業単位の目標の達成状況や基礎情報等の把握を行います。また、重点課題として位置付けた44件の取組については、アクションプログラムを推進する中心的な取組であることから、より詳細に進捗状況を把握し、目標に対する達成状況の進行管理を行う必要があります。そこで、事務事業単位に加えて、重点課題毎に目標の達成状況等について半年毎に把握することで、着実な進行管理を行うこととしています（図表1－3、1－4参照）。

また、事務事業や重点課題は、4種類の帳票（管理シート）を評価のツールとして用い、進行管理を行っています（図表1－5参照）。

進行管理を行う中で得られた取組結果については、予算編成、組織整備・職員配置計画策定作業への活用や新たな総合計画に向けた政策体系等の再構築に活用するものとし、次年度以降の取組へ着実に反映し、取組を推進するとともに、市民等への適切な説明に活用するものとしています。

〔図表1－3〕 事務事業・重点課題の関係



〔図表 1－4〕 事務事業や重点課題の進行管理の方法

【事務事業の進行管理】

	把握する事項の例	実施 周期	実施目的
5つの基本戦略に基づく事務事業 【911事業】 様式1	・目標 ・達成状況、成果 ・課題等 ・基礎情報 (事務事業名称、概要、予決算額、人工等)	1年 ごと	・予算編成、組織整備・職員配置計画策定作業等への活用 ・新たな総合計画に向けた政策体系等の再構築
重点課題に位置付けられた事業 【187事業】 様式2	・目標 ・達成状況、成果 ・課題等 ・基礎情報	半年 ごと	
その他の事務事業 (内部管理事務等) 【676事業】 様式3	・基礎情報 (目標設定・実績把握による進行管理は行わない。)	1年 ごと	新たな総合計画に向け、必要に応じた事務事業の見直し、再構築

【重点課題の進行管理】

	把握する事項の例	実施 周期	実施目的
重点課題 【51課題】 様式4	・目標 ・指標 ・達成状況、成果 ・課題等	半年 ごと	重点課題については、次の目的で重点的な進行管理(半年単位での実績把握)を行う。 ・次年度以降の取組への着実な反映 ・取組の着実な推進 ・議会及び市民への適切な説明

〔図表 1－5〕 進行管理様式一覧

様式1	事務事業進行管理シート
	「アクションプログラム2014」の5つの基本戦略に基づく事務事業のうち、重点課題に位置付けられた事務事業を除いたものが対象
様式2	事務事業進行管理シート（重点課題用）
	「アクションプログラム2014」に基づく重点課題に位置付けられた事務事業が対象
様式3	事務事業管理シート
	内部管理事務等が対象
様式4	「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート
	「アクションプログラム2014」に基づく重点課題及びそれに位置付けられた事務事業が対象

※ 様式類については、巻末に掲載

第 2 章

事務事業・重点課題の取組結果

第2章 事務事業・重点課題の取組結果

1 事務事業の達成状況

「アクションプログラム2014」の5つの基本戦略に基づく911の事務事業のうち、「目標を上回った」事務事業は10件（1.1%）、「目標をほぼ達成した」事務事業は882件（96.8%）あり、全体としては概ね順調に進捗しました。

一方で、建設費等の高騰による入札不調や地中埋設物の影響で、建設工期が遅れたものなど「目標を下回った」事務事業が19件（2.1%）ありました。

<事務事業の達成状況区分>

達成状況区分		各区分に該当するケース	事務事業数		構成比(%)	
				重点課題対象事業		重点課題対象事業
1	目標を大きく上回った	●目標に明記した期日よりも相当早く達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに大きく貢献した。 ●目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。 ●目標に明記した数値を大きく上回った。	0	0	—	—
2	目標を上回った	●目標に明記した期日よりも早めに達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに貢献した。 ●目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。 ●目標に明記した数値を上回った。	10	4	1.1	2.1
3	目標をほぼ達成した	●目標に明記した期日、内容どおりに達成した。 ●途中で多少の遅れはあったものの、最終期限には間に合う形で、目標に明記した内容どおりに達成した。 ●目標に明記した数値とほぼ同じであった。 ●おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。	882	174	96.8	93.1
4	目標を下回った	●目標に明記した内容は達成したが、期日が遅れた。 ●目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。 ●目標に明記した数値を下回った。 ●所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。	19	9	2.1	4.8
5	目標を大きく下回った	●目標に明記した期日よりも遅れ、明記した内容に満たない水準であった。 ●目標に明記した数値を大きく下回った。	0	0	—	—
合 計			911	187	100	100

2 重点課題の達成状況

(1) 全体結果

「アクションプログラム2014」に基づく51の重点課題のうち、「目標を上回る成果があった」重点課題は2件（3.9%）、「目標通りの成果があった」重点課題は45件（88.2%）あり、全体としては概ね順調に進捗しました。

一方で、建設費の高騰などによる影響で建設工期が遅れたものなど「目標を下回る成果があった」重点課題が4件（7.9%）ありました。

<重点課題の実施結果区分>

実施結果区分	基本戦略別の内訳					合計	構成比(%)
	基本戦略1 生命を守り生き 生きと暮らすこ とができるまち づくり	基本戦略2 子どもを安心 して育てるこ とのできるふ るさとづくり	基本戦略3 市民生活を豊 かにする都市 基盤と環境づ くり	基本戦略4 活力と魅力あ ふれる力強い 都市づくり	基本戦略5 誰もが生きが いを持てる市 民自治の地域 づくり		
目標を上回 る成果があ った	0	1	0	1	0	2	3.9
目標通りの 成果があっ た	9	6	19	8	3	45	88.2
目標を下回 る成果があ った	3	1	0	0	0	4	7.9
ほとんど成 果なし	0	0	0	0	0	0	—
合 計	12	8	19	9	3	51	100

※ 重点課題の件数は44件ですが、基本戦略3の「魅力ある都市拠点の整備」が拠点ごとに8件に分かれるため、全体の重点課題数は51件となっています。

※ 重点課題の実施結果区分については、16ページ以降に掲載している『「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート』における「重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分」の結果を集計したものです。

(2) 実施結果区分が「目標を上回る成果があった」重点課題 (2 件)

	重点課題名	事務事業	実施結果区分についての説明 (要約)	頁
1	質の高い保育・幼児教育の総合的な提供	・認可保育所の整備※ ・民間保育所の運営 ・認可外保育施設の支援 ・公立保育所の運営 ・保育にかかる補助金 ・保育料対策事業 ・児童福祉施設苦情解決第三者委員会運営 ・保育職員の育成事業 ・待機児童ゼロ対策の推進 ・幼児教育の振興事業 ・幼児園児保育料補助事業	2015 年 4 月に向けた当初の認可保育所の整備計画である <u>1,540 人の定員増を拡充するため、法人募集を第 3 次まで実施するとともに、既存保育園の定員増や川崎認定保育園の認可化等を含め、2,180 人の認可保育所等の定員枠を確保</u> しました。	38
2	臨海部における国際戦略拠点の形成	・国際戦略拠点地区整備推進事業 ・羽田連絡道路関連事業※	羽田連絡道路については、 <u>国主催の推進委員会において、関係者間の合意が図られ、整備に向けた検討・調整が開始されるなど、当初目標を上回る進捗</u> がありました。	92

※は、総合的な評価の中で、実施結果区分の判定に寄与した事務事業

(3) 実施結果区分が「目標を下回る成果があった」重点課題 (4 件)

	重点課題名	事務事業	実施結果区分についての説明 (要約)	頁
1	防災機能の強化	・危機管理対策事業 ・臨海部・津波防災対策事業 ・防災施設整備事業※ ・帰宅困難者対策推進事業	備蓄倉庫の整備については、 <u>入札不調により、49 箇所の目標に対し 24 箇所の整備</u> となりましたが、2015 年度に整備を行う予定です。	16
2	高齢者の多様な居住環境の整備	・介護サービスの基盤整備事業※	特別養護老人ホームの整備については、 <u>建築資材の単価高騰等</u> により、工期に遅れが生じました。また、「小規模多機能型居宅介護」及び「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」については、 <u>事業者の参入が進まない等</u> により、目標を下回る結果となりました。今後は、計画に基づく整備を計画的かつ効果的に推進していきます。	21
3	予防接種による感染症予防の推進	・予防接種事業※	麻しん風しんの予防接種について、第 1 期は、 <u>目標接種率 (95%)</u> に対し、 <u>実績が 98.6%で目標を達成</u> しましたが、第 2 期については、 <u>実績が 91.6%で目標を未達成</u> となりました。2015 年度は、予防接種台帳管理システムが稼働することに伴い、未接種者を把握し、再勧奨を行っていきます。	28
4	中学校完全給食の導入に向けた取組	・中学校給食等運営事業※	中学校完全給食については、2014 年 10 月に「中学校完全給食実施方針」を策定し、2016 年度中に全校実施する方針を公表いたしました。が、 <u>昨今の建設需要のひっ迫、建設人材・建設資材の不足等の状況を勘案して一部事業スケジュールを見直し、2016 年 1 月から東橋中学校で試行実施、2016 年度中に一部実施、2017 年度中に全校実施することといたしました</u> 。今後は、変更後の事業スケジュールに従い、中学校完全給食の早期実施に向けた取組を着実に推進してまいります。	48

※は、総合的な評価の中で、実施結果区分の判定に影響を与えた事務事業

附 属 資 料

「アクションプログラム 2014」

重点課題進行管理シート

附属資料 「アクションプログラム 2014」重点課題進行管理シート

1 重点課題進行管理シートについて

「重点課題進行管理シート」は、評価のツールとして活用しているもので、51の重点課題ごとに課題の目標に対して、どれだけの成果が得られたのか等について、重点課題所管課が作成し、配下の事務事業の所管課と調整の上取りまとめたものです。評価票の帳票イメージと記載内容の見方は次のとおりとなります。

帳票を作成した所管局課名を（平成27年3月末時点）に記載しています。以後の組織整備により、直近の所管局と異なっている場合があります。

評価の対象となる重点課題名を記載しています。

基本戦略 生命を守り、ちづくり

作成課 病院局経営企画室（経営企画担当）

関係課 病院局川崎病院事務局庶務課、病院局井田病院事務局庶務課、病院局経営企画室（井田病院再編整備担当）

重点課題の内容等

重点課題の内容

重点課題の解決に向けた目標

「アクションプログラム2014」に位置付けられた施政方針の分野別の重点施策を踏まえた重点的に解決すべき課題の内容を記載しています。

「重点課題の内容」で記載された課題の解決を図ることによって、目指すべき方向や状態、あるべき姿を記載しています。

重点課題名 市立病院の病院機能の強化と井田病院の全面開院に向けた取組

重点課題の解決に向けた目標

「重点課題の内容」で記載された課題の解決を図ることによって、目指すべき方向や状態、あるべき姿を記載しています。

重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半	区分	1年間	区分		
川崎病院の運営	取組内容・目標 ●地域周産期母子医療センターの安定的な運営 ●救急医療拡充・体制強化（医療人材確保） ●高度・特殊・急性期医療充実に向けた施設利用の検討 ●助産外来の評価 ●地域医療連携の体制強化 ●病院の大規模修繕計画の策定 重点課題に位置付けられた事務事業の上半期の目標とその実績を記載しています。	実績等（目標との差異や次期の方向性等） 概ね目標どおり達成できました。 ●救命救急センターに救急業務嘱託員として新たに救急救命士を任用し、体制強化を図りました。 ●外来説明スペースの拡充に向けた検討を行いました。 ●助産外来の患者アンケート調査を実施しました。 ●地域医療支援病院検討委員会を設置するとともに、紹介患者予約センター設置の準備を行いました。 ●今後更新が必要な設備等の洗い出しなど、大規模修繕計画策定の準備を行いました。	3	取組内容・目標 ●地域周産期母子医療センターの安定的な運営 ●救急医療拡充・体制強化（医療人材確保） ●高度・特殊・急性期医療充実に向けた施設利用の検討・実施 ●助産外来の評価及び拡充検討 ●地域医療連携の体制強化 ●病院の大規模修繕計画を視野に入れた再整備（スマート化）の検討 重点課題に位置付けられた事務事業の1年間の目標とその実績を記載しています。	実績等（目標との差異や次期の方向性等） 概ね目標どおり達成できました。 ●救命救急センターに救急業務嘱託員として新たに救急救命士を任用し、体制強化を図りました。 ●外来説明スペースの拡充を行いました。 ●助産外来対象者の増加に向けた調査・検討を行いました。 ●地域医療支援病院検討委員会や紹介患者予約センターの設置、医師会等への登録医制度の協力要請などに取り組みしました。 ●ESCO調査及び中長期保全計画の内容検討など、大規模修繕計画策定の準備を行いました。	3
井田病院の運営	取組内容・目標 ●地域がん診療連携拠点病院及び救急告示病院としての救急室の拡充などの機能強化に向けた準備及び取組の実施 ●下半期に予定されている新棟全面開院に向けた調整・準備 ●市立病院間の連携強化と在宅医療の支援を含めた病診連携等の推進（地域医療支援病院の承認に向けた取組） ●緩和ケア病棟の安定的な運営	実績等（目標との差異や次期の方向性等） 目標どおり達成できました。 ●10月のがん拠点病院更新申請の準備を行うとともに、救急センター開設に向け検討プロジェクトを設置しました。 ●冊子「地域連携と井田病院の役割」を地域の医療機関や患者に配布するとともに、症例検討会等を開催し、病診連携を推進しました。 ●5月から緩和ケア病棟を3床増床し、運用を開始しました。	3	取組内容・目標 ●地域がん診療連携拠点病院及び救急告示病院としての機能強化の取組 ●再編工事第2期の完成に伴う、管理部門等の移転及び病棟増床に向けた準備 ●市立病院間の連携強化と在宅医療の支援を含めた病診連携等の推進（地域医療支援病院の承認に向けた取組） ●緩和ケア病棟の安定的な運営 当該事務事業に対する評価結果として選択した区分を記載しています（評価区分の内容については、次ページ参照）。	実績等（目標との差異や次期の方向性等） 目標どおり達成できました。 ●地域がん診療連携拠点病院の更新（1年）が承認されました。 ●また、救急センターを開設し運用を開始しました。 ●再編整備2期工事の完成に伴い、全面開院に向けた整備、移転作業を完了しました。 ●症例検討会やがんセンターボードの開催や広報資料の活用等により、地域の医療機関との病診連携を推進しました。 ●緩和ケア病棟は増床によって、前年度を上回る実績となりました。	3
井田病院改築工事の推進	取組内容・目標 ●井田病院改築工事の着実な推進 ●2期工事の進捗管理 ●3期工事の設計図面の確定と土壌調査委託の発注 ●斜面防護工事の施工方法の検討 ●新棟全面開院に向けた整備の推進 ●総合医療情報システム2次開発の推進 ●医療機器等の整備に向けた作業の推進	実績等（目標との差異や次期の方向性等） 目標どおり達成できました。 ●2期工事は、計画どおり12月の建物の引渡しと3月の全面開院に向け、順調に進めています。 ●3期工事は、解体工事の発注の準備を含め計画どおり進めています。 ●斜面防護工事の施工方法は、委託を実施し、調査検討しています。	3	取組内容・目標 ●井田病院改築工事の着実な推進 ●2期工事の進捗管理、2期工事建物完成 ●3期工事の施工等に向けた解体工事、調査委託の発注 ●斜面防護工事の施工計画の策定 ●新棟全面開院に向けた整備の推進 ●総合医療情報システム2次開発の完了 ●医療機器等の整備	実績等（目標との差異や次期の方向性等） 目標どおり達成できました。 ●2期工事は計画通り建物完成し、全面開院しました。総合医療情報システム2次開発を完了し、医療機器等の整備を完了しました。 ●3期工事は、土壌調査委託及び解体工事の発注を行いました。 ●斜面防護工事の施工計画を策定しました。なお、調査検討の結果、設計の一部変更の必要が判明したため、今後設計変更を進めます。	3

重点課題の解決状況を測るのに適した指標の設定を行い、可能な限りアウトカム指標（施策・事業の実施により発生する効果・成果を表す指標）として設定しています。

指標の上半期の目標とその実績を記載しています。

指標の1年間の目標とその実績を記載しています。

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半		区分	1年間		区分
	計画・目標値	実績値 （計画・目標値との差異）		計画・目標値	実績値 （計画・目標値との差異）	
指標①	救急自動車搬送受入台数 ①川崎病院（4,000件） ②井田病院（1,750件） ※半年間に受け入れた救急自動車搬送件数です。救急医療をどの程度提供できているのかを表す指標です。	①川崎病院 3,804件 （目標値比 -196件） ②井田病院 1,418件 （目標値比 -332件）	4	救急自動車搬送受入台数 ①川崎病院（8,000件） ②井田病院（3,500件） ※1年間に受け入れた救急自動車搬送件数です。救急医療をどの程度提供できているのかを表す指標です。	①川崎病院 7,332件 （目標値比 -668件） ②井田病院 2,969件 （目標値比 -531件）	4
指標②	指標に関する実績値が1年ごとして把握できないため、1年間の目標のみ設定しています。	重点課題の指標に対する評価結果として選択した区分を記載しています（評価区分の内容については、次ページ参照）。		入院患者満足度 ①川崎病院（95.0%） ②井田病院（95.0%） ※入院患者が求める質の高い安全で安心な医療をどの程度提供できているのかを表す指標です。	①川崎病院 97.6% （目標値比 +2.6%） ②井田病院 94.6% （目標値比 -0.4%）	3
指標③	指標に関する実績値が1年ごとして把握できないため、1年間の目標のみ設定しています。			外来患者満足度 ①川崎病院（90.0%） ②井田病院（90.0%） ※外来患者が求める質の高い安全で安心な医療をどの程度提供できているのかを表す指標です。	①川崎病院 87.3% （目標値比 -2.7%） ②井田病院 94.1% （目標値比 +4.1%）	3

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果について、4区分の評価を行った結果を選択し、右にその説明を記載しています。

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標通りの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

●救急自動車搬送受入台数については、中部・北部地域における民間医療機関の受入増により、もともとそれらの地域から受け入れていた2次救急搬送要請自体が減少したことも要因となり、指標としては目標値を下回る結果となりましたが、救急救命士の配置（川崎病院）や救急センターの設置（井田病院）など、救急医療体制の強化・充実に向けた取組は着実に推進しています。特に川崎病院では、救命救急センターの使命として3次救急患者の受入れに重点的に取り組んでおり、重症患者が増加しているなかでも100%に近い応需率を維持しています。

●患者満足度については、90%以上の高い水準を目標としていましたが、地域の医療機関との紹介、逆紹介など地域医療連携を積極的に推進した結果、市立病院が本来提供すべき高度・特殊医療の強化につながり、全体として概ね目標を達成することができたため、取組の成果があったと考えられます。

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

高齢社会の進展に伴い今後ますます医療需要は高まることが予想されることから、2015年度も引き続き、救急医療をはじめとした医療機能を強化していくとともに、地域全体の医療水準向上に向け地域医療連携の推進に取り組んでいく必要があります。

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況について、3区分で判断した結果を選択し、右にその説明を記載しています。	
次年度における事務事業の見直し結果の説明	●井田病院改築工事の推進については、本年度の整備が計画通り順調に推移し、2期工事が完了したことから、業務執行体制を見直しました。今後、解体工事の進捗状況によっては、スケジュールの見直しが必要となります。

＜「事務事業」及び「重点課題の解決状況に関連する指標」の達成状況区分＞

数字	達成状況の区分	該 当 例
1	目標を大きく上回った	・目標に明記した期日よりも相当早く達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに大きく貢献した。 ・目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。 ・目標に明記した数値を大きく上回った。
2	目標を上回った	・目標に明記した期日よりも早めに達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに貢献した。 ・目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。 ・目標に明記した数値を上回った。
3	目標をほぼ達成した	・目標に明記した期日、内容どおりに達成した。 ・途中で多少の遅れはあったものの、最終期限には間に合う形で、目標に明記した内容どおりに達成した。 ・目標に明記した数値とほぼ同じであった。 ・おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。
4	目標を下回った	・目標に明記した内容は達成したが、期日が遅れた。 ・目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。 ・目標に明記した数値を下回った。 ・所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。
5	目標を大きく下回った	・目標に明記した期日よりも遅れ、明記した内容に満たない水準であった。 ・目標に明記した数値を大きく下回った。
空白		・指標設定を行っていない場合

＜重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分＞

実施結果区分	該 当 例
目標を上回る成果があった	・重点課題を構成する事務事業の多く（事業数や事業の寄与度を考慮）が目標・指標に明記した水準を上回った。
目標通りの成果があった	・重点課題を構成する事務事業の多く（事業数や事業の寄与度を考慮）が目標・指標に明記した水準を概ね達成した。
目標を下回る成果があった	・重点課題を構成する事務事業の多く（事業数や事業の寄与度を考慮）が目標に明記した水準を下回った。
ほとんど成果なし	・重点課題を構成する事務事業の多く（事業数や事業の寄与度を考慮）が目標に明記した水準を大きく下回った。

＜年度当初と比べた現時点での課題の状況区分＞

状況区分	該 当 例
課題は増大している	・解決すべき課題に関する社会状況が変化し（課題が深刻になり）次年度以降目標を高く設定する必要がある。
課題は同水準で存在する	・解決すべき課題に関する社会状況は変わらず次年度以降も引き続き同様の目標により取り組む必要がある。
課題は縮小・解消している	・解決すべき課題に関する社会状況が変化し（課題が）次年度以降は取組の転換等を検討する必要がある。

2 重点課題進行管理シート＜全体版＞

「アクションプログラム２０１４」に基づく５１の重点課題進行管理シートを次のページから掲載しています。

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	防災機能の強化
作成課	総務局危機管理室	関係課	各局室区
重点課題の内容	●いつ発生するかわからない災害や危機事象に対する初動体制の重要性から、災害対策本部及び区本部の初動体制の強化と対応力の強化に向けた取組を推進します。 ●災害及び危機事象の発生時に、正確な災害に関する情報や市全体の被災状況等を、迅速に、収集・分析し、災害及び危機事象の対応に関する意思決定を行い、市民や関係機関等へ迅速かつ的確に情報を伝達するために、各種情報通信システムについて、再整備や機能強化等に向けた取組を推進します。 ●主要地方道東京大師横浜から南側の臨海部に特化した総合的な防災対策を推進し、コンビナート災害、津波浸水被害等に備えた取組を行います。 ●災害時に速やかに必要な物資を交付できるよう、市立小中学校など全ての避難所への備蓄倉庫の整備に向けた取組と備蓄計画に基づいた備蓄物資の購入、配置を着実に進めます。 ●主要駅周辺及び臨海部における帰宅困難者対策として、一時滞在施設や帰宅支援ステーション等の拡充と災害時の混乱抑制等に向けた取組を推進します。		
重点課題の解決に向けた目標	●本部事務局員や区初動対応職員に対する研修や訓練の実施により、参集時における対応力の強化を図るとともに、体制やマニュアル等の検証と見直しを行います。 ●防災関連の情報通信システムについては、同報系無線のデジタル化再整備工事の完成、多重系無線及び衛星系無線並びに関連設備の再整備に向けた基本設計の完成、市保育園の園内放送設備における緊急地震速報の自動放送の開始、総合防災情報システムの安定的な稼働に向けたデータセンターへの移行、総合防災情報システムのガイドマップかわさき連携や同報無線連携の機能強化等を行います。 ●津波避難対策については、津波避難施設の指定拡充、津波情報看板の整備、津波避難訓練などを行うとともに、国、県、関係事業者との連携した取組の下、事業所の防災対策の促進や情報発信・連絡体制の推進を図ります。 ●備蓄倉庫については、2014年度に49か所への整備を行うとともに、2015年度整備予定の47か所の現地調査等を行います。 ●帰宅困難者対策として、各地区での事業所等との連携体制の強化や一時滞在施設の拡充を進めます。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前半		1年間	
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）
危機管理対策事業		●宿日直体制の継続や必要なマニュアルの見直し	目標どおり達成できました。ただし、国民保護事象に関する緊急情報の自動配信について、「緊急速報メール」での配信は消防庁の所管業務となり、各地方公共団体からの配信は行わないこととなりました。	●宿日直体制の継続等、災害対策本部の強化に向けた取組の推進 ●国民保護事象に関する訓練を実施し、マニュアル等の検証を実施 ●県の国民保護計画の修正等が検討されていることから、それらを踏まえた計画の修正に向けた取組の推進 ●J-ALERTと同報系防災行政無線とのシステム連携による自動放送の開始 ●国民保護事象に関する緊急情報を緊急速報メール、メールニュースかわさき等による自動配信の継続 ●業務継続計画（強毒性新型インフルエンザ対策編）の修正 ●原発事故による放射線安全対策に要した経費の賠償請求等に向けた取組の推進	概ね目標どおり達成できました。 ●国民保護事象に関する訓練を実施し、マスターマニュアルの修正を行いました。 ●県の国民保護計画の変更を踏まえた、本市計画の変更を行いました。 ●国民保護事象に関する緊急情報の自動配信について、「緊急速報メール」での配信は消防庁の所管業務となり、各地方公共団体からの配信は行わないこととなりました。 ●業務継続計画（新型インフルエンザ等対策編）に修正を行いました。
予算	124,793 千円				
決算見込	109,089 千円	●J-ALERTと同報系防災行政無線とのシステム連携に向けた機器の整備 ●国民保護事象に関する緊急情報を緊急速報メール、メールニュースかわさき等による自動配信の継続 ●新型インフルエンザ等対策行動計画に基づく、業務継続計画（強毒性新型インフルエンザ対策編）の見直しに向けた検討 ●原発事故による放射線安全対策に要した経費の賠償請求等に向けた取組の推進			
3					3
臨海部・津波防災対策事業		●川崎臨海部防災協議会の開催 ●津波避難施設の指定拡充 ●標識、看板設置に向けた調整、契約手続き ●帰宅困難者一時滞在施設の指定	目標どおり達成できました。（津波避難施設は、4施設を新たに指定しました）	●川崎臨海部防災協議会の開催 ●臨海部広域防災訓練の実施 ●津波避難施設の指定拡充 ●津波避難訓練の実施 ●津波ハザードマップの更新 ●津波避難施設標識、津波情報看板等の設置 ●臨海部防災パンフレットの作成	目標どおり達成できました。（津波避難施設は9施設を新たに指定しました）
予算	11,647 千円				
決算見込	9,321 千円				
3					3

防災施設整備事業		●同報系無線のデジタル化再整備工事の継続実施 ●多重系無線及び衛星系無線並びに関連設備の再整備に向けた基本設計に着手 ●市保育園の園内放送設備における緊急地震速報の自動放送に向けた機器の整備に着手 ●総合防災情報システムの安定的な稼働に向けたデータセンターへの移行に着手 ●備蓄倉庫9か所の入札実施及び工事着工 ●2015年度整備分の現地調査を実施 ●備蓄物資の備蓄倉庫への配置	目標どおり達成できました。	●同報系無線のデジタル化再整備工事の完成 ●多重系無線及び衛星系無線並びに関連設備の再整備に向けた基本設計の完成 ●市保育園の園内放送設備における緊急地震速報の自動放送の開始 ●総合防災情報システムの安定的な稼働に向けたデータセンターへの移行 ●総合防災情報システムのガイドマップかわさき連携、同報無線連携等の機能強化 ●備蓄倉庫49か所への整備 ●2015年度整備分の47か所の整備に向けた現地調査等の実施 ●備蓄物資の購入及び備蓄倉庫への配置 ●避難所機能強化に向けたマンホールトイレの整備	●備蓄倉庫の整備については、入札不調により、24か所の整備となりました。その他は、目標どおり達成できました。	4
予算	2,389,148 千円			3		
決算 見込	2,038,590 千円					
帰宅困難者対策推進事業		●主要駅周辺及び臨海部における一時滞在施設の確保 ●臨海部一時滞在施設用無線機の配備 ●川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会の開催	目標どおり達成できました。 (臨海部における一時滞在施設は、8施設を確保しました。)	●主要駅周辺及び臨海部における一時滞在施設の確保 ●臨海部一時滞在施設用無線機の配備 ●主要駅周辺一時滞在施設への無線機の配備 ●帰宅支援ステーション用のぼり旗の作成・配布 ●川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会の開催	目標どおり達成できました。 (一時滞在施設を主要駅周辺に3施設、臨海部に9施設確保しました。)	3
予算	3,334 千円			3		
決算 見込	2,426 千円					

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前平			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	備蓄倉庫9か所の工事着工	備蓄倉庫9か所の工事着工	3	備蓄倉庫49か所の整備	備蓄倉庫24か所の整備	4

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標通りの成果があった		
目標を下回る成果があった	■	
ほとんど成果なし		
		●防災施設整備事業のうち、備蓄倉庫の整備については、入札不調により、24か所の整備となりましたが、次年度に整備を行う予定です。

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		
		●引き続き課題の解決に向けて、2015年度も取組を継続します。

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

＜①重点課題の内容等＞

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	本庁舎等の耐震対策の推進
作成課	総務局総務部庁舎管理課	関係課	総務局本庁舎等建替準備室
重点課題の内容	●本庁舎は築76年を経過し、ほとんどのフロアでls値0.6未満と耐震性能が低く、大規模地震の際に倒壊・崩壊する危険性があるため対策が必要です。第2庁舎も耐震性能が低く、大規模地震の際に倒壊・崩壊する危険性があるため対策が必要です。		
重点課題の解決に向けた目標	●本庁舎の耐震補強工事は困難なため、「川崎市耐震改修促進計画」「川崎市地震防災戦略」の耐震化完了期限である2015年度末までに、本庁舎からの仮移転を行います。 ●第2庁舎については、当面の安全確保として2015年度末までにls値0.6への耐震補強工事を完了します。 ●2015年度までに「川崎市本庁舎等建替基本計画」を策定します。		

＜②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等＞

事務事業名・予算額		前半		1年間	
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）
庁舎維持管理事務		●本庁舎等建替基本計画の策定に向けた検討 ●本庁舎等からの各局事務室等の仮移転の実施 ●市長室の第3庁舎への仮移転に伴う設計の実施 ●本庁舎等からの仮移転に対応した庁舎保安・保全業務の的確な実施	目標どおり達成できました。	●本庁舎等建替基本計画の策定に向けた検討 ●本庁舎等からの各局事務室等の仮移転の実施 ●市長室の第3庁舎への仮移転に伴う設計の実施 ●本庁舎等からの仮移転に対応した庁舎保安・保全業務の的確な実施 ●第2庁舎の耐震補強工事の実施	目標どおり達成できました。
予算	2,527,668 千円				
決算見込	2,267,595 千円				

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	目標値や数値的な実績値の把握に適さないことにより、指標を設定することが困難です。					

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分		事務事業の総合的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標通りの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

＜①重点課題の内容等＞

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	健康危機管理体制の整備（新型インフルエンザ等発生時のための対策強化）
作成課	健康福祉局健康安全部健康危機管理担当	関係課	各区役所・病院局・総務局・市民こども局・教育委員会・経済労働局・消防局
重点課題の内容	●新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく市行動計画を2013年度に策定しました。今後、予防接種や医療体制などのガイドライン等を他自治体等と情報共有しながら、2015年度の策定に向けた検討を進めるとともに、新型インフルエンザ等の発生に備えた医療体制や必要資器材の備蓄等の取組を推進します。		
重点課題の解決に向けた目標	●新型インフルエンザ等の発生時に、市民の健康被害を最小限にとどめ、社会・経済活動への影響を最低限に抑えるために、平時から関係機関等との連携の強化、訓練・研修の実施、医療提供体制の整備及び必要な医療資器材の備蓄や配備等を実施します。		

＜②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等＞

事務事業名・予算額		前半		1年間			
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
感染症対策事業		●川崎市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、ガイドライン等の作成に向けた検討 ●医療提供体制の整備及び必要資器材の備蓄や配備等のためのアンケートの実施	目標どおり達成できました。	3	●感染症発生時に、市民の健康被害を最小限にとどめ、社会・経済活動への影響を最低限に抑えるために、平時から関係機関等との連携の強化、訓練・研修の実施 ●医療機関及び関係機関から収集した感染症の発生情報を医療機関及び市民へ広く情報の提供 ●感染症の発生と拡大防止に向けた対策の推進 ●肝炎患者の早期発見・早期治療のための検査とインターフェロン治療の促進の実施 ●新型インフルエンザ等感染症発生時における県内感染期の医療体制の構築及び必要資器材の備蓄や配備の実施 ●個別施策層（青少年・外国人・男性同性愛者等）にターゲットを絞ったHIV検査の実施及びAIDS普及啓発の実施	目標どおり達成できました。 ●医師会会員と行政職員を対象に今年度海外で流行したエボラ出血熱等最新の感染症について研修会を開催しました。	3
予算	132,456 千円						
決算見込	129,644 千円						
健康危機管理対策事業		●健康危機管理体制充実のための健康危機管理マニュアルの周知と庁内外の関係部署との連携強化 ●健康危機管理対策研修会の開催準備	目標どおり達成できました。	3	●健康危機管理体制充実のための健康危機管理マニュアルの周知と庁内外の関係部署との連携強化 ●健康危機管理対策研修会の開催	目標どおり達成できました。	3
予算	561 千円						
決算見込	458 千円						

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 （計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値 （計画・目標値との差異）	区分
指標①	新型インフルエンザ等様々な健康危機管理事象の発生予測はできないため、指標を設定することが困難です。					

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標通りの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	●2014年3月に策定した「川崎市新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき新型インフルエンザ等の発生に備えた体制整備に取り組みました。具体的には、平時から関係機関等との連携の強化、訓練・研修の実施、医療提供体制の整備及び必要な医療資器材の効率的な備蓄の配備等を実施しました。 ●感染症対策事業については、2014年8月にはデング熱の国内感染者が東京都を中心に69年ぶりに発生した他、10月にはエボラ出血熱などの国内流入に備えた体制整備について、関係部局と連携し短期間で臨時の会議及び訓練等を実施しました。次期も平時から関係機関等の連携を強化して行きます。
------------------------	--

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	●2015年度においても引き続き取組を継続していく必要があります。
----------------	--

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●次年度においても引き続き、市行動計画に基づき、他自治体等と情報共有しながら各種ガイドライン等の作成に向けた検討を進めるとともに、新型インフルエンザ等の発生に備えた医療体制整備を推進します。また、昨年度約70年ぶりに大流行したデング熱及びエボラ出血熱等、新たに国内に侵入する感染症対策も強化していきます。
------------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	高齢者の多様な居住環境の整備
作成課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課	関係課	
重点課題の内容	●高齢化が一段と進む2025年に向け、川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築を見据えた高齢者の多様な居住環境の整備を推進します。 ●高齢者をはじめ、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる介護サービス基盤を整備します。 ●給付と負担のバランスを考慮しながら、地域に密着した介護サービス等の拡充と特別養護老人ホーム等施設サービスの効果的かつ一体的な整備に取り組みます。		
重点課題の解決に向けた目標	●川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築を見据えながら、「（仮称）川崎市地域包括ケアシステム推進基本方針」及び「かわさきいきいき長寿プラン（川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）」に基づく介護サービス基盤の整備を着実に推進します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前半		1年間	
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等） 区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等） 区分
介護サービスの基盤整備事業		●「第5期計画・かわさきいきいき長寿プラン」に基づく介護サービス基盤の整備 ●複合型サービス（開所：1か所） ●定期巡回・随時対応型訪問介護看護（開所：3か所） ●認知症高齢者グループホーム（開所：3か所） ●特別養護老人ホーム整備中：2か所 ●介護老人保健施設整備中（前年度からの繰越分）：1か所	●ほぼ目標どおり達成できました。 ●複合型サービス（開所：2か所） ●定期巡回・随時対応型訪問介護看護（開所：1か所） ●認知症高齢者グループホーム（開所：5か所） ●特別養護老人ホーム整備中：2か所、開所（前年度からの繰越分）：4か所 ●介護老人保健施設整備中（前年度からの繰越分）：1か所	●「第5期計画・かわさきいきいき長寿プラン」に基づく介護サービス基盤の整備 ●複合型サービス（開所：2か所） ●定期巡回・随時対応型訪問介護看護（開所：7か所） ●小規模多機能型居宅介護（開所：9か所） ●認知症高齢者グループホーム（開所：7か所） ●特別養護老人ホーム開所：2か所、整備中：1か所 ●介護老人保健施設開所（前年度からの繰越分）：4か所 ●介護老人保健施設開所（前年度からの繰越分）：1か所	●一部目標を下回りました。 ●複合型サービス（開所：4か所） ●定期巡回・随時対応型訪問介護看護（開所：3か所） ●小規模多機能型居宅介護（開所：4か所） ●認知症高齢者グループホーム（開所：12か所） ●特別養護老人ホーム整備中：3か所、開所（前年度からの繰越分）：4か所 ●介護老人保健施設開所（前年度からの繰越分）：1か所
	予算	3,550,462千円	3		4
	決算見込	2,386,344千円			

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	●「第5期計画・かわさきいきいき長寿プラン」に基づく介護サービス基盤の整備 ●複合型サービス（開所：1か所） ●定期巡回・随時対応型訪問介護看護（開所：3か所） ●認知症高齢者グループホーム（開所：3か所） ●特別養護老人ホーム整備中：2か所、開所（前年度からの繰越分）：4か所 ●介護老人保健施設整備中（前年度からの繰越分）：1か所	●ほぼ目標どおり達成できました。 ●複合型サービス（開所：2か所） ●定期巡回・随時対応型訪問介護看護（開所：1か所） ●認知症高齢者グループホーム（開所：5か所） ●特別養護老人ホーム整備中：2か所、開所（前年度からの繰越分）：4か所 ●介護老人保健施設整備中（前年度からの繰越分）：1か所	3	●「第5期計画・かわさきいきいき長寿プラン」に基づく介護サービス基盤の整備 ●複合型サービス（開所：2か所） ●定期巡回・随時対応型訪問介護看護（開所：7か所） ●小規模多機能型居宅介護（開所：9か所） ●認知症高齢者グループホーム（開所：7か所） ●特別養護老人ホーム開所：2か所、整備中：1か所 ●介護老人保健施設開所（前年度からの繰越分）：4か所 ●介護老人保健施設開所（前年度からの繰越分）：1か所	●一部目標を下回りました。 ●複合型サービス（開所：4か所） ●定期巡回・随時対応型訪問介護看護（開所：3か所） ●小規模多機能型居宅介護（開所：4か所） ●認知症高齢者グループホーム（開所：12か所） ●特別養護老人ホーム整備中：3か所、開所（前年度からの繰越分）：4か所 ●介護老人保健施設開所（前年度からの繰越分）：1か所	4

④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	●特別養護老人ホームの整備において、建築資材の単価高騰により、積算の見直し、工法、資材の見直しが必要となったことなどにより、工期に遅れが生じました。 ●「小規模多機能型居宅介護」及び「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」においては、事業者の参入が進まない等により、目標を下回る結果となりました。
目標を上回る成果があった			
目標通りの成果があった			
目標を下回る成果があった	■		
ほとんど成果なし			

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	●「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」及び「かわさきいきいき長寿プラン（川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）」に基づき、「川崎らしい都市型の地域居住の実現」に向け、計画的かつ効果的に介護サービス基盤の整備を進めていく必要があります。
----------------	--

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」及び「第6期かわさきいきいき長寿プラン（川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）」に基づき、「川崎らしい都市型の地域居住の実現」に向け、次年度も計画的かつ効果的に介護サービス基盤の整備を推進していきます。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	地域包括ケアシステムの構築に向けた取組
作成課	健康福祉局地域包括ケア推進室	関係課	健康福祉局総務部施設計画・整備担当、長寿社会部高齢者事業推進課、長寿社会部高齢者在宅サービス課、医療政策推進室
重点課題の内容	●高齢化が一段と進む2025年を見据え、川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築に向けて、高齢者をはじめ誰もが住み慣れた地域や本人が望む場で安心して暮らし続けることができるよう、高齢者施策・障害者施策・保健医療施策などの各施策・事業を推進していく必要があります。		
重点課題の解決に向けた目標	●地域包括ケアシステムは、地域内の多様な主体の参加が求められるとともに、主体間の緊密な連携が求められることから、その構築にあたっては、本市の基本的な考え方が地域全体で共有されることが重要であるため、今年度、関連個別計画の上位概念となる、「（仮称）川崎市地域包括ケアシステム推進基本方針」を策定し、この基本方針の考え方に沿って、各施策・事業を展開していきます。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前半			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
介護予防事業		●第5期計画に位置づけている介護予防事業の着実な実施 ●介護予防委員会や「新しい総合事業」検討プロジェクトの開催 ●モデル事業の実施 ●次期介護保険制度改正に伴う計画策定に向けた介護予防施策の検討	目標どおり達成できました。	3	●第5期計画に位置づけている介護予防事業の着実な実施 ●介護予防委員会や「新しい総合事業」検討プロジェクトでの意見の取りまとめ ●モデル事業の検証 ●介護予防事業における第5期の総括と次期計画の策定	目標どおり達成できました。	3
	予算 548,975 千円						
	決算見込 417,395 千円						
介護予防いきいき大作戦推進事業		●市民の方が地域活動に参加しやすくするための活動団体調査及び活動場所調査の実施	目標どおり達成できました。	3	●「いきいきリーダー」の養成講座の開催 ●イベント等を通じた普及啓発活動 ●地域で活動する団体等への支援 ●市民の方が地域活動に参加しやすくするための活動団体調査及び活動場所調査の実施	目標どおり達成できました。	3
	予算 8,717 千円						
	決算見込 8,717 千円						
地域包括ケアシステムの構築		●地域包括ケアシステム推進基本方針案の基本的な考え方の公表	「基本方針」について、（仮称）地域包括ケアシステム推進ビジョンの素案を8月に発出し、基本的な考え方を公表しました。	3	●地域包括ケアシステム推進基本方針の策定	地域包括ケアシステム推進ビジョンを3月に策定しました。	3
	予算 9,000 千円						
	決算見込 15,236 千円						
高齢者権利擁護事業		●市民後見人選任に向けた家庭裁判所等との協議 ●市民後見人候補者実務実習、養成講座の開催 ●川崎市あんしんセンターと連携した成年後見制度に関する研修、シンポジウムの開催	目標どおり達成できました。	3	●市民後見人選任に向けた家庭裁判所等との協議 ●市民後見人候補者実務実習、養成講座の開催 ●川崎市あんしんセンターと連携した成年後見制度に関する研修、シンポジウムの開催	目標どおり達成できました。	3
	予算 154,124 千円						
	決算見込 162,329 千円						

認知症高齢者対策事業	予算	37,039 千円	●認知症介護指導者養成研修、認知症サポート医養成研修・フォローアップ研修、かかりつけ医や一般病棟勤務医療従事者の認知症対応力向上研修の開催 ●認知症サポーターの活動の場の検討 ●認知症疾患医療センターの運営 ●認知症コールセンターサポートほっとの運営 ●認知症ケアパス及びクリティカルパスの策定に向けた検討 ●徘徊高齢者SOSネットワーク事業の実施	目標どおり達成できました。	3	●認知症介護指導者養成研修、認知症サポート医養成研修・フォローアップ研修、かかりつけ医や一般病棟勤務医療従事者の認知症対応力向上研修の開催 ●認知症サポーターの活動の場の検討 ●認知症疾患医療センターの運営 ●認知症コールセンターサポートほっとの運営 ●認知症ケアパス及びクリティカルパスの策定に向けた検討 ●徘徊高齢者SOSネットワーク事業の実施	目標どおり達成できました。	3
	決算見込	34,049 千円						
高齢者住宅対策事業	予算	348,182 千円	●福祉住宅の運営 ●シルバーハウジング事業の実施 ●住替え家賃助成事業の実施 ●住宅改造費助成事業の実施	目標どおり達成できました。	3	●福祉住宅の運営 ●シルバーハウジング事業の実施 ●住替え家賃助成事業の実施 ●住宅改造費助成事業の実施	目標どおり達成できました。	3
	決算見込	327,702 千円						
福祉センター再編整備事業	予算	53,169 千円	●福祉センター跡地活用施設を整備する事業者の募集に向けて、導入機能、整備手法、管理運営手法等についての整理	目標どおり達成できました。	3	●福祉センター跡地活用施設を整備する事業者の募集	●事業者募集に向けて準備を進めてきましたが、福祉センター跡地活用施設については、障害者入所施設の併設に向けた可能性の具体的な検討を行い、地域包括ケアシステムの構築に貢献する機能を再検討するため、基本計画のスケジュールを変更して取組を進めました。	4
	決算見込	36,956 千円						
在宅医療連携推進事業	予算	15,156 千円	●医療・介護従事者等の多職種関係団体による在宅療養推進協議会において在宅医療の具体的な取組方策を検討する。 ●各区在宅療養調整医師と在宅医療サポートセンターのコーディネーター（看護師）の連携による在宅医療推進の仕組みの定着を図る。	目標どおり達成できました。 ●在宅療養推進協議会において、「在宅療養連携ノート」の活用・普及に向けたガイドライン作りなど、具体的な取組の推進を図りました。	3	●医療・介護従事者等の関係団体による在宅療養推進協議会において在宅医療の具体的な取組方策を検討する。 ●在宅療養調整医師と在宅医療サポートセンターのコーディネーターの連携定着 ●在宅チーム医療を担う地域リーダー研修の開催 ●市民向けシンポジウム開催による啓発	目標どおり達成できました。 ●在宅療養推進協議会において、「在宅療養連携ノート」の普及など、具体的な取組の推進を図りました。	3
	決算見込	14,961 千円						

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	認知症サポーター養成講座開講数（全市計3回以上）	全市計10回開催しました。	3	認知症サポーター養成講座開講数（全市計15回以上）	全市計44回開催しました。	3
指標②	地域包括ケア連絡会議開催数（全市計100回以上）	全市計115回開催しました。	3	地域包括ケア連絡会議開催数（全市計220回以上）	全市計264回開催しました。	3
指標③	在宅療養推進協議会開催数（1回以上）	1回開催しました。	3	在宅療養推進協議会開催数（3回以上）	3回開催しました。	3

<④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について>

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標通りの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	●指標として設定した認知症サポーター養成講座開講数、地域包括ケア連絡会議開催数、在宅療養推進協議会開催数の実績値については目標を達成しました。 ●福祉センター再編整備事業については、障害者入所施設の併設に向けた可能性の具体的な検討を行い、地域包括ケアシステムの構築に貢献する機能を再検討するため、基本計画のスケジュールを変更して取組を進めました。
------------------------	---

<⑤課題の状況について>

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	●超高齢社会の到来を見据え、今後とも、地域包括ケアシステムの構築を推進するとともに、介護予防をはじめとした関連施策・事業を継続していく必要があります。
----------------	--

<⑥次年度における事務事業の見直し結果>

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●今年度の「推進ビジョン」策定の取組の結果、実際に地域包括ケアシステムの構築を進めるにあたり、市内の多様な主体による自発的な取組を促進していくため、次年度は市内の関係者による連絡協議会やポータルサイトの設置など、地域包括ケアシステムを推進していくための環境づくりを推進していきます。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	障害者の暮らしを支える取組の充実
作成課	健康福祉局障害保健福祉部障害計画課	関係課	健康福祉局障害保健福祉部障害者雇用・就労推進課 健康福祉局総務部施設計画・整備担当
重点課題の内容	●第3次かわさきノーマライゼーションプランに基づき障害者福祉施策の総合的かつ計画的な推進を図る必要があります。 ●安心して自立した地域生活が送れるよう、障害者通所施設等の整備を推進する必要があります。 ●障害者の就労による自立を支援するため、きめ細かな就労支援や企業の働きかけを推進する必要があります。 ●地域包括ケアシステム推進基本方針を踏まえ、2015年度から2020年度を計画期間とする第4次ノーマライゼーションプランを策定します。		
重点課題の解決に向けた目標	●各種の障害福祉サービス事業を着実に推進するとともに、障害者通所施設やグループホーム等の整備を計画的に進めます。 ●地域就労支援センターの体制強化や就労支援ネットワークを構築します。 ●2015年度から2020年度を計画期間とする第4次ノーマライゼーションプランを関係機関・団体の意見を踏まえながら策定します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前年			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
施設障害福祉サービス事業		●地域での障害者の自立と社会参加を促進するため、生活介護、就労継続支援等の日中活動の場の確保とサービスの提供 ●障害者施設の安定的な運営を図るための必要な支援の実施	目標どおり達成できました。	3	●地域での障害者の自立と社会参加を促進するため、生活介護、就労継続支援等の日中活動の場の確保とサービスの提供 ●障害者施設の安定的な運営を図るための必要な支援の実施	目標どおり達成できました。	3
予算	10,842,402 千円						
決算見込	11,175,752 千円						
障害福祉サービスの基盤整備事業		●障害者通所事業所整備計画に基づく新規整備 拠点型1か所：宮前区 地域型2か所：幸区、高津区	目標どおり達成できました。	3	●障害者通所事業所整備計画に基づく新規整備 拠点型2か所：川崎区、宮前区（工事継続） 地域型2か所：幸区、高津区（2か所とも竣工） ●耐震改修促進計画に基づく建替え 1か所：宮前区（しらはた） ●南部地域における入所施設の検討	目標どおり達成できました。	3
予算	510,144 千円						
決算見込	340,470 千円						
障害者福祉施策立案事業		●障害者施策審議会及び計画策定委員会の開催 ●障害者関係団体ヒアリングの実施 ●障害者生活ニーズ調査の結果の集約及び分析	目標どおり達成できました。	3	●障害者施策審議会及び計画策定委員会の開催 ●障害者関係団体ヒアリングの実施 ●第4次ノーマライゼーションプランの策定に向けたパブリックコメント及び市民説明会の実施 ●第4次ノーマライゼーションプラン策定	目標どおり達成できました。	3
予算	140,998 千円						
決算見込	116,745 千円						
障害者グループホーム事業		●障害者グループホームの安定的な運営に向けた支援の実施 ●障害者グループホームの増設及び新設 ●障害者の高齢化・重度重複化に対応するためのバリアフリー化の促進	目標どおり達成できました。	3	●障害者グループホームの安定的な運営に向けた支援の実施 ●障害者グループホームの増設及び新設 ●障害者の高齢化・重度重複化に対応するためのバリアフリー化の促進	目標どおり達成できました。	3
予算	2,620,212 千円						
決算見込	2,913,657 千円						
障害者相談支援事業		●障害者相談支援センターの運営 ●相談支援専門員の新規養成・スキルの向上に向けた取組の実施	目標どおり達成できました。	3	●障害者相談支援センターの運営 ●相談支援専門員の新規養成・スキルの向上に向けた取組の実施	目標どおり達成できました。	3
予算	602,084 千円						
決算見込	528,110 千円						

障害者就労支援事業	●障害者雇用短期チャレンジ事業等の就労支援ネットワークの構築に向けた取組の推進 ●「川崎市障害者雇用・就労促進行動計画」に基づく取組の実施	目標通りの達成できました。	3	●障害者雇用短期チャレンジ事業等の就労支援ネットワークの構築に向けた取組の推進 ●「川崎市障害者雇用・就労促進行動計画」に基づく取組の実施	目標どおり達成できました。	3
予算	55,905 千円					
決算見込	52,144 千円					

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	整備計画が1年単位のものであるため1年間の目標値のみ設定しています。			障害者通所事業所整備計画に基づき川崎区、幸区、高津区、宮前区の4か所の新規整備	新規整備4か所：川崎区、幸区、高津区、宮前区（うち、2か所竣工：幸区、高津区）	3
指標②	整備計画が1年単位のものであるため1年間の目標値のみ設定しています。			グループホーム80床の整備	目標どおり達成できました。	3

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	●第3次かわさきノーマライゼーションプランや障害者雇用・就労促進行動計画に基づく各種事業を計画どおり実施し、障害のある方に対する必要な支援を推進するとともに、第4次ノーマライゼーションプランの策定を完了しました。
目標を上回る成果があった			
目標通りの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	●障害者数は年々増加する中、今後とも障害のある方が安心して地域で暮らしていくことができるよう取組を推進していく必要があります。
課題は増大している			
課題は同水準で存在する	■		
課題は縮小・解消している			

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●第4次かわさきノーマライゼーションプラン等に基づき、障害者のニーズや制度の安定的な運用の観点を踏まえながら、今後とも障害のある方が安心して地域で暮らしていくことができるよう取組を推進していきます。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

＜①重点課題の内容等＞

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	予防接種による感染症予防の推進
作成課	健康福祉局健康安全部健康危機管理担当	関係課	各区地域保健福祉課
重点課題の内容	●予防接種法に基づき実施している、ジフテリア、百日せき、ポリオ、破傷風、麻しん、風しん、日本脳炎、結核、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルス感染症、インフルエンザの予防接種に加え、新たに予防接種法に追加される水痘及び成人肺炎球菌ワクチンの予防接種を実施することで、これらの感染症の発生及びまん延を予防します。		
重点課題の解決に向けた目標	●感染症の発生及びまん延予防の観点から、市民が、予防接種による感染症予防の効果及び副反応のリスクに関する正しい知識を持った上で高い接種率を維持していくことが必要となるため、市民への適正な情報提供に努め、接種率の維持・向上を図ります。特に、特定感染症予防指針に基づき、麻しん及び風しんの接種率95%以上を目指します。		

＜②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等＞

事務事業名・予算額		前年			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
予防接種事業		●麻しんに関する特定感染症予防指針及び風しんに関する特定感染症予防指針に基づき、麻しん・風しん第1期接種率95% ※第1期：1歳の間 第2期：小学校入学前の1年間（いわゆる年長児）	麻しん・風しん第1期接種率96.9%（7月実績まで）	3	●麻しんに関する特定感染症予防指針及び風しんに関する特定感染症予防指針に基づき、麻しん・風しん第1期及び第2期接種率95%	麻しん・風しん第2期接種率（91.6%）については達成できませんでした。次期は、稼働開始する予防接種台帳管理システムにより未接種者を把握し、再勧奨等により接種率の向上を図ります。	4
予算	3,761,748千円						
決算見込	3,726,567千円						

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前年			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	●麻しん・風しん第1期接種率95%	麻しん・風しん第1期接種率96.9%（7月実績まで）	3	●麻しん・風しん第1期及び第2期接種率95%	麻しん・風しん第1期接種率98.6% 麻しん・風しん第2期接種率91.6%	4

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分		事務事業の総合的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標通りの成果があった		
目標を下回る成果があった	■	
ほとんど成果なし		
		●麻しん風しん第1期接種率については目標接種率を達成しましたが、第2期については達成できませんでした。

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		
		●2015年度においても接種率維持・向上への取組を継続していく必要があります。

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●国において、B型肝炎やおたふくかぜなどの任意接種を予防接種法に基づく定期接種とすることについての議論が継続されており、今後も国の動向を注視し、実施体制や予算編成等の大きな変更に対応します。 ●予防接種台帳管理システムについては、安定した運用を確保するための必要な手続き・改修を行うとともに、2015年度の稼働に伴い、未接種者を把握し、再勧奨を行います。
------------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	がん検診の取組の強化
作成課	健康福祉局健康安全部健康増進課	関係課	
重点課題の内容	●がんが国民の疾病による死亡の最大の原因であり、本市においても死因の第1位となっています。がんによる死亡者数を減少させるためには、がん検診の受診率を向上させ、がんを早期発見・早期治療することが重要です。 ●がん検診の受診率の向上に向け、受診のきっかけづくりのための広報や受診者の基礎データを集約する台帳の活用による受診勧奨等、工夫のある効果的な受診率向上対策が求められています。		
重点課題の解決に向けた目標	●国民病ともいうべきがんの早期発見・早期治療のため、本市のがん検診受診率を2017年度中に政令市トップレベルまで引き上げるため、効果的な手法による取組を実施します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前半			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
がん検診事業		●がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針等に基づくがん検診の実施 ●がん検診の受診率向上に向けた取組の検討	目標とおり達成できました。	3	●がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針等に基づくがん検診の実施 ●がん検診の受診率向上に向けた取組の検討	目標とおり達成できました。	3
予算	1,688,313千円	●「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」及び「がん検診推進事業」の実施			●「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」及び「がん検診推進事業」の実施		
決算見込	2,294,717千円	●がん検診台帳システムの整備に向けた検討 ●遠隔読影システムを活用した二次読影体制の維持			●がん検診台帳システムの整備に向けた検討 ●遠隔読影システムを活用した二次読影体制の維持		

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			●がん検診受診者数（受診率） 肺がん検診 77,000人（21.9%） 大腸がん検診 77,700人（22.1%） 胃がん検診 34,800人（9.9%） 子宮がん検診 35,100人（21.5%） 乳がん検診 21,700人（19.6%）	●がん検診受診者数（受診率） 肺がん検診 77,842人（22.2%） 大腸がん検診 77,667人（22.1%） 胃がん検診 37,288人（10.6%） 子宮がん検診 50,018人（26.2%） 乳がん検診 27,368人（22.2%） ※子宮がん検診及び乳がん検診は、2年度に1回受診できる検診であるため、受診率については、前年度受診者数と当該年度受診者数の2年度分を合計した数から算出している。	3

④重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分について

重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標通りの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

事務事業の総合的な実施結果区分についての説明	●「働く女性のためのがん検診推進事業」及び「がん検診推進事業」等の実施効果もあり、がん検診受診者数及び受診率について年度当初に設定した目標値を達成しました。
------------------------	---

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	●がん検診の取組にあたっては、がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針等に変更がない限り大幅な事業の変更はなく、継続していく必要があります。また、本市のがん検診受診率の向上に向け、がん検診台帳システムの構築を通じた効果的な受診勧奨を実施するなど、次年度も引き続き取組を継続していくことが必要です。
----------------	---

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●国において大幅な見直しの予定がないことから、引き続き、がん検診事業を継続するとともに、受診率向上に向け、次年度も事業内容を継続して実施していきます。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

＜①重点課題の内容等＞

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	民間建築物の耐震化の促進
作成課	まちづくり局総務部企画課	関係課	まちづくり局指導部建築管理課、まちづくり局指導部宅地企画指導課、まちづくり局市街地開発部住宅整備課、まちづくり局計画部都市計画課
重点課題の内容	●地震による既存建築物の倒壊等の被害を未然に防止するため、「川崎市耐震改修促進計画」（以下「促進計画」）に基づき、耐震対策を着実に実施し、建築物の耐震性の向上を図る必要があります。また、2013年11月に改正された耐震改修促進法を受けて耐震診断義務化路線の指定等を盛り込んだ促進計画の改定を行う必要があります。 ●台風や集中豪雨等により地すべりなどの土砂災害が発生しているため、宅地の防災対策を行い安全性の向上を図る必要があります。 ●民間建築物への耐震診断や耐震改修等に対する助成を行うとともに所有者等に多角的に周知を図ることにより総合的な耐震対策を図ります。また、宅地防災工事助成等により、崩壊防止工事を推進することにより災害に強いまちづくりを推進します。		
重点課題の解決に向けた目標	●耐震診断義務化路線の指定に伴う促進計画の改定や、2015年に計画期間が終了する促進計画の延伸について検討します。 ●民間建築物の耐震対策について、住宅や特定建築物の助成制度を所有者等に多角的に周知することで、助成件数の増加を図ります。 ●急傾斜地崩壊対策について、急傾斜地崩壊危険区域の新規指定・拡大をするとともに、ハザードマップを作成・配布し、市民に土砂災害警戒区域等の情報を周知します。また、老朽化した擁壁等の改修を促進します。		

＜②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等＞

事務事業名・予算額		前年		1年間	
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等） 区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等） 区分
建築物防災対策事業		●耐震診断士派遣の実施 ●精密診断、補強計画、補強工事等費用の一部助成の実施 ●アスベスト含有調査及び除去等費用の一部助成の実施 ●制度の普及啓発の実施	目標どおり達成できました。（診断士派遣については298件、精密診断及び補強計画、補強工事等の一部助成については92件、民間建築物吹付けアスベスト含有調査に対する助成については1件、民間建築物吹付けアスベスト除去等に対する費用の一部助成については1件の申請を受けました。）	●耐震診断士派遣の実施 ●精密診断、補強計画、補強工事等費用の一部助成の実施 ●アスベスト含有調査及び除去等費用の一部助成の実施 ●制度の普及啓発の実施	目標どおり達成できました ・診断士派遣334件 ・精密診断、補強計画、補強工事等の助成96件 ・アスベスト含有調査1件 ・アスベスト除去1件 の助成を行いました。 ※診断士派遣及び精密診断等助成の件数には、それぞれ辞退等47件、辞退等18件を含みます
	予算	274,765 千円	3		
	決算 見込	144,207 千円			
特定建築物耐震対策事業		●耐震診断義務化道路の指定に伴う耐震改修促進計画の見直しの検討 ●耐震診断費用の一部助成の実施 ●耐震設計費用の一部助成の実施 ●耐震改修費用の一部助成の実施 ●制度の普及啓発の実施	目標どおり達成できました。（耐震診断費用の一部助成については8件、耐震設計費用の一部助成については7件の申請を受けました。）	●耐震診断義務化道路の指定に伴う耐震改修促進計画の改定 ●耐震診断費用の一部助成の実施 ●耐震設計費用の一部助成の実施 ●耐震改修費用の一部助成の実施 ●制度の普及啓発の実施	目標どおり達成できました ・耐震診断8件 ・耐震設計7件 の助成を行いました ※耐震診断助成の件数には、辞退等1件を含みます
	予算	141,693 千円	3		
	決算 見込	30,888 千円			
宅地防災対策事業		●大規模盛土造成地の変動予測調査（第二次スクリーニング計画の作成：盛土造成地の優先度の判定）の計画策定 ●宅地防災工事に対する助成及び助成金制度に関する啓蒙活動の実施	目標どおり達成できました。（大規模盛土造成地の変動予測調査については、調査計画を作成し、調査委託にて調査を実施しています。また、宅地防災助成金制度については、適切に啓蒙活動を実施し、2件の申請を受けました。）	●大規模盛土造成地の変動予測調査（第二次スクリーニング計画の作成：盛土造成地の優先度の判定）の実施及び結果のとりまとめ ●宅地防災工事に対する助成及び助成金制度に関する啓蒙活動の実施	目標どおり達成できました ・大規模盛土造成地調査第2次スクリーニング計画策定 ・宅地防災助成金制度啓蒙活動の実施、助成4件
	予算	39,408 千円	3		
	決算 見込	36,039 千円			
急傾斜地崩壊対策事業		●急傾斜地崩壊危険区域の指定及び崩壊防止工事の実施の推進 ●急傾斜地崩壊危険区域における神奈川県との合同パトロールの実施 ●土砂災害警戒区域の追加指定に伴う土砂災害ハザードマップの作成	目標どおり達成できました。（急傾斜地崩壊危険区域については、2区域で住民説明会が実施され、1区域で区域指定が行われました。さらに、県との合同パトロールを実施しています。また、土砂災害ハザードマップについては、追加指定分を記載したマップを作成し、HPにて先行的に公表しました。）	●急傾斜地崩壊危険区域の指定及び崩壊防止工事の実施の推進 ●急傾斜地崩壊危険区域における崖崩れ災害防止に向けた周知啓発活動の実施 ●土砂災害警戒区域の追加指定に関わる事務の適正処理及び土砂災害ハザードマップの作成・配布	目標どおり達成できました ・急傾斜地崩壊危険区域の区域指定3か所、工事7か所 ・土砂災害ハザードマップの作成、戸別訪問配布等
	予算	79,200 千円	3		
	決算 見込	48,334 千円			
民間マンション耐震対策事業		●マンション予備診断の実施 ●マンション一般診断費用の助成 ●マンション耐震改修設計費用の助成 ●マンション耐震改修工事費用の助成 ●マンション耐震化に関する制度の普及、啓発	目標どおり達成できました。（予備診断の実施は10件28棟、一般診断の助成は3件3棟、改修設計の助成は1件1棟、改修工事の助成は1件5棟、受付を行いました。）	●マンション予備診断の実施及び翌年度準備 ●マンション一般診断費用の助成及び翌年度準備 ●マンション耐震改修設計費用の助成及び翌年度準備 ●マンション耐震改修工事費用の助成及び翌年度準備 ●マンション耐震化に関する制度の普及、啓発及び翌年度準備	目標どおり達成できました ・予備診断11件／29棟 ・一般診断3件／3棟 ・改修工事1件／5棟 の助成を行いました。 ※なお、改修設計助成の1件／1棟については、交付決定後に取り下げの申請を受理しました
	予算	205,842 千円	3		
	決算 見込	134,817 千円			
防災都市計画推進事業		●パブリックコメントの実施に向けた準備・調整	目標どおり達成できました。	●パブリックコメントの実施とその結果を反映した計画の策定 ●計画に基づき対策事業を推進	目標どおり達成できました
	予算	1,200 千円	3		
	決算 見込	999 千円			

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	木造住宅の耐震改修助成の実施件数	診断士派遣については298件、精密診断及び補強計画、補強工事等の一部助成については92件の申請を受けました。	3	木造住宅の耐震改修助成の実施件数(334件)	・診断士派遣334件 ※申請者の辞退等47件を含みます ・精密診断等助成96件 ※申請者の辞退等18件を含みます 合計430件【達成率128%】	3
指標②	特定建築物の耐震改修助成の実施件数	耐震診断費用の一部助成については8件、耐震設計費用の一部助成については7件の申請を受けました。	3	特定建築物の耐震改修助成の実施件数(15件)	・耐震診断助成8件 (※申請者の辞退1件を含みます) ・耐震設計助成7件 合計15件【達成率100%】	3
指標③	宅地防災工事助成の実施件数	宅地防災助成金制度については、2件の申請を受けました。	3	宅地防災工事助成の実施件数(4件)	・宅地防災工事助成4件 【達成率100%】	3

④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標通りの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●2007年に策定した耐震改修促進計画に基づき、2015年度末の住宅の耐震化率90%、特定建築物の耐震化率90%を目標に建築物の耐震化を促進してきましたが、首都圏直下型地震の発生が懸念される状況において、国や県は2020年度末の耐震化目標を住宅・建築物ともに95%とし、更なる建築物の耐震化を促進することとしていることから、本市としても計画期間の延伸、耐震化目標を見直したうえで、耐震改修促進計画の改定を行います。 ●建築物防災対策事業、特定建築物耐震対策事業、民間マンション耐震対策事業については、助成制度の時限措置が2015年度末に終了するため、改定する耐震改修促進計画を踏まえ、助成率、助成限度額など助成制度全般の見直しを検討します。 ●宅地防災対策事業及び急傾斜地崩壊対策事業については、住民への啓発活動を十分に行之い、崩落防止工事を順次進めていくことで宅地の安全性を高めていきます。
------------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	臨海部の防災・減災対策の推進
作成課	港湾局港湾経営部整備計画課	関係課	港湾局港湾経営部整備計画課
重点課題の内容	●2011年3月11日の東日本大震災以降、首都圏における大規模地震災害が危惧されていることから、臨海部においては、震災時における津波対策や緊急物資受入れ施設等の早期整備を行うことで、港湾機能を麻痺することなく緊急物資の受入れや輸送路の確保を図ります。 ●地震等の発生により島部が孤立化した場合において、内陸部への避難方法を確保する必要があるため、防災用浮き橋を整備します。 ●海岸保全施設を適切に維持管理するとともに、陸間を改良し作業性及び安全性を確保し津波・高潮による浸水から背後圏を防護するために事業を推進します。		
重点課題の解決に向けた目標	●緊急物資受入のために、岸壁の耐震化へ向けた事業の推進を図るとともに、緊急物資輸送路が災害時に通行できるよう必要な対策を実施します。 ●海底トンネルの津波対策の検討や同報無線及び海上輸送用浮き橋の整備を実施します。 ●海岸保全施設である陸間を改良するとともに、防潮堤の改良を実施し、背後圏を浸水から防護するために事業を推進します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
海岸保全施設維持整備事業	●陸間の改良を実施 ●海岸保全基本計画を改訂するために、関係機関との調整を実施	目標どおり達成できました。	3	●陸間の改良を実施 ●海岸保全基本計画を改訂するために、関係機関との調整を実施 ●防潮堤の機能維持に必要な点検について検討	目標どおり達成できました。	3
予算	0					
	千円					
決算見込	0					
	千円					
港湾施設改修（防災・減災）事業	●千鳥町7号岸壁改良（耐震）工事に向けた検討の内、付帯施設（検潮所）移設検討の実施 ●国が実施する東扇島9号岸壁耐震改修の事業推進を支援	目標どおり達成できました。	3	●千鳥町7号岸壁改良（耐震）工事に向けた検討や付帯施設（検潮所）移設検討及び工事の実施 ●緊急支援物資輸送路における埋設管付近の液状化検討の実施 ●海底トンネルの津波対策の検討や同報無線及び海上輸送用浮き橋の整備を実施 ●国が実施する東扇島9号岸壁耐震改修の事業推進を支援	ほぼ目標どおり達成できました。なお、千鳥町7号付帯施設（検潮所）の工事及び浮き橋の整備については、関係者等と調整を行った結果、次年度早期の実施となりました。	3
予算	1,137,360					
	千円					
決算見込	746,982					
	千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	災害発生時の防災・減災の効果を指標とすべきですが、発生予測ができないため、指標を設定することが困難です。					

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標通りの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	●港湾施設改修（防災・減災）事業の取組の結果、課題解決に向けた目標をほぼ達成したことから、成果があったと考えられます。 ●海岸保全施設改修事業の取組の効果もあり、陸間を引戸式に改良した結果、操作従事者の安全及び作業性の向上が図られ、成果があったと考えられます。
------------------------	--

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	●引き続き課題が存在するので、２０１５年度も取組を継続していくことが必要です。
----------------	--

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●海岸保全施設維持整備事業については、海岸法が改正されたことにより、現場操作員の安全確保のための操作規則及び長寿命化計画の策定を行うため、民間企業等との調整を行う必要があります。よって、次年度以降、策定に向けた検討を行い、現場操作員の安全の確保及び施設の維持管理を推進してまいります。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	市立病院の病院機能の強化と井田病院の全面開院に向けた取組
作成課	病院局経営企画室〔経営企画担当〕	関係課	病院局川崎病院事務局庶務課、病院局井田病院事務局庶務課、病院局経営企画室〔井田病院再編整備担当〕
重点課題の内容	●医療の高度化、高齢化社会の急速な進展による高齢人口の増加、慢性疾患を中心とした疾病構造の変化などにより、近年の医療需要は複雑化、多様化する傾向にあります。市立病院は、地域の基幹病院又は中核病院として、高度・特殊・急性期医療や、救急医療等を継続的かつ安定的に提供することが求められています。 ●多様な医療ニーズに対応するため、医療機関相互の機能分担と連携を進め、地域の医療水準を高めていくことが重要であり、地域医療連携の強化が求められています。 ●井田病院の老朽化した施設を再編整備するため、改築工事を推進する必要があります。		
重点課題の解決に向けた目標	●高齢化の進展とともに救急患者の増加が予測されるため、救急医療の体制強化・拡充を推進し、救急患者の積極的な受入れに取り組みます。 ●医療機能の分化・連携を推進するとともに、医療の質と患者サービスの向上に取り組み、市民に信頼される市立病院の運営を行います。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
川崎病院の運営	●地域周産期母子医療センターの安定的な運営 ●救急医療拡充・体制強化（医療人材確保） ●高度・特殊・急性期医療充実に向けた施設利用の検討 ●助産外来の評価 ●地域医療連携の体制強化 ●病院の大規模修繕計画の策定	概ね目標どおり達成できました。 ●救命救急センターに救急業務嘱託員として新たに救急救命士を任用し、体制強化を図りました。 ●外来説明スペースの拡充に向けた検討を行いました。 ●助産外来の患者アンケート調査を実施しました。 ●地域医療支援病院検討委員会を設置するとともに、紹介患者予約センター設置の準備を行いました。 ●今後更新が必要な設備等の洗い出しなど、大規模修繕計画策定の準備を行いました。	3	●地域周産期母子医療センターの安定的な運営 ●救急医療拡充・体制強化（医療人材確保） ●高度・特殊・急性期医療充実に向けた施設利用の検討・実施 ●助産外来の評価及び拡充検討 ●地域医療連携の体制強化 ●病院の大規模修繕計画を視野に入れた再整備（スマート化）の検討	概ね目標どおり達成できました。 ●救命救急センターに救急業務嘱託員として新たに救急救命士を任用し、体制強化を図りました。 ●外来説明スペースの拡充を行いました。 ●助産外来対象者の増加に向けた調査・検討を行いました。 ●地域医療支援病院検討委員会や紹介患者予約センターの設置、医師会等への登録医制度の協力要請などに取り組みました。 ●ESCO調査及び中長期保全計画の内容検討など、大規模修繕計画策定の準備を行いました。	3
井田病院の運営	●地域がん診療連携拠点病院及び救急告示病院として、救急室の拡充などの機能強化に向けた準備及び取組の実施 ●下半期に予定されている新棟全面開院に向けた調整・準備 ●市立病院間の連携強化と在宅医療の支援を含めた病診連携等の推進（地域医療支援病院の承認に向けた取組） ●緩和ケア病棟の安定的な運営	目標どおり達成できました。 ●10月のがん拠点病院更新申請の準備を行うとともに、救急センター開設に向け検討プロジェクトを設置しました。 ●冊子「地域連携と井田病院の役割」を地域の医療機関や患者に配布するとともに、症例検討会等を開催し、病診連携を推進しました。 ●5月から緩和ケア病棟を3床増床し、運用を開始しました。	3	●地域がん診療連携拠点病院及び救急告示病院としての機能強化の取組 ●再編工事第2期の完成に伴う、管理部門等の移転及び病棟増床に向けた準備 ●市立病院間の連携強化と在宅医療の支援を含めた病診連携等の推進（地域医療支援病院の承認に向けた取組） ●緩和ケア病棟の安定的な運営	目標どおり達成できました。 ●地域がん診療連携拠点病院の更新（1年）が承認されました。 また、救急センターを開設し運用を開始しました。 ●再編整備2期工事の完成に伴い、全面開院に向けた整備、移転作業を完了しました。 ●症例検討会やカンサードの開催や広報資料の活用等により、地域の医療機関との病診連携を推進しました。 ●緩和ケア病棟は増床によって、前年度を上回る実績となりました。	3
井田病院改築工事の推進	●井田病院改築工事の着実な推進 ・2期工事の進捗管理 ・3期工事の設計図面の確定と土壌調査委託の発注 ●斜面防護工事の施工方法の検討 ●新棟全面開院に向けた整備の推進 ・総合医療情報システム2次開発の推進 ・医療機器等の整備に向けた作業の推進	目標どおり達成できました。 ●2期工事は、計画どおり12月の建物の引渡しと3月の全面開院に向け、順調に進めています。 ●3期工事は、解体工事の発注の準備を含め計画どおり進めています。 ●斜面防護工事の施工方法は、委託を実施し、調査検討しています。	3	●井田病院改築工事の着実な推進 ・2期工事の進捗管理、2期工事建物完成 ・3期工事の施工等に向けた解体工事、調査委託の発注 ●斜面防護工事の施工計画の策定 ●新棟全面開院に向けた整備の推進 ・総合医療情報システム2次開発の完了 ・医療機器等の整備	目標どおり達成できました。 ●2期工事は計画通り建物が完成し、全面開院しました。総合医療情報システム2次開発を完了し、医療機器等の整備を完了しました。 ●3期工事は、土壌調査委託及び解体工事の発注を行いました。 ●斜面防護工事の施工計画を策定しました。なお、調査検討の結果、設計の一部変更の必要が判明したため、今後設計変更を進めます。	3

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	救急自動車搬送受入台数 ①川崎病院（４，０００件） ②井田病院（１，７５０件） ※半年間に受け入れた救急自動車搬送件数です。救急医療をどの程度提供できているのかを表す指標です。	①川崎病院 ３，８０４件 (目標値比 －１９６件) ②井田病院 １，４１８件 (目標値比 －３３２件)	４	救急自動車搬送受入台数 ①川崎病院（８，０００件） ②井田病院（３，５００件） ※１年間に受け入れた救急自動車搬送件数です。救急医療をどの程度提供できているのかを表す指標です。	①川崎病院 ７，３３２件 (目標値比 －６６８件) ②井田病院 ２，９６９件 (目標値比 －５３１件)	４
指標②	指標に関する実績値が１年ごとしか把握できないため、１年間の目標のみ設定しています。			入院患者満足度 ①川崎病院（９５．０％） ②井田病院（９５．０％） ※入院患者が求める質の高い安全で安心な医療をどの程度提供できているかを表す指標です。	①川崎病院 ９７．６％ (目標値比 ＋２．６％) ②井田病院 ９４．６％ (目標値比 －０．４％)	３
指標③	指標に関する実績値が１年ごとしか把握できないため、１年間の目標のみ設定しています。			外来患者満足度 ①川崎病院（９０．０％） ②井田病院（９０．０％） ※外来患者が求める質の高い安全で安心な医療をどの程度提供できているかを表す指標です。	①川崎病院 ８７．３％ (目標値比 －２．７％) ②井田病院 ９４．１％ (目標値比 ＋４．１％)	３

④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	●救急自動車搬送受入台数については、中部・北部地域における民間医療機関の受入増により、もともとそれらの地域から受け入れていた２次救急搬送要請自体が減少したことも要因となり、指標としては目標値を下回る結果となりましたが、救急救命士の配置（川崎病院）や救急センターの設置（井田病院）など、救急医療体制の強化・充実に向けた取組は着実に推進しています。特に川崎病院では、救命救急センターの使命として３次救急患者の受入れに重点的に取り組んでおり、重症患者が増加しているなかでも１００％に近い応需率を維持しています。 ●患者満足度については、９０％以上の高い水準を目標としていましたが、地域の医療機関との紹介、逆紹介など地域医療連携を積極的に推進した結果、市立病院が本来提供すべき高度・特殊医療の強化につながり、全体として概ね目標を達成することができたため、取組の成果があったと考えられます。
目標を上回る成果があった			
目標通りの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	高齢社会の進展に伴い今後ますます医療需要は高まることが予想されることから、２０１５年度も引き続き、救急医療をはじめとした医療機能を強化していくとともに、地域全体の医療水準向上に向け地域医療連携の推進に取り組んでいく必要があります。
課題は増大している			
課題は同水準で存在する	■		
課題は縮小・解消している			

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●井田病院改築工事の推進については、本年度の整備が計画通り順調に推移し、２期工事が完了したことから、業務執行体制を見直しました。今後、解体工事の進捗状況によっては、スケジュールの見直しが必要となります。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	重点課題名	消防力の総合的な強化
作成課	消防局総務部企画担当	関係課	消防局総務部庶務課、消防局総務部施設設備課、消防局警防部警防課、消防局警防部救急課、消防局警防部指令課、消防局警防部航空隊
重点課題の内容	●大震災時において被害を最小限に抑えるためには、地域の防災拠点となる消防庁舎等の整備が急務であり、消防力の強化に向けて老朽化した消防署所の早期改築・改修が必要です。 ●大規模災害等に対応するためには、「公助」とあわせて市民及び地域の有する「自助力」「共助力」と連携した取組の推進が必要です。 ●消防活動に必要な機器等は計画的な更新を行い、安定的な消防活動体制の確保、機能強化を図る必要があります。 ●いつでも誰もが安心して平等な救急サービスが受けられるよう、高度な救命処置を提供することができる救急救命士の常時乗車体制の確保に向けた救急救命士の養成を行う必要があります。		
重点課題の解決に向けた目標	●防災拠点となる消防庁舎等の整備及び消防活動に必要な機器等の更新を推進します。 ●救急救命士の常時乗車体制を確保するため救急救命士を新規に養成（8人）します。また、高度な救命処置を提供することが出来る資格者を養成します。 ●地域防災力を高めるため、消火ホースキットの配備（66セット）を推進します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前半			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
救急救命士養成事業		●救急救命士資格取得のため、3人を救急救命士養成施設に派遣。 ●気管挿管認定救命士を3人養成 ●ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定救急救命士を6人養成	目標どおり達成できました。	3	●救急救命士資格取得のため、5人を救急救命士養成施設に派遣。 ●気管挿管認定救命士を8人養成 ●ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定救急救命士を8人養成	目標どおり達成できました。	3
	予算	54,434 千円					
	決算見込	52,154 千円					
消防署所の改築事業		●宮前消防署管生出張所の新築工事に向けた基本・実施設計 ●多摩消防署宿河原出張所の改築の基本・実施設計に向けた予算要求 ●消防総合訓練場内の訓練塔・補助訓練塔の基本構想の検討	目標どおり達成できました。	3	●宮前消防署管生出張所の新築工事に向けた基本・実施設計及び解体工事 ●多摩消防署宿河原出張所の改築に向けた取組及び、老朽化した消防出張所の整備 ●消防総合訓練場内の訓練塔・補助訓練塔の基本構想及び基本・実施設計	目標どおり達成できました。	3
	予算	135,197 千円					
	決算見込	121,754 千円					
庁舎等整備事業		●緊急消防援助隊活動拠点の基本・実施設計 ●宮前消防署犬蔵出張所の改修工事（庁舎内） ●消防局庁舎の空調設備の補修工事の契約準備 ●消防局立体駐車場補修工事の契約準備 ●臨港消防署千鳥町出張所の消防艇用棧橋の改修工事 ●早期改修が必要とされる緊急工事	目標どおり達成できました。	3	●緊急消防援助隊活動拠点の基本・実施設計及び改修工事 ●宮前消防署犬蔵出張所の改修工事（車庫関係） ●消防局庁舎の空調設備の補修工事 ●消防局立体駐車場補修工事 ●シャッター補修・空調機改修 ●庁舎屋上防水工事 ●臨港消防署千鳥町出張所の消防艇用棧橋の改修工事 ●各種緊急工事を実施	●一部の事業を除き、目標どおり達成できました。 ●臨港消防署千鳥町出張所の消防艇用棧橋の改修工事は、基本・実施設計まで行いましたが、経済情勢等により入札が不調となったため、次年度再度実施することとなりました。	4
	予算	1,183,119 千円					
	決算見込	1,012,688 千円					
警防活動事業		●大規模災害発生時に、組織的な統制ある活動を展開するためには、現場最高指揮者を中心として、現場指揮本部を効率的に機能させる必要があることから、研修及び訓練を充実させ、総合的な災害対応能力を向上。 ●消火ホースキットの市民説明、配備調整、仕様の検討及び、設置に係る契約の締結等の配備の準備を実施。	目標どおり達成できました。	3	●大規模災害発生時に、組織的な統制ある活動を展開するためには、現場最高指揮者を中心として、現場指揮本部を効率的に機能させる必要があることから、研修及び訓練を充実させ、総合的な災害対応能力を向上。 ●消火ホースキットの市民説明、配備調整、仕様の検討及び、設置に係る契約の締結等の配備の準備を実施。	●目標どおり達成できました。 消火ホースキットについては、年間計画に基づき66セットを配備しました。	3
	予算	197,371 千円					
	決算見込	192,404 千円					
消防団に関する事務		●各消防団に地域において町内会、自治会等へ積極的に消防団募集の広報活動 ●消防団員の安全確保のための個人装備品の配備 ●入団促進のための動画作成企画書作成及びシャッターへの広報バインットの企画書作成	動画作成企画及びシャッターへの広報バインットの企画は、現在各消防団において、企画作成中であり、今年度中に実施できます。	3	●若年層や主婦層に対する積極的な入団促進活動 ●消防団員の安全装備品の充実・拡充配置 ●条例定数1,345人の確保 ●消防団員の報酬等の処遇改善	●動画による入団促進広報は、作成が終了し年度中に配信を開始したほか、シャッターバインットは、4消防団の器具置場において完成しました。 ●安全装備品は、耐切削性手袋を全消防団員に対し貸与することになりました。 ●年報酬の金額を増額しました。	3
	予算	214,233 千円					
	決算見込	204,876 千円					

ヘリコプター整備事業	●契約に向けての事業の推進 ●格納庫の改修	目標どおり達成できました。 (2014年6月25日付けで納入業者とヘリコプター購入の契約を交わしました。)	●ヘリコプターの更新にかかる進捗管理	●目標どおり達成できました。 (2014年12月11日に輸入された更新機の開梱検査を実施しました。) ●格納庫の改修については、東京都及び関係局と調整し、移転・新築することとなりましたので、改修費用の執行はありませんでした。	3
予算	15,639 千円				
決算見込	1,716 千円				
消防・救急無線デジタル化事業	●使用していたアナログ無線関係機器のスムーズな撤去	目標どおり達成できました。	●共通波：2015年4月の仮運用に向けた梶ヶ谷基地局の整備 ●活動波：2015年4月の本運用に向け、仮運用中における課題の修正	目標どおり達成できました。	3
予算	1,464,259 千円				
決算見込	1,393,555 千円				
消防指令体制の整備	●基本計画策定のため、資料等の収集 ●ヘリコプターテレビ地上設備工事に伴う契約事務	目標どおり達成できました。	●現行システムの維持管理 ●指令システム及び消防情報管理システムの更新に向け、基本計画の作成(委託) ●ヘリコプターテレビ電送システム地上設備整備(2カ年)	目標どおり達成できました。	3
予算	436,014 千円				
決算見込	412,970 千円				

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	●救急救命士の養成(3人)	計画・目標値どおり	3	●救急救命士の養成(5人)	計画・目標値どおり	3
指標②	配備計画が1年単位のものであるため、1年間の目標値のみ設定しています。			●消火ホースキットの配備(66セット)	計画・目標値どおり	3

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分	事務事業の総括的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった	臨港消防署千鳥町出張所の消防艇用棧橋の改修工事については、経済情勢等により入札不調となり、次年度に実施することとなりましたが、緊急消防援助隊活動拠点の改築工事に着手したほか、消防団の年報額の増額、宮前消防署管生出張所の基本・実施設計及び解体工事、消火ホースキット66セットの配備、救急救命士の養成、ヘリコプター更新に向けた契約及び消防・救急無線のデジタル化に向けた整備など、その他の取組については計画通りに推進できたため、目標どおりの成果があったものと考えます。
目標通りの成果があった	
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	課題の状況区分についての説明
課題は増大している	引き続き課題が存在するので、2015年度も取組を継続していく必要があります。
課題は同水準で存在する	
課題は縮小・解消している	

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	消防・救急無線デジタル化事業については、継続して取り組んでいきますが、一定の整備は完了したため、重点課題としての位置づけの見直しを行います。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	重点課題名	質の高い保育・幼児教育の総合的な提供
作成課	市民・こども局こども本部保育事業推進部保育課	関係課	市民・こども局こども本部子育て施策部こども企画課、市民・こども局こども本部保育事業推進部保育所整備推進担当、市民・こども局こども本部保育事業推進部待機児童ゼロ対策室、各区役所保健福祉センター児童家庭課
重点課題の内容	●2015年4月における待機児童ゼロを実現します。 ●2015年度施行の「子ども・子育て支援新制度」への速やかな制度変更を実施します。 ●今年度策定予定である「（仮称）川崎市子ども・子育て支援事業計画」の策定に合わせ、今後5年間の保育の受入枠の確保量をまとめます。 ●保育料について国や他都市の状況等を踏まえ、保育サービスの利用における受益と負担の適正化を引き続き図ります。 ●保育サービスにおける質の確保のために指導・監査体制の強化を図り、あわせて職員の資質向上に向け研修等を実施します。		
重点課題の解決に向けた目標	●待機児童ゼロの実現に向け、認可保育所の整備や川崎認定保育園等の新規認定等により保育の受入枠を確保します。併せて、保育の質を向上させるため指導・監査体制の強化を図るとともに職員向け研修を実施します。市ホームページや区役所窓口における情報提供を充実させるとともに市民へのきめ細かな相談対応を実施するための職員研修等を実施します。 ●民間活力を活かした長時間延長保育、一時保育など多様な保育サービスを充実させます。 ●公立保育所について、効率的で効果的な運営を行うとともに、民営化を推進します。 ●認可外保育施設の受入枠の拡充を図るとともに、認可外保育事業の再構築に向けた検討を進めます。 ●認可保育所の保育料については、受益と負担の適正化に向けた検討を進めます。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前半			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
認可保育所の整備		●2015年4月開設の民間事業者活用型整備の運営法人の募集・選定 ●2014年4月民営化園のアフターフォロー ●2015年4月民営化園の法人及び保護者との協議・調整 ●2016年4月民営化園の法人の募集・選定 ●2017年4月民営化園の選定 ●2016年4月開設の県有地貸与型整備の運営法人の募集・選定	2015年4月に向けた当初の計画である、1,540人の認可保育所の定員増を上積みするため、民間事業者活用型保育所整備事業の法人募集を第2次まで実施し、1,660人の定員増となる予定です。また、新たな制度である小規模保育事業を加えた第3次募集を実施し、さらなる定員増を図ります。	2	●2015年4月1日時点の認可保育所の施設数と定員数（263か所、21,865人） ●2015年4月の定員増に向けた取組（1,540人増） ①新規整備による定員増（22園・1,450人） ②公立保育所の建替え民営化による定員増（3園・50人） ③既存保育所の増改築による定員増（2園・40人）	2015年4月に向けた当初の計画である1,540人の認可保育所の定員増を上積みするため、民間事業者活用型保育所整備事業の法人募集を第3次まで実施し、既存保育園の定員増及び川崎認定保育園の認可化を含めて2,135人の認可保育所の定員増を図りました。また、併せて小規模保育事業所を新設し、68人の定員枠を拡充しました。	2
民間保育所の運営		●民間保育所の運営支援（4月1日現在） ・施設数189か所（公設民営を含む、以下同じ） ・定員数15,320人 ●長時間延長保育事業の拡充（174か所） ●一時保育事業の拡充（50か所） ●公設民営保育所の民設化の推進	目標どおり達成できました。	3	●民間保育所の運営支援（3月31日現在） ・施設数190か所（公設民営を含む、以下同じ） ・定員数15,380人 ●長時間延長保育事業の拡充（175か所） ●一時保育事業の拡充（55か所） ●公設民営保育所の民設化の推進	目標どおり達成できました。	3
認可外保育施設の支援等		●2015年4月の子ども・子育て支援新制度開始に向けた家庭的保育事業等に関わる運営・基準条例の制定作業の実施 ●2015年4月の新制度移行施設・認可化施設の決定及び移行等を見据えた認可外保育施設等に対する指導及び支援の充実 ●川崎市認定保育園、おなかま保育室などに対する認可外保育事業再構築基本方針に基づく、新制度移行を見据えた取組	目標どおり達成できました。	3	●2015年4月の子ども・子育て支援新制度開始に向けた家庭的保育事業等に関わる運営・基準条例の制定作業の実施 ●2015年4月の新制度移行施設・認可化施設の決定及び移行等を見据えた認可外保育施設等に対する指導及び支援の充実 ●川崎市認定保育園、おなかま保育室などに対する認可外保育事業再構築基本方針に基づく、新制度移行を見据えた取組	目標どおり達成できました。	3
公立保育所の運営		●効率的で効果的な運営（48か所：受入定員 5,005人）（2014年4月現在） ●民営化の推進（3園） ●調理業務の委託化の推進 ●「新たな公立保育所」実施園の建替え計画の作成	調理業務の委託化の推進については保育所の民営化と調整を図る必要があります。その他は目標どおり達成できました。	3	●効率的で効果的な運営（48か所：受入定員 5,005人）（2014年4月現在） ●民営化の推進（3園） ●調理業務の委託化の推進 ●「新たな公立保育所」実施園の建替え計画の作成	目標どおり達成できました。	3

保育に係る補助金		●川崎市保育会が行う研修事業、職員採用事業、保育所事務センターの運営等の支援 ●神奈川民間保育園協会が設置する児童厚生施設の運営の支援 ●白峰学園が設置する保育センターの運営の支援 ●市社協が主催する川崎市保育まつりの開催の支援	目標どおり達成できました。	3	●川崎市保育会が行う研修事業、職員採用事業、保育所事務センターの運営等の支援 ●神奈川民間保育園協会が設置する児童厚生施設の運営の支援 ●白峰学園が設置する保育センターの運営の支援 ●市社協が主催する川崎市保育まつりの開催の支援	目標どおり達成できました。	3
予算	34,027 千円						
決算 見込	34,027 千円						
保育料対策事業		●納付漏れを未然防止するための口座振替の勧奨、滞納の長期化を防止するための早期の納付指導等の継続的な実施	●納付漏れを未然防止するための口座振替の勧奨を、新規入所者及び納付書払い対象者に対して実施しました。 ●滞納の長期化を防止するため、公立保育所の園長面談や、1か月及び4か月目での納付指導を実施しました。	3	●滞納の初動段階での対応による滞納の長期化の予防及び過年度滞納分について、納付指導に応じない者への債権者等の差押の執行	目標どおり達成できました。次年度は、税務OB1名を非常勤職員として配置し、そのノウハウと経験を活かし、債権対策を進めます。	3
予算	27,898 千円						
決算 見込	26,158 千円						
児童福祉施設苦情解決第三者委員会運営		●苦情解決第三者委員会の適切な運営	5月に委員会開催、要項の確認及び役割を周知しました。前半において第三者委員において解決を図る苦情は0件ではありませんでしたが、各保育園への訪問、園長会との連携を図っています。	3	●苦情解決第三者委員会の適切な運営	目標どおり達成できました。	3
予算	240 千円						
決算 見込	240 千円						
保育所職員の育成事業		●市全体の保育の質の確保、維持向上を目的とした、課題・ニーズに対応した適切な研修の実施	新たな研修体系を作成し、職員のキャリアに合わせた階層別研修、保育の質の向上（専門知識、技術の習得）に繋がる課題別研修を計画・実施しています。 特別健康診断は予防講習という形で実施予定です。	3	●市全体の保育の質の確保、維持向上を目的とした、課題・ニーズに対応した適切な研修の実施	目標どおり達成できました。	3
予算	6,555 千円						
決算 見込	5,272 千円						
待機児童ゼロ対策の推進		●「待機児童ゼロの実現に向けた新たな挑戦」（基本方針）に基づく取組の推進 ●待機児童ゼロ対策推進本部会議、推進本部検討部会の効果的な運営 ●各区役所待機児童ゼロ対策推進会議との連携 ●各区役所における課題解決に向けた取組の推進	目標どおり達成できました。	3	●「待機児童ゼロの実現に向けた新たな挑戦」（基本方針）に基づく取組の推進 ●待機児童ゼロ対策推進本部会議、推進本部検討部会の効果的な運営 ●各区役所待機児童ゼロ対策推進会議との連携 ●各区役所における課題解決に向けた取組の推進	目標どおり達成できました。	3
予算	26,440 千円						
決算 見込	26,959 千円						
幼児教育の振興事業		●私立幼稚園保育料等補助金について、説明会の開催、各園を通した申請書の配布、取りまとめ及び審査 ●子ども・子育て支援新制度について、幼稚園に対する移行調査によるみなし認可・確認の準備、公定価格加算分及び利用者負担額の算定 ●幼稚園協会の補助について、事業計画書の内容の精査、概算額の決定及び交付の実施 ●新たな幼保連携型認定こども園の基準条例の制定に向けた準備作業 ●幼児教育従事者を対象とする研修及び講座の開催 ●幼稚園からの要請に応じた幼児教育相談員による幼稚園巡回相談の実施	目標どおり達成できました。	3	●私立幼稚園保育料補助金について、幼稚園を通した保護者への交付 ●子ども・子育て支援新制度について、新制度へ移行する幼稚園に対するみなし認可・確認による新制度移行準備 ●幼稚園協会補助について、事業の確認及び審査の確実な実施、額の確定 ●新たな幼保連携型認定こども園について、条例の制定、みなし認可及び確認手続き ●幼児教育従事者を対象とする研修及び講座の開催 ●幼稚園からの要請に応じた幼児教育相談員による幼稚園巡回相談の実施	ほぼ目標どおり達成できました。	3
予算	3,124,847 千円						
決算 見込	2,923,901 千円						
幼稚園児保育料補助事業		幼稚園（幼稚園類似施設）に在籍する、586名（見込み）の幼児の保護者に対する保育料の一部補助の実施	例年どおり、対象園に対して今年度補助金の申請書及び申請案内を発送しました。	3	幼稚園（幼稚園類似施設）に在籍する、586名（見込み）の幼児の保護者に対する保育料の一部補助の実施	幼稚園（幼稚園類似施設）に在籍する幼児、569名全員の保護者に対する保育料一部補助を実施しました。	3
予算	12,968 千円						
決算 見込	12,563 千円						

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			●2015年4月の定員増に向けた取組 (1,970人増) ①新規整備による定員増 (22園・1,450人) ②公立保育所の建替え民営化による定員増 (3園・50人) ③既存保育所の増改築による定員増 (2園・40人) ④川崎認定保育園の認可化 (10園・400人) ⑤幼稚園型認定こども園 (1園・30人)	●2015年4月の定員増に向けた取組 (2,180人増) ①新規整備による定員増 (27園・1,700人) ②公立保育所の建替え民営化による定員増 (3園・50人) ③既存保育園の増改築による定員増 (2園・40人) ④既存保育園の定員増 (11園・120人) ⑤川崎認定保育園の認可化 (4園・225人) ⑥幼稚園型認定こども園 (1園・45人)	2

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった	■	
目標通りの成果があった		
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		
		子育て世代からの要望が強い待機児童の解消を図るため、2015年4月に向けた当初の計画である1,970人の認可保育所の整備を主とした定員増を上積みするため、法人募集を第3次まで実施するとともに、既存保育園の定員増及び川崎認定保育園の認可化等を含め2,180人の認可保育所等の定員増を図りました。また、併せて小規模保育事業所を新設し、68人の認可事業の定員枠を拡充しました。 保育料対策事業については、ほぼ目標とおり達成できましたが、次年度は、税務OB1名を非常勤職員として配置し、そのノウハウと経験を活かし、償権対策を進めます。

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		
		継続的な待機児童の解消に向け、全事業において課題が存在するため、2015年度も引き続き各種取組を継続していくことが必要です。

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	保育料対策事業においては、2015年度に税務OB1名を非常勤職員として配置しますので、そのノウハウや経験を保育料の償権対策に活かし、特に過年度分償権の回収率向上に努めます。 子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、教育・保育に関する各種事業は国においても質の改善後の公定価格となり、本市においても事業内容の充実が図られました。次年度に向けて、認可事業へ移行する園の増加が見込まれることや、障害児保育事業等の充実に向けて各種調整を行うこととなります。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

＜①重点課題の内容等＞

基本戦略	2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	重点課題名	小児医療費助成の拡充
作成課	市民・こども局こども本部こども支援部こども家庭課	関係課	
重点課題の内容	●本制度は、小児に係る医療費の保険診療の自己負担分を助成することにより、その健全な育成を図り、もって小児保健の向上に寄与するとともに福祉の増進を図ることを目的としており、制度発足以来、段階的に制度の拡充を行っていますが、まだ対象年齢の範囲が十分とはいえず、市民等からの更なる制度拡充の要望も強いことから、今後も更なる制度拡充に向けた検討を行っていく必要があります。		
重点課題の解決に向けた目標	●安心して子どもが医療にかかることができる環境の充実を図るため、小児医療費助成制度の更なる拡充に向けて、国や県及び他都市の動向等を注視しながら検討を進めていきます。		

＜②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等＞

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
小児医療費助成事業	●医療費の助成の着実な実施 ●制度の更なる拡充に向けた検討の実施 ●受給資格一斉更新の実施	目標とおり達成できました。制度拡充に向けた検討については、庁内関係局からなる検討プロジェクト会議を開催し検討を行いました。	3	●医療費の助成の着実な実施 ●制度の更なる拡充に向けた検討の実施 ●受給資格一斉更新の実施 ●県の医療費助成事業の補助金の方向性を踏まえた上での制度継続等のための調整等	目標とおり達成できました。制度の拡充に向け、庁内関係局からなる検討プロジェクト会議を開催し、拡充のあり方について検討を行いました。	3
予算	3,731,808 千円					
決算見込	3,606,132 千円					

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	制度拡充には、様々な調整が必要であり、具体的な制度拡充を提示することが困難です。					

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分	事務事業の総括的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった	●小児医療費助成制度の拡充に向けて、通院医療費助成対象年齢の拡大や所得制限のあり方、また持続可能な制度のあり方について検討を行った結果、通院助成対象年齢を小学校1年生までから小学校2年生までとする制度の拡大を2015年度から行うこととなったことについては、一定の成果があったと考えられます。
目標通りの成果があった	
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	課題の状況区分についての説明
課題は増大している	●引き続き検討すべき課題が存在するため、2015年度も取組を継続していくことが必要です。
課題は同水準で存在する	
課題は縮小・解消している	

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●小児医療費助成制度の拡充については、通院助成対象年齢の範囲や所得制限のあり方等、本制度を継続的に安定的に運用していくために検討すべき課題が残っており、今後、更に調整・協議等を行っていく予定としています。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	重点課題名	「キャリア在り方生き方教育」の推進
作成課	教育委員会事務局総務部教育改革推進担当（共生・共育）	関係課	
重点課題の内容	社会の様々な領域において構造的な変化が進行する中、社会人として自立した人材の育成が強く求められる一方、若者の「学校から社会への移行」が円滑に行われていない状況が課題となっています。さらに子どもたちが将来に不安を感じたり、学校での学習に自分の将来との関係で、意義が見いだせずに学習意欲が低下し、学習習慣が確立しないといったことも課題となっています。そこで、「自分をつくる」「みんな一緒にいきている」「わたしたちのまち川崎」を視点とする「キャリア在り方生き方教育」の取組が必要とされています。		
重点課題の解決に向けた目標	子どもたちの社会的自立に必要な能力や態度の育成と、共生・協働の視点から、教育の在り方を幅広く見直し、これまでの取組を価値づけ、改革していくために教員用啓発資料である「キャリア在り方生き方教育の手引き」や（仮称）「キャリア在り方生き方ノート」（試作版）を作成し、「キャリア在り方生き方教育」の取組を推進します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前半			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
キャリア在り方生き方教育推進事業		●教員用啓発資料である「キャリア在り方生き方教育の手引き」の原稿作成 ●（仮称）「キャリア在り方生き方ノート」（試作版）の原稿作成	目標どおり達成できました。	3	●教員用啓発資料である「キャリア在り方生き方教育の手引き」の作成・配布 ●（仮称）「キャリア在り方生き方ノート」（試作版）の作成 ●研究協力校の募集・選定	目標どおり達成できました。	3
予算	4,000 千円						
決算見込	2,582 千円						

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			「将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている」と回答した児童生徒の割合 (小6：85.5%) (中3：71.5%)	「将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている」と回答した児童生徒の割合 (小6：85.1%) (中3：69.7%)	3
指標②	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			「自分にはよいところがあると思わない」と回答した児童生徒の割合の減少 (小6：7%) (中3：9.5%)	「自分にはよいところがあると思わない」と回答した児童生徒の割合の減少 (小6：6.2%) (中3：10%)	3

④重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分について

重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分		事務事業の総合的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標通りの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●今年度作成した「キャリア在り方生き方教育の手引き」は全校で、「キャリア在り方生き方ノート」（試作版）は、研究推進校で活用し、効果的な活用方法や内容を検証し、2016年度の全校実施に向け、2015年度はさらに事業を拡大して実施する予定としています。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	重点課題名	確かな学力の育成
作成課	教育委員会学校教育部指導課	関係課	教育委員会総合教育センター、教育委員会職員部教職員課
重点課題の内容	●子どもの学習状況の把握により、教育課程の見直しを図るとともに、学習指導要領に的確に対応した確かな学力の育成をめざします。また、川崎の特色を活かした取組の推進により、理科教育を充実します。 ●1学級あたり35人を超える小学校2年生以上の学級において、県の研究指定制度を活用した少人数学級を実施します。また、県から加配される少人数指導等のための教員を学級担任にあてて少人数学級を実施した学校に対して、市費の非常勤講師を配置し、習熟度別学習や課題別学習等の少人数指導を推進します。 ●小学校・中学校・高等学校の全校種の英語の授業にALTを配置することにより、各学校の英語教育・外国語活動を支援します。 ●教育用や校務用コンピュータを有効活用し、児童生徒の情報活用能力を育成すること、教師の指導力を豊かにすること、校務の共有化・効率化を図り、教材研究や子どもと触れ合う時間を十分に確保することを目指し、教育の情報化推進計画並びに教育の情報セキュリティポリシーを策定し、これに沿ってICT機器の整備や教材・資料のデータベース化、教員研修の充実、及び情報活用能力育成に向けた研究の推進を図ります。		
重点課題の解決に向けた目標	●基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得や思考力・判断力・表現力等の育成、学習意欲の向上等を重視した様々な取組を推進し、児童生徒に「確かな学力」を育みます。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
教育課程・学習指導に関する事務	●小学校において学習状況調査を実施 ●小中学校において教育課程研究会等を実施 6月・8月 ●学校からのニーズを把握し、教育活動サポーターの配置 ●横浜国立大学と連携した中核理科教員（CST）養成プログラムへの参加募集 ●市内小中学校でのCST実習生の受入 ●採用試験における大学推薦の推薦基準にCST認定者を含め、人材確保に努める。 ●理科支援員を全小中学校に配置 学校の周知及び支援員の募集 ●関係局と連携し、先端科学技術者の巡回授業	目標とおり達成できました。（小学校学習状況調査を5月13日に実施しました。学校からのニーズを把握し、教育活動サポーターを8月末までに1,729回配置しました。横浜国立大学と連携した中核理科教員（CST）養成プログラムに7名参加しました。市内小中学校でのCST実習生の受入校を拡充しました。）	3	●中学校において学習状況調査を実施 ●学習指導要領を基に学校教育を推進 ●学校からのニーズを把握し、教育活動サポーターの配置を引き続き行い、効果と課題を検証 ●横浜国立大学と連携した中核理科教員（CST）養成プログラムを実施 ●市内小中学校でのCST実習生の受入 ●採用試験における大学推薦の推薦基準にCST認定者を含め、人材確保 ●理科支援員を全小中学校に配置。 ●関係局と連携し、先端科学技術者の巡回授業	目標とおり達成できました。（横浜国立大学と連携した中核理科教員（CST）養成プログラムにおいて6名がCSTに認定されました。市内小中学校でCST実習生を1名受け入れ、実習を実施しました。先端科学技術者による授業を中学校2校で実施しました。）	3
少人数指導等推進事業	●課題別学習や習熟度別学習などの少人数指導の実施 ●1学級あたり35人を超える小学校2年生以上の学校における、神奈川県の研究指定制度を活用した少人数学級の実施 ●神奈川県から加配されている少人数指導等のための教員を学級担任にあてて少人数学級を実施した学校に対する、市費の非常勤講師の配置	目標とおり達成できました。（市費の非常勤講師を40校に配置しました。）	3	●課題別学習や習熟度別学習などの少人数指導の実施 ●1学級あたり35人を超える小学校2年生以上の学校における、神奈川県の研究指定制度を活用した少人数学級の実施 ●神奈川県から加配されている少人数指導等のための教員を学級担任にあてて少人数学級を実施した学校に対する、市費の非常勤講師の配置 ●次年度の児童生徒数推計等による少人数学級実施予定校の把握、及び、申出のあった学校に計画書の提出を依頼	目標とおり達成できました。（市費の非常勤講師を40校に配置しました。）	3
予算	100,878 千円					
決算見込	93,410 千円					
予算	99,547 千円					
決算見込	93,409 千円					

外国語指導助手配置事業		●小学校に35人のALTを計画的に配置し、児童の積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を促進し、コミュニケーション能力の素地の育成 ●ALTの活用を含んだ外国語活動中核教員研修を半日単位4回実施 ●各中学・高校にALTを計画的に配置し、生徒の積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すことだけでなく、読むこと、書くことのコミュニケーション能力をバランスよく育成 (中学校は1人増、計31人。高校は継続して5人を配置)	目標どおり達成できました。	3	●小学校に35人のALTを計画的に配置し、児童の積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を促進し、コミュニケーション能力の素地の育成 ●国が始める新たな英語教育研修に合わせ、英語教育中核教員研修を半日単位2回実施 ●各中学・高校にALTを計画的に配置し、生徒の積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すことだけでなく、読むこと、書くことのコミュニケーション能力をバランスよく育成 ●国が進める新たな英語教育改革計画に合わせ、これまでの取組の検証と次年度に向けての準備	目標どおり達成できました。 (ALTの計画的な配置とともに、国が進める新しい英語教育改革計画に対応した、小中高それぞれの校種において英語教育推進リーダーによる英語教育研修を開始しました。)	3
予算	295,077 千円						
決算見込	295,076 千円						
教育の情報化推進事業		●校務支援システム出席簿に関するサポートの強化及び安定運用 ●校務支援システムグループウェア、週案へのサポートの強化及び安定運用 ●校務用コンピュータの再配置	目標どおり達成できました。 (校務支援システムについては、9月下旬に一時的な通信障害が発生しましたが、即時復旧を図り、運用に支障をきたすことはありませんでした。)	3	●校務支援システム保健帳票の運用に向けた協議 ●校務支援システム指導要録の運用に向けた協議 ●小学校34校コンピュータ機器更新 ●普通教室用コンピュータ機器更新 ●校務用コンピュータ機器更新 ●「教育の情報化推進計画」に基づく取り組みの推進	目標どおり達成できました。	3
予算	1,358,402 千円						
決算見込	1,330,570 千円						

<③重点課題の解決状況に関連する指標>

	計画・目標値	前半		1年間		
		実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			「授業がわかる、どちらかといえばわかる」と回答した児童生徒の割合 (小5:88%) (中2:72%) ※小5:国語・算数・理科・社会の平均、中2:国語・数学・理科・社会・英語の平均	「授業がわかる、どちらかといえばわかる」と回答した児童生徒の割合 (小5:88.3%) (中2:73.4%)	3
指標②	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			「学習はすき、どちらかといえばすき」と回答した児童生徒の割合 (小5:73%) (中2:56%) ※小5:国語・算数・理科・社会・総合の平均、中2:国語・数学・理科・社会・英語の平均	「学習はすき、どちらかといえばすき」と回答した児童生徒の割合 (小5:74.2%) (中2:57.8%)	3
指標③	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			「授業で学んだことが、生活の中で役に立っていると思う、どちらかといえば思う」と回答した児童生徒の割合 (小5:89%) (中2:70%) ※小5:国語・算数・理科・社会・総合の平均、中2:国語・数学・理科・社会・英語の平均	「授業で学んだことが、生活の中で役に立っていると思う、どちらかといえば思う」と回答した児童生徒の割合 (小5:89.4%) (中2:70.7%)	3

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標通りの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		
		●川崎市学習状況調査においては、報告会・報告書を通して、具体的な授業改善のヒントを解説提案しました。また学校・研究会と連携して調査結果を踏まえ、実際に取り組まれた授業づくり・学校づくりを冊子等にまとめ周知いたしました。指標として設置した中学2年生の授業がわかるの数値が改善しており、成果があったと考えられます。 ●校務支援システムの運用においては、グループウェア機能の積極的活用を提案してきました。学校では、教職員間の連絡や共通理解に役立ち、打ち合わせ等の時間短縮にもつながり、成果があったと考えられます。

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		
		●外国語指導助手配置事業については、国が進める新しい英語教育改革計画に対応した英語教育推進リーダーによる英語教育研修を、小中高それぞれの校種において開始しましたが、解決すべき課題があり、今後も教職員研修とA L Tの適正配置を進めていく必要があります。 ●教育の情報化推進事業については、校務用コンピュータを各校教員数プラス1台整備しましたが、解決すべき課題があり、今後も取組を継続していく必要があります。

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●川崎市学習状況調査は、全国学力・学習状況調査の結果と合わせて分析することで、全国的な成果と課題を踏まえ、本市の成果と課題を的確に把握し、それぞれの調査を補完的に活用し、学力把握と学力向上の取組を進めていきます。 ●教育の情報化推進事業については、今年度の校務支援システムの稼働状況からは、よりストレスのない運用という課題が残りました。また、教員の授業力と児童生徒の情報活用能力については、さらなる向上が必要と考えています。次年度は校務支援システムの安定運用、及び、教員の授業力向上と児童生徒の情報活用能力の育成に向けた取組などを実施する予定としています。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	重点課題名	一人ひとりの教育的ニーズに対応した総合的な支援
作成課	教育委員会事務局学校教育部指導課	関係課	教育委員会事務局 総務部・総務部学事課 総合教育センター カリキュラムセンター・教育相談センター
重点課題の内容	●2014年度で第1期計画が終了するため、第2期川崎市特別支援教育推進計画(仮称)を策定する必要があります。特別支援学校や特別支援学級等に在籍する障害のある児童生徒が増加しており、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な教育的支援を行う必要があります。 ●就学援助の申請者が年々増加する中で、真に必要な人に必要な額、必要な費目を支援することが求められています。 ●教職員の指導力向上をめざした取組や学校における登校支援体制の充実を図る取組を推進する必要があります。 ●帰国外国人児童生徒へ日本語指導等協力者の派遣等や、区教育担当等と連携した受け入れ体制づくりを行う必要があります。 ●SC・SSWを配置して、不登校やいじめの問題だけではなく、子どもたちの豊かな心を育てていく必要があります。 ●不登校の児童生徒の安心安全感を得る場所として適応指導教室を設置し、学校や社会へ復帰するよう取組む必要があります。		
重点課題の解決に向けた目標	●今後10年間の特別支援教育の方針である第2期川崎市特別支援教育推進計画(仮称)を策定し、特別支援教育を推進します。 ●児童支援コーディネーターの専任化を図り、一人ひとりの児童が抱える様々な課題に対応可能な児童支援活動を推進します。 ●特別支援教育サポーターを配置し、川崎市立学校の発達障害を含む障害のある児童生徒に対する支援を充実します。 ●就学援助を適切に周知し、教育の機会拡充を目指します。 ●「かわさき共生＊共育プログラム」の実践を通して、いじめ・不登校の未然防止等に向けた取組を推進します。 ●日本語指導等協力者の指導力向上にむけた研修の実施や区教育担当等と連携した受け入れ体制を推進します。 ●中学校にSCを配置、小学校、高等学校へ学校巡回カウンセラー7名の派遣、各区1名のSSWを配置します。 ●6か所での適応指導教室の運営やメンタルフレンド(ボランティア学生)を募集します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前半		1年間			
取組内容・目標		実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	
特別支援教育推進事業		●第2期川崎市特別支援教育推進計画の素案作成 ●特別支援教育サポーター配置による教育的支援の充実 ●田島支援学校教員の特定行為従事者研修受講 ●さくら小学校における「交流及び共同学習の研究」として授業研究の実施	目標どおり達成できました。	3	●第2期川崎市特別支援教育推進計画（仮称）の策定 ●特別支援教育サポーター配置による教育的支援の充実 ●田島支援学校における看護師と教員の連携による医療的ケア体制整備 ●さくら小学校の「交流及び共同学習」の全市に向けた研究報告会の実施	目標どおり達成できました。	3
予算	244,226 千円						
決算見込	233,409 千円						
就学援助・就学事務		●就学援助・・2014年度から、世帯の同意を得て税情報の所得照会を行うこととし、遅滞なく認定。同様に今年度から支給を開始、中学校の部活動における経費についても、適正に支給 ●就学事務・・就学事務のオンライン化に向けて検討	目標どおり達成できました。	3	●就学援助・・生活保護基準改定にともなう就学援助への影響について検討し、来年度からの取り扱いを確定。支給費目について検討 ●就学事務・・就学事務のオンライン化に向けて検討	目標どおり達成できました。	3
予算	567,728 千円						
決算見込	722,533 千円						
海外帰国・外国人児童生徒相談事業		●区教育担当と連携した受け入れ体制について 5月学校教育部連絡調整会議において各担当に周知説明 ●日本語指導等協力者の指導力向上にむけた研修の実施 4月 新規登録者研修 5月 第1回研修 ●相談・就学体制づくりのために帰国・外国人児童生徒教育担当者会を新たに設置 7月 第1回担当者会実施	目標どおり達成できました。	3	●区教育担当と連携した受け入れ体制の推進 12月学校教育部連絡調整会議において各担当と情報交換 ●日本語指導等協力者の指導力向上にむけた研修の実施 10月、1月 ●相談・就学体制づくりのために帰国・外国人児童生徒教育担当者会を新たに設置 1月第2回担当者会実施	目標どおり達成できました。	3
予算	56,720 千円						
決算見込	50,142 千円						
児童生徒指導・相談業務		●市内市立全中学校へのスクールカウンセラーの配置 ●市立小学校、高等学校への学校巡回カウンセラー7名の派遣 ●各区1名のスクールソーシャルワーカーの配置	目標どおり達成できました。	3	●市内市立全中学校へのスクールカウンセラーの配置 ●市立小学校、高等学校への学校巡回カウンセラー7名の派遣 ●各区1名のスクールソーシャルワーカーの配置	目標どおり達成できました。	3
予算	197,457 千円						
決算見込	193,820 千円						
適応指導教室事業		●市内6か所での適応指導教室の運営 ●メンタルフレンド（ボランティア学生）の募集及び配置	目標どおり達成できました。	3	●市内6か所での適応指導教室の運営 ●メンタルフレンド（ボランティア学生）の募集及び配置	目標どおり達成できました。	3
予算	79,575 千円						
決算見込	78,755 千円						

共生・共育推進事業		●共生・共育担当者研修会（4月、8月）の実施 ●「かわさき共生＊共育プログラム効果測定活用ハンドブック」を使っている校内研修の推進 ●研究協力校への説明会実施（4月）	目標どおり達成できました。	●共生・共育担当者研修会（年3回）、校内研修等を通じた指導者育成の充実 ●研究協力校15校の効果検証等の調査研究 ●いじめ、不登校等の早期発見のための「効果測定」の活用推進	目標どおり達成できました。	3
予算	10,628 千円			3		
決算 見込	9,190 千円					
児童支援コーディネーター専任化事業		●学校訪問・研修・協議会の開催等による推進校及び児童支援コーディネーターの取組支援 ●6月実施の「特別支援教育体制充実アンケート」の集約と分析から事業の成果の検証	目標どおり達成できました。	●学校訪問・研修・協議会等の開催等による推進校及び児童支援コーディネーターの取組支援 ●「特別支援教育体制充実アンケート」「いじめ・暴力に関わる調査」等の集約と分析から事業の成果の検証 ●全校配置に向けた次年度以降の事業拡充計画の取りまとめ ●次年度の推進校の募集及び決定	目標どおり達成できました。	3
予算	44,891 千円			3		
決算 見込	44,260 千円					

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 （計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値 （計画・目標値との差異）	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			支援の必要な児童の課題改善率（75%） ※全小中学校において把握している支援の必要な児童のうち、その後の支援によって課題が改善した割合（改善傾向にある児童を含む）	支援の必要な児童の課題改善率（81.8%）	3
指標②	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合（小6：74%） （中3：63%）	「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合（小6：76.8%） （中3：62.2%）	3
指標③	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			かわさき共生・共育プログラム効果測定によるポジティブ・活躍群の割合（小学校：45%） （中学校：35%）	かわさき共生・共育プログラム効果測定によるポジティブ・活躍群の割合（小学校：46.2%） （中学校：39.3%）	3

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分		事務事業の総合的な実施結果区分についての説明	●特別支援教育推進事業については、本市の特別支援教育の方向性を示す第2期川崎市特別支援教育推進計画をパブリックコメントを経て策定し、また、さくら小中学校の「交流及び共同学習」の研究報告会を開催し取組を全市に向けて発信したこと等から、成果があったと考えられます。 ●児童支援コーディネーター専任化事業については、児童支援コーディネーターを核として、児童の課題を多面的に捉え、チームで対応できる児童支援体制を構築したこと等から、成果があったと考えられます。 ●海外帰国・外国人児童生徒相談事業については、予想相談数を約40名上回りましたが、年間を通じて安定した日本語指導を行いました。しかし、次年度も同様な人数を予想人数に設置すると、予算をより有効に活用した事業のシステムを見直していく必要があります。
目標を上回る成果があった			
目標通りの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	●引き続き課題が存在するので、2015年度も取組を継続していく必要があります。
課題は増大している			
課題は同水準で存在する	■		
課題は縮小・解消している			

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●特別支援教育推進事業については、本年度の事業実施の結果、対象となる児童生徒の増加に対する対応が求められるとともに、共生社会の実現に向け、障害の有無にかかわらずすべての児童生徒を対象として、一人ひとりの教育的ニーズに的確に対応した教育をさらに推進する必要があることから、2015年度は事業費を精査しつつも、事業の充実に向けた取組を推進していく予定としています。 ●児童支援コーディネーター専任化事業については、本年度の事業実施の結果、共生社会の実現に向け、障害の有無にかかわらずすべての児童生徒を対象として、一人ひとりの教育的ニーズに的確に対応した教育をさらに推進する必要があることから、2015年度は事業費を精査しつつも、事業の充実に向けた取組を推進していく予定としています。 ●海外帰国・外国人児童生徒相談事業については、海外帰国・外国人児童生徒への日本語指導及び学習支援の指導力向上を目指して、2015年度から日本語指導等協力者と学習支援員の役割を明確に分けた事業の支援体制を実施する予定としています。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	重点課題名	中学校完全給食の導入に向けた取組
作成課	教育委員会中学校給食推進室	関係課	教育委員会学校教育部健康教育課
重点課題の内容	●本市の中学校の昼食は、家庭からの弁当を基本とするミルク給食を実施しています。 ●弁当を持参できない生徒のために、家庭からの弁当を補完する制度として、中学校52校でランチサービス事業を実施しています。 ●本市の中学校において完全給食を提供することにより、さらなる食育の充実が図られること、育ち盛りの生徒にとって栄養バランスがあり安全・安心で温かい食事を摂ることができるなどのことから、2013年11月に「川崎市立中学校給食の基本方針」を教育委員会決議で決定し、中学校完全給食の早期実施に向けた取組を推進しています。		
重点課題の解決に向けた目標	●安全・安心で温かい中学校完全給食を2016年度中に全校で実施します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
中学校給食等運営事業	●ミルク給食の実施 ●ランチサービス事業の実施 ●中学校完全給食実施に向けた取組の推進 ・中学校給食推進会議等による検討 ・中学校完全給食実施方針（素案）策定・公表	目標どおり達成できました ・中学校完全給食実施方針（素案）については、2014年8月25日に策定・公表しました。	3	●ミルク給食の実施 ●ランチサービス事業の実施 ●中学校完全給食実施に向けた取組の推進 ・中学校給食推進会議等による検討 ・中学校完全給食実施方針の決定 ・施設設備の整備計画の策定	2016年度中に全校で中学校完全給食を実施すること等を定める中学校完全給食実施方針を2014年10月に策定・公表しましたが、その後、昨今の建設需要の逼迫、建設人材・建設資材の不足等の状況から、2015年1月に事業スケジュールの見直しを行い、2016年度中に一部の学校において、2017年度中に全校において完全給食を実施することとしました。	4
予算	86,018 千円					
決算見込	90,518 千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	本重点事業の目標は中学校完全給食を実施することであり、課題解決の状況を指標で測る性質のものではないため、指標を設定することが困難です。					

④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分	事務事業の総括的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった	
目標通りの成果があった	
目標を下回る成果があった	■
ほとんど成果なし	

●中学校完全給食の導入に向けた取組につきましては、可能な限り中学校完全給食の早期実施に向けた取組を進めました。しかしながら、学校給食センターのPFI手法による手続きを進める中で、昨今の建設需要の逼迫、建設人材・建設資材の不足等の状況から、民間事業者から、事業スケジュールの見直しについて数多くのご意見・ご提案をいただきました。そのため、学校給食センターの整備実績や運営ノウハウのある民間事業者の協力を得て、中学校完全給食の早期実施をより確実に実現するため、いただいたご意見を踏まえたスケジュールの見直しを行いました。こうしたことから、2014年度の事務事業の実施結果につきましては、2016年度中に中学校完全給食を全校実施する当初の目標から下回る成果となりました。

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	課題の状況区分についての説明
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

●本市で初となる中学校完全給食の実施に向けては、引き続き課題が存在するので、2015年度も取組を着実に推進することが必要です。

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●中学校給食推進会議等による検討の結果、中学校完全給食の実施については、2015年度に東橋中学校での試行実施による検証等を踏まえ、2016年度には一部の学校において、2017年度には全校において中学校完全給食を実施することが決定しました。今後は、市内3か所の学校給食センターや給食施設、各学校の配膳室等の整備、献立作成、給食費の額の決定等の準備・検討を進め、引き続き事業を推進していきます。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	重点課題名	教育環境の整備
作成課	教育環境整備推進室	関係課	総務部企画課
重点課題の内容	●より多くの学校施設の教育環境を、早期かつ効率的に改善するため、「学校施設長期保全計画」に基づく改修による学校施設の再生整備及び予防保全を実施し、施設の長寿命化を図るとともに、教育環境の質的な改善と環境対策を併せて推進します。 ●特に利用者のニーズの高い、学校トイレの快適化やエレベータの既存校舎への設置を計画的に進めます。 ●児童生徒が増加している地域ごとの対応の検討を行ないながら、学校の新設、増改築や通学区域の変更等を計画的に行い、良好な教育環境を確保します。		
重点課題の解決に向けた目標	●2014年度から再生整備事業において校舎8校・体育館5校の設計に着手し2015年度以降は予防保全と再生整備を計画的に実施します。 ●2015年度以降は再生整備と併せて、利用者の特にニーズの高い、学校トイレの快適化とエレベータ設置を計画的に実施します。 ●新川崎F地区新設小学校と小杉駅周辺地区新設小学校の開校し、両地域における良好な教育環境の確保を実現します。 ●児童生徒が増加している地域においては、一部通学区域の変更や計画的な増改築を実施し、良好な教育環境の確保を実現します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
安全で快適な教育環境整備事業	●学校トイレ快適化事業の2015年度工事分設計着手（7校、23か所） ●学校トイレ快適化事業の工事着手（7校、25か所） ●既存校のエレベータの2015年度工事分設計着手（5校） ●既存校のエレベータの設計工事着手（5校）	目標どおり達成できました。（学校トイレ快適化事業の2015年度工事分設計校の選定（7校、23か所）や既存校のエレベータの2015年度工事分設計校の選定（5校）を完了しました。また、学校トイレ快適化事業の工事（7校、25か所）やエレベータの工事（5校）に着手しました。）	3	●学校トイレ快適化事業の2015年度工事分設計完了（7校、23か所） ●学校トイレ快適化事業の工事完了（7校、25か所） ●既存校のエレベータの2015年度工事分設計完了（5校） ●既存校のエレベータの設計工事完了（5校）	目標どおり達成できました。	3
既存学校施設再生整備事業	●再生整備モデル事業(西丸子小・久末小)の工事(3年目)・設計(4年目)の着手 ●再生整備モデル事業の検証 ●再生整備事業(校舎8校・体育館5校)の設計着手の準備 ●学校施設老朽化対策先導事業(菅生小)の国事業採択及び基本計画策定の着手	目標どおり達成できました。	3	●再生整備モデル事業(西丸子小・久末小)の工事(3年目)・設計(4年目)の完了 ●再生整備モデル事業の検証 ●再生整備事業(校舎8校・体育館5校)の設計着手 ●学校施設老朽化対策先導事業(菅生小)の基本計画策定完了	目標どおり達成できました。	3
児童生徒増加対策事業	●増築工事 ●御幸小設計完了 ●東門前小に関わる通学区域変更の実施	御幸小の設計については、発注手続きに着手しています。（発注により設計完了）	3	●新川崎F地区・小杉駅周辺地区新校開設に伴う取組の推進 ●上丸子小学校の校舎改築工事、東橋中学校・子母口小学校の校舎合築工事の完了 ●増築工事 ●久末小設計完了・下沼部小設計完了・渡田小工事完了・日吉小工事完了・片平小工事完了・白鳥中工事完了・御幸小工事・古川小設計・大師中設計完了、工事・富士見中設計完了、工事・臨港中設計 ●児童急増地域等における開発状況調査等の実施及び対応策の検討	東橋中学校・子母口小学校の校舎合築工事と白鳥中学校校舎増築工事については、地中埋設物の影響で工期を延長しましたが、それぞれ2015年7月と5月に完了する予定です。その他は予定通り設計・工事を進めました。	4
予算	1,613,336千円					
決算見込	1,341,943千円					
予算	1,219,231千円					
決算見込	1,093,747千円					
予算	10,279,335千円					
決算見込	5,897,272千円					

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			トイレ快適化整備校数の割合（59.8%） ※床がドライ化されていない小学校91校、中学校41校を含む	トイレ快適化整備校数の割合（59.8%）	3
指標②	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			エレベータ設置校数の割合（59.4%） ※小・中学校における校舎増改築や既存校舎改修によるエレベータの設置校の割合	エレベータ設置校数の割合（59.4%）	3

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	
目標を上回る成果があった			
目標通りの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	
課題は増大している			
課題は同水準で存在する	■		
課題は縮小・解消している			

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●①児童生徒増加対策事業の2事業については計画変更がありましたが、その他の新増改築工事は予定どおり進捗したこと、②2015年度から「学校施設長期保全計画」に基づく予防保全や再生整備を拡充し設計を行うことになったこと、③学校トイレの快適化やエレベータ設置も予定校数の工事を完了したことから、安全で快適な教育環境の整備について成果はあったものと考えられます。 ●児童生徒増加対策事業については、東橘中学校・子母口小学校の校舎合築工事と白鳥中学校校舎増築工事が地中埋設物の影響で工期を延長しましたが、それぞれ平成27年7月と5月に完了するよう取組を推進します。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	重点課題名	地域ぐるみで教育を支える環境の充実
作成課	教育委員会事務局生涯学習推進課	関係課	教育委員会事務局学校教育部指導課
重点課題の内容	●中学校区と行政区に設置された地域教育会議における市民の自主的な活動を支援することで地域教育力の向上を目指します。 ●2014年度よりスタートした「地域の寺子屋事業」により、地域ぐるみで子どもの教育や学習をサポートする仕組みづくりを進めます。 ●各区役所こども支援室による学校運営支援や各区に配置されているスクールソーシャルワーカーの活用により、地域における関係機関等の連携を強化しながら、きめ細やかな区における子ども支援を推進します。 ●学校運営協議会制度を推進し、地域に開かれた学校づくりを進めます。		
重点課題の解決に向けた目標	●全市7ヶ所において、地域の寺子屋事業をスタートさせ、地域ぐるみで子どもの教育や学習をサポートする仕組みづくりを進めます。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
地域等による学校運営への参加促進事業	●地域に開かれた信頼される学校づくり、地域の創意工夫を活かした特色ある学校づくりを目指した学校運営の推進 ●学校運営協議会の開催 ●コミュニティスクール指定校どうしの情報交換等を目的とした連絡会の開催	連絡会については、9月開催を想定していましたが、日程調整を行った結果、10月に開催することとしました。	3	●地域に開かれた信頼される学校づくり、地域の創意工夫を活かした特色ある学校づくりを目指した学校運営（通年） ●学校運営協議会の開催（通年） ●コミュニティスクール指定校どうしの情報交換等を目的とした連絡会の開催（年2回） ●コミュニティ・フォーラムの開催 ●1年間の取組成果をまとめたパンフレットの作成	目標どおり達成できました。	3
区における教育支援推進事業	●ケース会議、各種協議会等への参加や、学校訪問を通じた状況把握及び支援 ●区役所保健・福祉部門や地域関係機関との連携による支援 ●相談業務の充実を目指した、スクールソーシャルワーカーをはじめとした職員の資質向上を図るための研修の実施	目標どおり達成できました。	3	●各区教育担当を中心とした支援の推進 ・学校運営全般に対する支援 ・学校間及び学校と地域の連携強化 ・地域諸団体・機関との連携強化による子ども支援の推進 ●スクールソーシャルワーカーを活用した支援 ●学校支援センターの取組を活用した支援	目標どおり達成できました。	3
地域における教育活動の推進事業	●全市7カ所での地域の寺子屋モデル事業のスタート ●地域の寺子屋事業運営推進会議の立ち上げ ●川崎市地域教育会議運営推進会議、代表者会議等の実施	目標どおり達成できました。（地域の寺子屋事業については、運営推進会議を立ち上げるとともに、各区1カ所でのモデル実施を決定し、3カ所で活動を開始しました。地域教育会議については、運営推進会議、代表者会議を開催するとともに、各地域教育会議の活動を実施しています。）	3	●地域の寺子屋事業運営推進会議を通じた、寺子屋事業の推進 ●2015年度以降の寺子屋事業実施に向けた課題整理と準備 ●地域教育会議運営推進会議、代表者会議、全市交流会等の実施	目標どおり達成できました。（地域の寺子屋事業については、全市8カ所でモデル事業を実施し、寺子屋先生養成講座やコーディネーター養成講座など事業を担う人材の育成も進めました。地域教育会議については、運営推進会議、代表者会議、全市交流会などを通して活性化を図りました。）	3
予算	17,853 千円					
決算見込	17,128 千円					
予算	10,443 千円					
決算見込	9,427 千円					
予算	26,435 千円					
決算見込	25,321 千円					

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			親や教員以外の地域の大人と知り合うことができた割合 (70%) ※寺子屋事業参加者へのアンケート結果	親や教員以外の地域の大人と知り合うことができた割合 (87.6%)	3
指標②	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			学校や家では勉強できないことを教えてもらった割合 (70%) ※寺子屋事業参加者へのアンケート結果	学校や家では勉強できないことを教えてもらった割合 (73.2%)	3
指標③	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合 (小6：47%) (中3：31%)	「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合 (小6：53.6%) (中3：31.2%)	3

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	
目標を上回る成果があった			
目標通りの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	
課題は増大している			
課題は同水準で存在する	■		
課題は縮小・解消している			

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	コミュニティ・スクールについては、今年度の取組の結果、2015年度から新たに2校を追加して実施することとなりました。 また、地域の寺子屋については、モデル実施の対象校を増やして実施することとなりました。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	スマートシティ戦略の推進
作成課	総合企画局スマートシティ戦略室	関係課	
重点課題の内容	●2011年3月11日に発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故により、わが国は甚大な被害を受け、市民生活や経済活動に不可欠なエネルギーの安定供給やエネルギー基盤の重要性が再認識されました。 ●また、インターネットを活用したコミュニケーションツールとしてのスマートフォンなど、ICT（情報コミュニケーション技術）が人々の生活に浸透し、暮らしのスタイルが多様化するなか、生活環境の変化やニーズ等に対応する誰もが暮らしやすい生活環境づくりに向けて、ハード・ソフト両面からの社会基盤の再構築が必要となっています。 ●こうした社会を取り巻く状況を踏まえ、本市においては、より質の高いまちづくりを進める必要があります。		
重点課題の解決に向けた目標	●「地域の自立的なエネルギー環境づくり」と情報セキュリティ等に十分に配慮した「ICT・データの活用」をスマート化の視点に、持続可能なスマートシティの構築に向けて、エネルギー、生活、交通、まちづくり、環境・産業などの分野で取組を進めます。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
スマートシティ戦略事業	●スマートシティに向けた（仮）庁内方針のとりまとめ ●リーディングプロジェクト等の創出に向けた検討、調整 ●スマートシティのPR・情報発信	●スマートシティに向けた（仮）庁内方針は、関係局で新たに検討する関連施策（「エネルギーに係る基本的な考え方」等）との整合を図った上で策定することとしました。	3	●スマートシティ（仮）構想のとりまとめ ●リーディングプロジェクト等の創出に向けた検討、調整 ●スマートシティのPR・情報発信	●スマートシティ（仮）構想は、「川崎市スマートシティ推進方針」としてとりまとめました。	3
予算 4,488 千円 決算見込 3,036 千円						
川崎臨海部水素ネットワーク構築事業	●水素ネットワーク構築に向けた法規制等の諸課題に対する具体的な解決方策等の検討・調整 ●協議会において、水素ネットワークの構築、市民生活・交通分野等への展開などを検討・整理 ●水素混焼発電の実現に向けた事業スキームの検討・調整 ●水素エネルギー社会実現に向けた普及啓発（シンポジウム等）の検討・実施	●目標どおり達成できました。	3	●水素ネットワーク構築に向けた法規制等の諸課題に対する具体的な解決方策等の検討・調整 ●協議会において、水素ネットワークの構築、市民生活・交通分野等への展開などを検討・整理 ●水素混焼発電の実現に向けた事業スキームの検討・調整 ●水素エネルギー社会実現に向けた普及啓発の実施（シンポジウム等）	●新規に「水素社会の実現に向けた川崎水素戦略」を策定するとともに、リーディングプロジェクトとなる「再生可能エネルギーと水素を用いた自立型エネルギー供給システム」の設置が完了したほか、他の取組についても目標どおり達成できました。	3
予算 12,000 千円 決算見込 8,803 千円						
小杉駅周辺地区スマートコミュニティ事業	●民間事業者による情報基盤の整備 ●市民モニターの募集・実証事業の開始 ●効果的な行政・地域情報配信の検討	●目標どおり達成できました。	3	●市民モニターへ段階的なサービス内容の充実に向けた検討 ●エネルギー使用量の削減効果など実証事業の効果・検証 ●市民モニターの拡充に向けた検討	●目標どおり達成できました。	3
予算 25,019 千円 決算見込 22,940 千円						
川崎駅周辺地区スマートコミュニティ事業	●地域主体のエネルギーマネジメントに係る実証事業の継続実施と評価・検証 ●川崎駅前商業活性化実証実験（川崎グランシティモール）の継続実施と評価・検証 ●スマートEVバスの導入 ●ICTを活用した防災情報提供ソリューションに係る実証事業の実施に向けた検討 ●エネルギーの地産地消を視野に入れた地域PPS導入など、エネルギーの地域内有効利用や、データ等を活用した利便性・快適性の向上などに向けた具体的方策の検討	●目標どおり達成できました。	3	●地域主体のエネルギーマネジメントに係る実証事業の継続実施と評価・検証 ●川崎駅前商業活性化実証実験（川崎グランシティモール）の継続実施と評価・検証 ●スマートEVバスの導入 ●ICTを活用した防災情報提供ソリューションに係る実証事業の実施 ●エネルギーの地産地消を視野に入れた地域PPS導入など、エネルギーの地域内有効利用や、データ等を活用した利便性・快適性の向上などに向けた具体的方策の検討	●ICTを活用した防災情報提供ソリューションに係る実証事業については、他事業との調整も図りながら、2015年度の実施に向けて引き続き検討することとしました。	3
予算 29,110 千円 決算見込 33,228 千円						

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	単年度の成果を端的にあらわす定量的な数値の把握ができないことから、指標を設定することが困難です。					

<④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について>

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標通りの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	●「川崎市スマートシティ推進方針」を策定し、モデル事業として、川崎スマートE Vバスの導入などを行った川崎駅周辺地区をはじめ、小杉駅周辺地区等において取組を推進するとともに、「水素社会の実現に向けた川崎水素戦略」を策定し、「再生可能エネルギーと水素を用いた自立型エネルギー供給システム共同実証」等、臨海部における水素のリーディングプロジェクトを推進するなど、各事業とも目標どおりの成果があったと考えられます。
------------------------	---

<⑤課題の状況について>

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	●引き続き課題が存在するので、2015年度も取組を継続していく必要があります。
----------------	--

<⑥次年度における事務事業の見直し結果>

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●今年度策定した「川崎市スマートシティ推進方針」に基づき、エネルギーの最適利用とICT・データの活用により、エネルギー・生活・交通・まちづくり・産業の5分野においてスマートシティの実現に向けた取組を推進するとともに、同様に「水素社会の実現に向けた川崎水素戦略」に基づき、水素供給システムの構築や多分野にわたる水素利用の拡大、社会受容性の向上などの取組を推進します。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	地球温暖化対策の推進
作成課	環境局地球環境推進室	関係課	環境局地球環境推進室 環境局環境対策部交通環境対策課
重点課題の内容	●喫緊の課題である地球温暖化問題の解決に向け、地球全体で考え、地域でできることから対応を進めていくことが求められています。 ●地球全体という視点については、本市では、優れた環境技術や省エネルギー技術を有する世界的企業が事業活動を行っていることから、こうした特徴・強みを活かしながら、地球全体での温室効果ガスの削減に貢献していく必要があります。 ●温室効果ガスは、あらゆる主体から排出されるものであることから、多様な主体との協働により、地域での取組をあわせて進めていく必要があります。 ●二酸化炭素をほとんど排出しない再生可能エネルギーの導入は、地球温暖化対策を推進していく上で重要な手段であるとともに、非常時における自立・分散型エネルギー拠点としても活用できることから、積極的に推進していく必要があります。		
重点課題の解決に向けた目標	●2020年度までに1990年度における市域の温室効果ガス排出量の25%以上に相当する量の削減を目指す。 ●2020年度までに太陽エネルギー利用量を2005年度比で30倍にする。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前年		1年間	
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）
地球温暖化対策事業		●低CO2川崎ブランド'14の募集 ●川崎メカニズム認証制度の募集 ●市条例に基づく計画書制度等の運用（7月末締切） ●「第3回スマートライフスタイル大賞」の募集	目標どおり達成できました。	●地球温暖化対策推進実施計画（第2期間）に基づく取組推進 ●低CO2川崎ブランド'14の認定及び認定製品・技術等の普及啓発の取組 ●川崎メカニズム認証制度に基づく、市内事業者の製品・技術等の優れた環境技術による川崎市域外での温室効果ガスの削減貢献量（域外貢献量）の認証及び算定 ●市条例に基づく計画書制度等の運用と見直しに向けた検討 ●中小規模事業者向け省エネ支援策等の実施 ●市民・事業者の優れた取組の発掘と情報発信を進めるため、「第3回スマートライフスタイル大賞制度」を実施。 ●地球温暖化防止活動推進センターを核とした協働の取組を推進 ●研修会の開催等による地球温暖化防止活動推進員のスキル向上 ●CC川崎エコ会議を通じたネットワークの形成と情報発信	目標どおり達成できました。
	予算	86,262 千円			
	決算見込	581,381 千円			
エコオフィス推進事業		●電力需給対策を重視し、CCかわさき推進プランに基づく市の率先した取組を推進（夏の電力需給対策の推進） ●エコオフィス管理システムを活用した環境配慮取組の推進（省エネ法等に基づく届出）	目標どおり達成できました。	●電力需給対策を重視し、CCかわさき推進プランに基づく市の率先した取組を推進 ●エコオフィス管理システムを活用した環境配慮取組の推進 ●環境配慮契約・グリーン購入推進方針に基づく取組の推進 ●グリーン購入推進方針等による低公害車の公用車への率先導入	目標どおり達成できました。
	予算	14,760 千円			
	決算見込	11,571 千円			
環境エネルギー推進事業		●住宅用創エネ・省エネ・蓄エネ機器補助事業及び市内事業者エコ化支援事業に係る事務手続きの実施 ●「市建築物における環境配慮標準」の運用、公共施設への創エネ・省エネ・蓄エネの導入推進 ●川崎大規模太陽光発電所の活用とかわさきエコ暮らし未来館の運営	目標どおり達成できました。	●住宅用創エネ・省エネ・蓄エネ機器補助事業及び市内事業者エコ化支援事業に係る事務手続きの実施及び来年度以降のあり方の検討 ●「市建築物における環境配慮標準」の運用及び公共施設における環境配慮技術の標準モデル等についての検討 ●川崎大規模太陽光発電所の活用とかわさきエコ暮らし未来館の運営	目標どおり達成できました。
	予算	184,947 千円			
	決算見込	121,172 千円			

自動車排出ガス対策事業	●低公害車代替助成（最新規制適合車）の実施 ●低公害・低燃費車導入助成（ハイブリッド、CNG車）の実施 ●産業道路の迂回対策等の促進に向けた調査 ●局所汚染対策の見直しに向けた調査及び新たな対策に向けた情報収集 ●かわさき自動車環境対策推進協議会と連携した取組（産業道路クリーンライン化事業など）の推進 ●産業道路の迂回、低公害・低燃費車の優先配車に係る事業者の自主的取組の促進 ●ディーゼル車運行規制の実施		3	目標通り達成できました。低公害車代替助成（最新規制適合車）の実施については、20台の申請があり、上限に達したため受付を終了しました。	3	●低公害車代替助成（最新規制適合車）の実施 ●低公害・低燃費車導入助成（ハイブリッド、CNG車）の実施 ●産業道路の迂回対策等の促進に向けた調査 ●局所汚染対策の見直しに向けた調査及び新たな対策に向けた情報収集 ●かわさき自動車環境対策推進協議会と連携した取組（産業道路クリーンライン化事業など）の推進 ●産業道路の迂回、低公害・低燃費車の優先配車に係る事業者の自主的取組の促進 ●ディーゼル車運行規制の実施	目標どおり達成できました。
	予算	36,452 千円					
	決算 見込	28,126 千円					
低公害・低燃費車普及促進事業	●電気自動車普及拡大の取組 ●充電スタンド整備促進の取組 ●九都県市指定低公害車等の低公害・低燃費車及び次世代自動車の普及促進及び公用車への率先導入 ●燃料電池車の公用車導入に向けた情報収集 ●各種エコドライブ講習会の実施 ●エコ運搬制度の報告書受付及び必要に応じた指導 ●次世代低公害車に関する情報収集		3	目標どおり達成できました。	3	●電気自動車普及拡大の取組 ●充電スタンド整備促進の取組 ●九都県市指定低公害車等の低公害・低燃費車及び次世代自動車の普及促進及び公用車への率先導入 ●燃料電池車の公用車導入に向けた情報収集 ●各種エコドライブ講習会の実施 ●エコ運搬制度の適切な運用 ●次世代低公害車に関する情報収集	目標どおり達成できました。
	予算	2,518 千円					
	決算 見込	371 千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	地球温暖化対策推進基本計画では、目標年度（2020年）に向けた削減目標設定となっており、単年度の取組に係る目標値の設定に適さないため、実績のみを把握する指標を設定しますが、指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の実績値の欄に記載します。			市域における温室効果ガス排出量【基準年度：1990年度2,922万t-CO ₂ 】 （目標値の設定なし） ※地球温暖化対策推進基本計画では、目標年度（2020年）に向けた削減目標設定となっており、単年度の取組に係る目標値の設定に適さないため、実績のみを把握する指標を設定します。	2,437万t-CO ₂ （2012年度暫定値） 基準年度比16.6%削減	3
指標②	単年度の取組に係る目標値の設定に適さないため、実績のみを把握する指標を設定しますが、指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			住宅用創エネ・省エネ・蓄エネ機器導入補助件数の累計（6,500件）	累計で5,790件の補助を実施 ※目標達成には至っていませんが、補助制度を活用せずに導入する事例も増えてきていることから、住宅用の創エネ・省エネ・蓄エネ機器の導入は着実に進んでいます。	4
指標③	導入率は高いほどよく、単年度の取組に係る目標値の設定に適さないため、実績のみを把握する指標を設定しますが、指標に関する実績値が1年度ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			九都県市指定低公害車の導入率 【2012年度導入率】 62.2% （目標値の設置なし） ※導入率は高いほどよく、単年度の取組に係る目標値の設定に適さないため、実績のみを把握する指標を設定します。	【2013年度導入率】 63.0%	3

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分		事務事業の総合的な実施結果区分についての説明	
目標を上回る成果があった			
目標通りの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	
課題は増大している	■		
課題は同水準で存在する			
課題は縮小・解消している			

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	引き続き地球温暖化対策推進計画に基づく、温室効果ガス排出抑制などの取組（緩和策）を着実に推進するとともに、気候変動適応策についても検討を行い、本市の適応策の基本的な考え方や取組の方向性等について、新たな総合計画策定作業とも連動しながら、「（仮称）川崎市気候変動適応策基本方針」としてとりまとめます。
------------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	国際環境施策の推進
作成課	環境局地球環境推進室	関係課	経済労働局国際経済推進室、環境局地球環境推進室、環境局環境総合研究所事業推進課、環境局環境総合研究所都市環境課
重点課題の内容	●地球温暖化などの環境問題に国境はなく、地球規模での環境改善は喫緊の課題です。特に、近年工業化の著しいアジア諸国においては環境配慮への取組を促進する必要がある、これまで川崎臨海部立地企業が取り組んできた公害対策や、資源循環・省エネルギーに係る環境技術移転等により、国際貢献に取り組んでいくことが求められています。 ●本市がこれまで培ってきた環境技術や本市に集積する環境産業、優れた技術を生かしたこれまでの取組をグリーンイノベーションの取組としてより一層発展、拡大し、持続可能な社会の創造を推進します。 ●持続可能な社会づくりに向けては、産業界における持続可能な企業理念の形成と、社会的責任に基づく事業活動の展開を促進する必要があります。		
重点課題の解決に向けた目標	●持続可能な社会の地球規模での実現を目指し、地球温暖化対策や公害対策、エネルギーや資源循環分野の取組など本市にある技術や工業化途上にある都市へ移転し、環境改善を図るなど、環境技術を活かした国際貢献を進めます。 ●アジア・太平洋エコビジネスフォーラムなどUNEPと連携した取組を進め、本市の取組を国際的に発信します。 ●「川崎市グリーン・イノベーション推進方針」に基づく取組等を推進します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前年		1年間	
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等） 区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等） 区分
環境総合研究推進事業		●第11回アジア・太平洋エコビジネスフォーラムの開催準備 ●第17期瀋陽市環境技術研修生の受入準備 ●海外からの研修・視察の受入 ●オープンラボ、多摩川教室、環境科学教室等の環境学習講座の実施	目標通り達成できました。 3	●第11回アジア・太平洋エコビジネスフォーラムの開催 ●UNEPプロジェクトへの協力 ●第17期瀋陽市環境技術研修生の受入 ●海外からの研修・視察の受入 ●環境技術ポータルサイトの管理・運営 ●アーカイブスペースの管理・運営 ●オープンラボ、出前教室、多摩川教室、環境セミナー、環境科学教室等の環境学習講座の実施 ●環境学習用教材の貸出、環境学習用冊子の改訂	目標通り達成できました。 3
都市環境事業		●環境技術産学公民連携公募型共同研究事業の募集及び実施	目標通り達成できました。 3	●環境技術産学公民連携公募型共同研究事業の実施及び成果の総括	目標通り達成できました。 3
国際環境施策推進事業		●環境技術情報の共有と発信手法の調査 ●環境技術の海外移転先の調査 ●グリーンイノベーションに係る情報発信（展示会への出展等） ●事業者と連携したプロジェクト展開の推進 ●「国連グローバル・コンパクト」に基づく取組 ●庁内関係会合の開催、かわさきコンパクト委員会及び交流会の開催	目標通り達成できました。 3	●環境技術情報の共有と発信手法の調査結果の取りまとめ ●環境技術の海外移転先の調査結果の取りまとめ ●グリーンイノベーションに係る情報発信（展示会への出展等） ●グリーンイノベーションクラスターの設立（経済労働局との共管） ●「国連グローバル・コンパクト」に基づく取組 ●庁内関係会合に基づくコンパクトの取組推進、かわさきコンパクト委員会及び交流会の開催、セミナーの開催	目標通り達成できました。 3
予算	256,867 千円				
決算見込	257,116 千円				
予算	27,536 千円				
決算見込	19,174 千円				
予算	24,280 千円				
決算見込	24,240 千円				

環境調和型産業振興事業	●「環境産業フォーラム」の開催に向けた検討・調整 ●「かわさき環境ショーウィンドウ事業」の実施 ①「かわさき環境ショーウィンドウ・モデル事業」の募集・審査の実施 ②ホームページによる情報発信と、ガイドブックの作成等		3	●「環境産業フォーラム」の開催 ●「かわさき環境ショーウィンドウ事業」の実施 ①かわさき環境ショーウィンドウ・モデル事業の実施 ②ホームページ、ガイドブックの作成・配布等による情報発信	目標通り達成できました。	3
	予算	21,196 千円				
	決算見込	19,230 千円				
国際環境産業推進事業	●「川崎国際環境技術展」の開催に向けた企画・調整 ●技術展出展企業等へのマッチングフォローアップの実施 ●市内環境製品・技術等の調査・情報収集及び発信 ●グリーンイノベーションクラスター構築に向けた準備及び会議開催		3	●「川崎国際環境技術展」の開催 ●技術展出展企業等へのマッチングフォローアップの実施 ●市内環境製品・技術等の調査・情報収集及び発信 ●グリーンイノベーションクラスターの構築に係るとりまとめ	目標通り達成できました。	3
	予算	50,301 千円				
	決算見込	50,134 千円				

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	単年度の取組に係る目標値の設定に適さないため、実績のみを把握する指標を設定しますが、指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			国際会議の開催件数 【2013年度開催回数 3回】 (目標値の設定なし) ※単年度の取組に係る目標値の設定に適さないため、実績のみを把握する指標を設定します。	3回実施	3
指標②	単年度の取組に係る目標値の設定に適さないため、実績のみを把握する指標を設定しますが、指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			グリーンイノベーションに係る情報発信(展示会への出展回数等)【2013年度開催回数 6回】 (目標値の設定なし) ※単年度の取組に係る目標値の設定に適さないため、実績のみを把握する指標を設定します。	6回実施	3
指標③	出展規模や天気等にも左右される指標であり、目標値の設定に適さないため、実績のみを把握する指標を設定しますが、指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			川崎国際環境技術展の来場者数 【2013年度来場者数 4,500人】※大雪の影響により2日目は中止 (目標値の設定なし) ※出展規模や天気等にも左右される指標であり、目標値の設定に適さないため、実績のみを把握する指標を設定します。	11,300人	3

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分		事務事業の総合的な実施結果区分についての説明	配下の事務事業の着実な推進により、グリーンイノベーションの取組や環境技術を活かした国際貢献の取組等について、当初に設定した目標どおりの成果を挙げることができました。
目標を上回る成果があった			
目標通りの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している	■	
課題は同水準で存在する		
課題は縮小・解消している		

課題の状況区分についての説明	環境問題に国境はなく、地球規模での環境改善が喫緊の課題となっています。国においても、地球環境問題を外交の重要分野と位置付け、国際社会において自らの経験を活かし、環境技術の移転に向けた取り組みなどに積極的に取り組んでいます。
	こうした背景から、本市の強みと特徴である環境技術・産業を活かした取組をグリーンイノベーションの取組として、より一層発展、拡大することで、課題解決による国際貢献に寄与するとともに、快適な市民生活の維持、向上などにつながるサステナブル・シティの創造を目指していきます。

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	国際環境施策の推進については、グリーンイノベーションの取組を中心に今後もより一層推進していくこととなりますが、個別事業については随時見直しを図っていくこととします。 なお、環境調和型産業振興事業の「かわさき環境ショーウィンドウ事業」について検討を行い次のとおり見直しを行いました。 ＜かわさき環境ショーウィンドウ事業について＞ ・事業内容・成果 本事業は、省エネルギーや創エネルギー分野で効果がある市内企業の製品や技術を、広く情報発信することで、さらなる技術開発の促進や関連製品の普及に繋げていくことを目的としたものです。 省エネ創エネの導入によって効果を上げた取組を「かわさき環境ショーウィンドウ大賞」（2011年度～2013年度）として計18件表彰するとともに、環境技術製品・技術導入の新たなアイデアを募集して取組を実施する「かわさき環境ショーウィンドウ・モデル事業」（2011年度～2014年度）を計18件選定しました。また、「かわさき環境ショーウィンドウフェア」（2011年度～2013年度）としてイベント等を実施し、環境製品・技術のPR活動に取り組みました。 ・検討結果 本事業により、環境関連製品の普及など、一定の成果が得られたことから2015年度から事業を廃止します。なお、市内の環境関連製品・技術を紹介する冊子「かわさきエコテックウォーカー」の発行は継続します。

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	資源循環社会の構築に向けた取組の推進
作成課	環境局生活環境部廃棄物政策担当	関係課	環境局生活環境部廃棄物政策担当、環境局生活環境部収集計画課、環境局施設部施設建設課
重点課題の内容	●循環型社会の構築に向け、市民・事業者・行政の協働のもと、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進を基本とした取組を進め、さらなる発生・排出抑制や資源化を図る必要があります。 ●廃棄物処理事業は、全ての市民の生活に密接したライフラインのひとつであるため、一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）に位置付けられた施策を中心に引き続き取組を推進し、安定的かつ効率的な廃棄物処理体制を構築していく必要があります。 ●特に2015年度からの効果的、効率的な3処理センター体制への移行に向けて取組を推進する必要があります。		
重点課題の解決に向けた目標	●市民・事業者・行政の協働のもと、プラスチック製容器包装などの分別収集をはじめとした3R（リデュース・リユース・リサイクル）施策を着実に推進し、より一層ごみの発生・排出抑制や資源化が促進され、ごみ焼却量が削減されることにより、3処理センター体制への移行を図ります。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前年			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
廃棄物企画調整事務 予算 24,791 千円 決算見込 16,620 千円	●2013年度かわさきチャレンジ・3Rの各施策進行管理 ●新たな一般廃棄物処理基本計画策定に向けた環境審議会等での検討開始 ●小型家電の再資源化を促進するための方策の検討 ●拠点回収拡充等に向けた検討	目標どおり達成できました。	3	●かわさきチャレンジ・3Rの各施策進行管理 ●新たな一般廃棄物処理基本計画策定に向けた環境審議会等での検討 ●3処理センター体制移行時の効果的・効率的な体制整備に向けた検討 ●小型家電の再資源化を促進するための方策の検討 ●市民の利便性を考慮した拠点回収の拡充等に向けた検討 ●廃棄物減量化の手法についての調査・研究	目標どおり達成できました。	3
分別収集事業 予算 1,187,685 千円 決算見込 1,188,081 千円	●空き缶、空き瓶、ペットボトル、小物金属、使用済乾電池、ミックスパー及びプラスチック製容器包装の適正かつ効率的な収集運搬 ●委託している収集運搬業務のモニタリング実施による適切な業務管理 ●南部・川崎生活環境事業所管内空き缶、ペットボトル及び使用済み乾電池収集運搬業務の新規委託の契約手続	目標どおり達成できました。	3	●空き缶、空き瓶、ペットボトル、小物金属、使用済乾電池、ミックスパー及びプラスチック製容器包装の適正かつ効率的な収集運搬 ●委託している収集運搬業務のモニタリング実施による適切な業務管理 ●南部・川崎生活環境事業所管内空き缶、ペットボトル及び使用済み乾電池収集運搬業務委託の委託業者の決定及び事前研修の実施	目標どおり達成できました。	3
普通ごみ収集事業 予算 852,620 千円 決算見込 858,761 千円	●普通ごみの適正かつ効率的な収集運搬の実施 ●3処理センター体制への移行に向けた課題の整理 ●3処理センター体制への移行に向けた普通ごみ収集の作業内容等の検討	目標どおり達成できました。	3	●普通ごみの適正かつ効率的な収集運搬の実施 ●3処理センター体制への移行に向けた課題の整理 ●3処理センター体制への移行に向けた普通ごみ収集の作業内容等の検討	目標どおり達成できました。	3
リサイクルパークあさお整備事業 予算 1,427,254 千円 決算見込 1,724,759 千円	●土壌汚染対策工事の完了 ●資源化処理建設工事の現場着手 ●健康とふれあいの広場の設計	目標どおり達成できました。	3	●土壌汚染対策工事の完了 ●資源化処理建設工事の継続 ●健康とふれあいの広場の契約準備	目標どおり達成できました。	3
処理センター整備事業 予算 169,939 千円 決算見込 153,666 千円	●橋処理センター整備事業に係る整備計画の取りまとめ ●橋処理センター整備事業に係る条例環境影響評価方法書手続きの実施（縦覧・説明会・審議会） ●橋処理センター解体撤去における事前調査（アスベスト、ダイオキシン類、土壌等）業務委託の着手	目標どおり達成できました。	3	●橋処理センター整備事業に係る整備計画の策定 ●橋処理センター整備事業に係る条例環境影響評価方法書手続きの実施（縦覧・説明会・審議会） ●橋処理センター解体撤去における事前調査（アスベスト、ダイオキシン類、土壌等）の実施 ●橋処理センター整備事業に係る条例環境影響評価準備書の作成準備	目標どおり達成できました。	3

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の実績値の欄に記載します。	-		市民1人1日あたりのごみ排出量を2015年度までに988g 【基準年度：2010年度排出量1,041g】 ※市ごみ総排出量を人口及び年間日数で除した数字です。 ※目標年度に向けた削減目標設定となっており、単年度の取組に係る目標値の設定に適さないため、実績のみを把握する指標を設定します。	998g	3
指標②	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の実績値の欄に記載します。	-		資源化率を2015年度までに35% 【基準年度：2010年度資源化率24.0%】 ※資源化量を市ごみ総排出量で除した数値です。 ※目標年度に向けた削減目標設定となっており、単年度の取組に係る目標値の設定に適さないため、実績のみを把握する指標を設定します。	30.3% 新聞・雑誌等の電子化などにより、資源物の量自体が当初の想定より少なくなり、資源物の市ごみ総排出量に占める割合が小さくなってきたことから、目標達成は難しい状況であるが、ミックスパー・プラスチック製容器包装の分別収集の拡充により、資源化率は着実に伸びてきています。 ※当該指標は、川崎市一般廃棄物処理基本計画行動計画（2012年改定）の目標値を指標として設定しています。	4
指標③	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の実績値の欄に記載します。	-		ごみ焼却量を2015年度までに37万トン 【基準年度：2010年度ごみ焼却量 412,712t】 ※ごみ排出量から資源化量を除いた、普通ごみ等の焼却処分されるごみ量です。 ※目標年度に向けた削減目標設定となっており、単年度の取組に係る目標値の設定に適さないため、実績のみを把握する指標を設定します。	370,849t	3

④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標通りの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		
		●一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）の行動計画に位置付けられている最重点施策を中心として、市民・事業者・行政の協働のもと、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進を基本として、発生・排出抑制やリサイクルの推進など各施策を着実に取り組むことにより、ごみ焼却量は削減されました。 ●2015年度からの3処理センター体制に向けて、安全・安心な廃棄物処理体制を整備しました。

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		
		●市民・事業者・行政の協働のもと、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進を基本とした、一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）に位置付けられた施策を中心として、各事業に対する課題について着実に対応し、安定的な廃棄物処理体制を整備しました。 ●引き続き、同様の課題が存在する事業についても対応していきます。

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	●分別収集事業については、南部・川崎生活環境事業所の空き缶・ペットボトル収集運搬業務を次年度から民間事業者へ委託することにより、効率的に事業を行うこととしています。 ●普通ごみ収集事業については、橘処理センター建替えによる3処理センター体制に伴い、ごみ収集運搬距離が増加するための対応を行うこととしています。
------------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	魅力ある都市拠点の整備（川崎駅周辺地区）
作成課	まちづくり局市街地開発部市街地整備推進課	関係課	まちづくり局総務部企画課
重点課題の内容	●川崎駅周辺地区においては、東口地区では商業・業務などを中心に、西口地区では商業・業務・文化施設・都市型住宅などを中心とした都市機能の集積を進めており、今後も、羽田空港の国際化等に対応した都市機能の再編整備を適切に誘導し、広域的な集客機能等を備えた活力と魅力にあふれた広域拠点の形成を推進する必要があります。		
重点課題の解決に向けた目標	●川崎駅周辺地区の回遊性等の向上を図るため、堀川町C地区連絡ペデストリアンデッキ整備に向けた関係者調整や設計を推進します。 ●計画策定以降の新たな環境の変化等を踏まえ、川崎駅周辺総合整備計画の改定に向けた調整を進めます。 ●都市再生安全確保計画に基づく防災対策の向上を図ります。 ●京急川崎駅周辺地区の整備方針の策定を行うとともに、方針に沿ったまちづくりを推進します。 ●荷捌き施設の整備及び適正な停留所（系統）配置等に向けた調整を進めます。 ●東西自由通路の混雑緩和とともに、駅東西の回遊性・利便性の一層の向上を図るため、新たな改札口とあわせた北口自由通路等の整備を推進します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
川崎駅西口地区住宅市街地総合整備事業 予算 91,462 千円 決算見込 65,686 千円	●堀川町C地区連絡ペデストリアンデッキ整備に向けた関係者調整及び予備設計の取りまとめ ●大宮町緑地整備に向けた関係権利者との調整 ●民間開発の誘導（大宮町A-2街区等） ●堀川町地区の用途地域変更等の手続き ●北口自由通路西側延伸デッキ整備に向けた関係者調整及び詳細設計	目標どおり達成できました。	3	●堀川町C地区連絡ペデストリアンデッキ整備に向けた関係者調整及び詳細設計 ●大宮町緑地整備に向けた関係権利者との調整 ●民間開発の誘導（大宮町A-2街区等） ●堀川町地区の用途地域変更等の都市計画決定 ●北口自由通路西側延伸デッキ整備に向けた関係者調整及び詳細設計の取りまとめ	堀川町C地区連絡ペデストリアンデッキについては、地下埋設物調査の結果、構造体の見直しが必要となったため、次年度に詳細設計を引き続き行います。	3
川崎駅周辺総合整備事業 予算 9,113 千円 決算見込 46,406 千円	●関連計画の策定状況や開発動向等を踏まえ、川崎駅周辺総合整備計画の改定に向けた庁内調整 ●民間開発の適切な誘導・支援 ●都市再生安全確保計画に基づく、防災対策の向上	目標どおり達成できました。	3	●川崎駅周辺総合整備計画の改定に向けた庁内体制の整備、改定委員会の開催へ向けた調整 ●民間開発の適切な誘導・支援 ●都市再生安全確保計画に基づく、防災対策の向上	都市再生安全確保計画に基づき、地下街防災推進事業に着手しました。	3
京急川崎駅周辺地区整備事業 予算 10,000 千円 決算見込 3,780 千円	●京急川崎駅周辺地区整備方針の策定に向けた調整（庁内及び関係機関の調整） ●整備方針に沿ったまちづくりの推進（権利者調整、事業化誘導）	目標どおり達成できました。	3	●京急川崎駅周辺地区整備方針の策定 ●整備方針に沿ったまちづくりの推進（権利者調整、事業化誘導）	目標どおり達成できました。	3
川崎駅周辺交通環境改善事業 予算 26,262 千円 決算見込 14,328 千円	●関係機関との協議・調整 ●「荷捌き施設」整備着手 ●適正な停留所（系統）配置等に向けた調整	交通管理者や道路管理者、地元事業者などと協議・調整を図り、「荷さばき施設」の工事発注手続きに着手するなど、ほぼ目標どおり達成できました。	3	●「荷捌き施設」整備完了 ●適正な停留所（系統）配置等に向けた調整	目標どおり達成できました。	3
JR川崎駅北口自由通路等整備事業 予算 1,226,971 千円 決算見込 646,126 千円	●北口自由通路等の整備推進 ●アゼリア接続屋根・E.Vの整備に向けた関係者調整及び詳細設計	目標どおり達成できました。	3	●北口自由通路等の整備推進 ●アゼリア接続屋根・E.Vの整備に向けた関係者調整及び詳細設計の取りまとめ	目標どおり達成できました。	3

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	定量的な数値の把握ができる項目がないことから、指標を設定することが困難です。					

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標通りの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		
		●川崎駅周辺地区については、JR川崎駅北口自由通路等整備工事や京急川崎駅周辺地区整備方針策定等、重点課題の解決に向けた取組は順調に進んでいます。 ●今後も引き続き、川崎駅周辺総合整備計画に基づく総合的な取組等により、本市の玄関口にふさわしい魅力ある都市拠点の整備を進める必要があります。

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		
		●2015年度も引き続き、隣接都市拠点と連携した適切な役割分担のもと、交通機能や地理的優位性及び民間活力を最大限に活かし、高次な都市機能の集積による都市拠点の整備を推進していく必要があります。

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●川崎駅西口地区住宅市街地総合整備事業については、今年度北口自由通路西側延伸デッキの詳細設計を取りまとめ、その成果を踏まえ、当初の方針どおり、次年度は事業内容を継続することとなりました。なお、北口自由通路西側延伸デッキの整備にあたっては、関連事業との施工調整等による設計を行い、効率的・効果的に事業を実施していきます。 ●川崎駅周辺総合整備事業については、「川崎駅周辺総合整備計画」の改定に向けた庁内体制の整備や改定委員会の設置へ向けた取組状況を踏まえ、当初の方針どおり、次年度は事業内容を継続することとなりました。 ●JR川崎駅北口自由通路等事業については、2014年2月に発生した工事用車両と京浜東北線回送電車との衝突・脱線事故に伴う影響を踏まえ、整備スケジュールを見直しました。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	魅力ある都市拠点の整備（小杉駅周辺地区）
作成課	まちづくり局小杉駅周辺総合整備推進室	関係課	経済労働局産業政策部企画課
重点課題の内容	●小杉駅周辺地区においては、大規模工場跡地等を中心に再開発事業が進められるとともに、横須賀線武蔵小杉駅が開業することで、交通結節点の強化が図られ、駅周辺に公共施設をはじめ、商業、業務、都市型住宅といった、さまざまな都市機能を効率的に再配置・整備を行い、駅を中心とした利便性の高い歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを推進しています。 ●そのためには、高齢化が進んだ人口減少社会を見据えていることから、誰もが便利に公共サービスを受けられるよう、さまざまな都市機能を駅周辺に効率的に集約・整備するとともに、駅へのアクセス性を高める幹線道路等の都市基盤の整備を進め、利便性の高い都市生活環境を備えた活力と魅力に溢れた広域拠点の形成を推進していく必要があります。		
重点課題の解決に向けた目標	●コンパクトなまちづくりを推進し、2014年度は、小杉町3丁目中央地区第一種市街地再開発事業（1.5ha）において、商業・住宅施設及び約250mの地区幹線道路の完成に向け、再開発組合と調整してまいります。 ●新丸子東3丁目南部地区（4.1ha）における商業施設の2014年度内の完成に向け、民間開発事業者と調整してまいります。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
コンベンション等整備推進事業 予算 53,769 千円 決算 63,594 千円 見込	●基本設計の実施 ●寄附申請手続等の調整 ●施設管理運営における指定管理者制度等導入の検討	目標どおり達成できました。	3	●基本設計、実施設計の実施 ●寄附申請手続等の調整 ●施設管理運営における指定管理者制度等導入の検討	目標どおり達成できました。	3
小杉駅周辺地区再開発等事業 予算 1,303,676 千円 決算 1,554,944 千円 見込	●南口西街区：組合解散に向けた準備・調整 ●南口東街区：組合解散に向けた準備・調整 ●小杉町3丁目中央地区：整備促進 ●小杉町3丁目東地区：施設計画案検討 ●新丸子東3丁目地区：整備促進 ●新丸子東3丁目南部地区：整備促進 ●小杉駅北側地区：誘導、支援	目標どおり達成できました。	3	●南口西街区：組合解散に向けた準備・調整 ●南口東街区：組合解散 ●小杉町3丁目中央地区：施設建築物完成 ●小杉町3丁目東地区：組合設立 ●新丸子東3丁目地区：整備促進 ●新丸子東3丁目南部地区：整備促進、完成（商業施設） ●小杉駅北側地区：誘導、支援 ●その他地区の状況に応じたまちづくりの誘導・支援	目標どおり達成できました。	3
小杉駅周辺交通機能整備事業 予算 1,882 千円 決算 164,738 千円 見込	●接続通路の維持管理及び保守点検 ●JR武蔵小杉駅の現状把握 ●小杉駅周辺における交通機能の現状把握	目標どおり達成できました。	3	●接続通路の維持管理及び保守点検 ●JR武蔵小杉駅の利用状況の調査 ●小杉駅周辺における交通機能の課題抽出	目標どおり達成できました。	3
小杉駅周辺地区都市再生総合整備事業 予算 1,890 千円 決算 972 千円 見込	●武蔵小杉周辺景観計画特定地区の拡大や指定の検討 ●各地区の景観形成の基準案の検討 ●国道409号の沿道まちづくりの土地利用方針の策定 ●国道409号の沿道土地利用計画案の検討	目標どおり達成できました。	3	●武蔵小杉周辺景観計画特定地区の拡大や指定の案の作成 ●各地区の景観形成の基準案の策定 ●国道409号の沿道土地利用計画案の策定	目標どおり達成できました。	3

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	※再開発事業は、複数年に渡る長期間を要するものであり、年度後半の施設建築物完成をめざしていることから、1年間の目標値のみ設定しています。			2014年度内の建築物の完成2棟（小杉町3丁目中央地区における商業・住宅施設、及び新丸子東3丁目地区における商業施設）	目標どおり達成できました。	3
指標②	※再開発事業は、複数年に渡る長期間を要するものであり、年度後半の地区幹線道路の完成をめざしていることから、1年間の目標値のみ設定しています。			小杉町3丁目中央地区における2014年度内の地区幹線道路の完成延長 約250m	目標どおり達成できました。	3

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標通りの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	●目標である指標に掲げた「2014年度の建築物の完成」について目標どおり達成していることから、さまざまな都市機能が集積したコンパクトなまちづくりに向け、着実に成果をあげています。 ●目標である指標に掲げた「小杉町3丁目中央地区における2014年度内の地区幹線道路の完成延長」について目標どおり達成していることから、利便性の高い都市生活環境を備えた活力と魅力に溢れた広域拠点の形成に向け、着実に成果をあげています。
------------------------	--

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	●引き続き、本市の新たな玄関口にふさわしい活力と魅力にあふれた広域拠点の形成を推進するため、2015年度も取組を継続することが必要です。
----------------	---

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●コンベンション等整備推進事業については、今年度の基本・実施設計の取組等により内装等の程度について精査を行い、コンベンション施設整備事業費の財政負担の軽減を図りました。 ●小杉駅周辺交通機能整備事業については、鉄道事業者との調整により、ホームの安全対策や混雑緩和に関する課題を整理し、次年度以降には、課題解決に向けて関係部署と協議検討することとなりました。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	魅力ある都市拠点の整備（新百合ヶ丘駅周辺地区）
作成課	まちづくり局総務部企画課	関係課	
重点課題の内容	駅周辺における土地利用転換などの機会を適切に捉え、誰もが利用しやすく、安全・安心かつ円滑な交通環境整備に向け、ハード・ソフト両面における官民協働での取組を推進する。		
重点課題の解決に向けた目標	駅周辺における土地利用転換などの機会を適切に捉え、関係機関との協議・調整を行いながら、交通環境整備に向けた取組を検討します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
新百合ヶ丘駅周辺交通環境調査事業	●関係機関との協議・調整	目標どおり達成できました。	3	●関係機関との協議・調整 ●交通環境整備に向けた基礎調査	目標どおり達成できました。	3
予算	7,360 千円					
決算見込	2,138 千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	施設整備による定量的な数値の把握ができないことから、指標を設定することが困難です。					

④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標通りの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	
事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	新百合ヶ丘駅周辺交通環境調査事業については、道路管理者、交通管理者などと協議・調整や交通環境整備に向けた基礎調査を行うなど、交通環境の改善に向けた取組を推進し、目標どおりの成果があったと考えられます。

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	
課題の状況区分についての説明	新百合ヶ丘駅周辺駅の道路においては、休日や雨天などの特定の時間帯で、交通混雑が見受けられることから、2015年度も取組を推進する必要があります。

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果の説明	今年度の基礎調査の取組や関係機関との協議調整の結果を踏まえ、次年度については、北口駅前広場のタクシー、一般車両の動線変更による整流化、及び、南口駅前広場の昇降設備等の設置に伴う施設再配置の検討を踏まえた再整備の基本的な方向性に関する詳細調査を実施する方向となりました。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	魅力ある都市拠点の整備（新川崎・鹿島田駅周辺地区）
作成課	まちづくり局市街地開発部市街地整備推進課	関係課	
重点課題の内容	●本地区においては、地区の個性と魅力を高め、利便性の高い地域生活拠点の形成に向けて、商業・業務・都市型住宅機能の集積とものづくり、研究開発機能の拡充を目指し、民間開発を適切に誘導するとともに、都市基盤施設の整備を推進しています。 ●2014年度には本地区の都市基盤施設整備が概ね完成することから、2015年度以降は地域生活拠点としての魅力をより一層高めるため、地区内の駅間連携強化に加え、拠点地域周辺の土地利用を戦略的機動的に誘導することが必要です。 ●南武線連続立体交差事業による効果を最大限に活かし、拠点間の連携強化を図る沿線まちづくりの推進に向けて、関連都市基盤施設（道路・駅前広場）整備や、土地利用の適切な規制・誘導を行うべく、沿線まちづくり基本方針を検討することが必要です。		
重点課題の解決に向けた目標	●新川崎駅アプローチ上屋、自転車等駐車場及び交通広場の工事を完成します。 ●新川崎駅前ロータリーの詳細設計をとりまとめます。 ●新川崎駅から鹿島田地区に到る歩行者デッキの一部共用を開始します。 ●南武線連続立体交差事業に伴う沿線まちづくりの基本的な考え方を策定します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前半			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
新川崎地区整備事業		●新川崎地区地区計画に基づく土地利用誘導 ●都市基盤施設整備工事の推進（新川崎駅アプローチ上屋の工事完成、交通広場の工事着手） ●新川崎駅前ロータリーの整備検討（鉄道事業者等との調整）	目標どおり達成できました。	3	●新川崎地区地区計画に基づく土地利用誘導 ●都市基盤施設整備工事の推進（新川崎駅アプローチ上屋の工事完成、自転車等駐車場の工事完成、交通広場の工事完成） ●新川崎駅前ロータリーの詳細設計のとりまとめ	目標どおり達成できました。	3
予算	522,004 千円						
決算見込	542,457 千円						
鹿島田駅周辺地区整備事業		●施設建築物工事の推進 ●公共施設工事（新川崎側歩行者デッキ）の推進 ●南武線連続立体交差事業と併せたまちづくりの基本的な考え方の検討	目標どおり達成できました。	3	●施設建築物工事の推進 ●公共施設工事（新川崎側歩行者デッキ）の部分完成 ●南武線連続立体交差事業と併せたまちづくりの基本的な考え方の検討～策定	目標どおり達成できました。	3
予算	2,790,353 千円						
決算見込	2,333,389 千円						

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	施設整備による定量的な数値の把握ができないことから、指標を設定することが困難です。					

④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	●新川崎地区整備事業・鹿島田駅周辺整備事業ともに、重点課題の解決に向けた取組は順調に進んでいます。 ●新川崎駅交通広場や新川崎・鹿島田ベデストリアンAデッキ（新川崎駅～新川崎スクエア）の供用開始により、本市の地域生活拠点である新川崎・鹿島田駅周辺の交通環境が大きく改善されたこと等から、成果があったと考えられます。
目標を上回る成果があった			
目標通りの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	●都市基盤施設の整備や民間開発の誘導等を行い、個性を活かした地域生活拠点の更なる魅力向上のため、２０１５年度も引き続き取組を継続していく必要があります。
----------------	---

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●新川崎地区整備事業については、今年度新川崎交通広場が完成したことを受けて、新川崎駅前ロータリーについては、新たなルールで運用を開始し、運用ルールに見合った整備を、関係事業者と調整を進めた上で行う方向となりました。 ●鹿島田駅周辺地区整備事業については、今年度、再開発事業における生活利便施設棟及びデッキ等の公共施設整備が完了しましたが、引き続き住宅棟の２０１６年度完成に向けて、指導・誘導を図ります。あわせて、今年度整理した「まちづくりの基本的な考え方」を踏まえ、南武沿線連立区間におけるまちづくり方針を検討してまいります。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

＜①重点課題の内容等＞

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	魅力ある都市拠点の整備（溝口駅周辺地区）
作成課	建設緑政局計画部企画課	関係課	建設緑政局道路河川整備部道路整備課
重点課題の内容	溝口駅南口におけるバスターミナル、タクシー乗場及び駐輪場等の広場を整備することにより、溝口駅周辺における交通結節機能の強化を図るとともに、バリアフリーに対応した都市施設を整備することとなり、市民が安全で安心できる生活拠点の都市基盤整備を促進します。		
重点課題の解決に向けた目標	南口広場の整備計画は確定しており、関係機関と協議・調整を進めながら設計・積算を行い、2015年度に工事に着手し2016年度に完成することを目指しています。		

＜②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等＞

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
溝口駅南口広場整備事業	南口広場整備に向けた関係機関との協議・調整 南口広場整備工事発注に向けた、設計・積算	目標どおり達成できました。	3	南口広場整備に向けた関係機関との協議・調整 南口広場整備工事発注に向けた、設計・積算	目標どおり達成できました。	3
予算	9,930 千円					
決算見込	9,920 千円					

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	南口広場の整備については、関係機関との協議・調整、工事発注に向けた、設計・積算を行っている段階であり、指標を設定していません。					

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標通りの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	●南口広場の整備計画に基づき、関係機関と協議・調整を進めながら設計・積算を行い、予定通り契約準備を行いました。
------------------------	---

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	●溝口駅周辺における交通結節機能の強化を図るために、引続き2015年度も取組を継続していく必要があります。
----------------	---

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●南口広場の整備計画に基づき、2016年度内の供用開始を目指し事業を進めてまいります。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	魅力ある都市拠点の整備（鷺沼駅周辺地区）
作成課	まちづくり局企画課	関係課	
重点課題の内容	宮前区における「山坂が多く、拠点機能が分散している」などの地域課題や急速な高齢化などの社会経済状況の変化に対応するため、宮前平・鷺沼駅周辺地区における超高齢社会を見据えた誰もが暮らしやすい持続可能なまちづくりのあり方について、関係機関と調整を行いながら検討する。		
重点課題の解決に向けた目標	田園都市線沿線を対象に、高齢社会を見据えた誰もが暮らしやすい持続可能なまちづくりに関する調査を推進します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前年			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
鷺沼駅周辺まちづくり調査事業	●高齢社会を見据えた誰もが暮らしやすい持続可能なまちづくりに関する調査 ●関係機関との協議・調整	目標どおり達成できました。	3	●高齢社会を見据えた誰もが暮らしやすい持続可能なまちづくりに関する調査 ●関係機関との協議・調整	目標どおり達成できました。	3
予算	1,836 千円					
決算見込	1,296 千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前年			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	施設が完成する事業がないため、指標を設定することが困難です。					

④重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分について

重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標通りの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	
事務事業の総合的な実施結果区分についての説明	鷺沼駅周辺地区まちづくり調査事業については、鉄道事業者等との協議・調整や、過年度に実施した交通環境の改善の取組に関する効果等を把握するための交通量調査を実施し、集計や分析等、調査結果の取りまとめを行うなど、高齢社会を見据えた誰もが暮らしやすい持続可能なまちづくりに関する調査を推進し、目標どおりの成果があったと考えられます。

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	
課題の状況区分についての説明	鷺沼駅周辺地区まちづくり調査事業については、2015年度も今年度の取組結果を踏まえ、高齢社会を見据えた誰もが暮らしやすい持続可能なまちづくりに関する取組を推進する必要があります。

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果の説明	今年度、鉄道事業者等との協議・調整や、過年度に実施した交通環境の改善の取組に関する効果等を把握するための交通量調査に基づく分析結果等を踏まえ、次年度は、引き続き高齢社会を見据えた誰もが暮らしやすい持続可能なまちづくりに関する調査を推進する方向となりました。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	魅力ある都市拠点の整備（登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区）
作成課	まちづくり局登戸区画整理事務所	関係課	まちづくり局交通政策室
重点課題の内容	●登戸駅周辺地域においては、道路、公園等の公共施設が未整備であり、建物の老朽化が進んでいる中、土地区画整理事業が長期化していることから、事業の早期完成に向けた取組が必要となっています。 ●向ヶ丘遊園駅連絡通路等整備事業については、連絡通路の整備により、駅周辺の円滑な移動経路を確保し、向ヶ丘遊園駅周辺地域の回遊性の向上と地域の活性化を推進します。		
重点課題の解決に向けた目標	●2025年度の事業完了に向けて、骨格となる幹線道路や駅前周辺等、整備効果の高い箇所の整備を重点的に進めるとともに、効果的な事業手法である集団移転の活用を図ります。 ●向ヶ丘遊園駅連絡通路等整備事業については、今年度中に連絡通路及び連絡通路の整備に併せて拡幅整備を行う隣接道路の供用開始を行います。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前半			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
登戸地区土地区画整理事業		●登戸1号線・2号線・3号線などにおける、建物等の移転や公共施設整備にかかる調整 ●次年度以降の事業展開の検討。 ●仮換地指定に向けた権利者調整。 ●商店街地区における集団移転に向けた合意形成の促進。 ●駅周辺地区における、建物等の移転に対する合意形成に向けた権利者説明。 ●事業計画の変更に向けた関係機関との協議・調整	目標どおり達成できました。	3	●登戸1号線・2号線・3号線などの整備推進 ●仮換地指定の推進。 ●商店街地区における集団移転の促進。 ●駅周辺地区における、建物等の移転に向けた合意形成の促進。 ●事業計画の変更に向けた関係機関との協議・調整	目標どおり達成できました。 （仮換地指定 約10,380㎡）	3
予算	3,575,412 千円						
決算見込	1,576,935 千円						
向ヶ丘遊園駅連絡通路等整備事業		●連絡通路の供用開始に向けた道路認定の実施	目標どおり達成できました。	3	●連絡通路の供用開始 ●連絡通路の整備に併せて拡幅整備を行う隣接道路の供用開始	連絡通路については、2014年10月に供用を開始しました。なお、隣接道路の整備については、2度の入札不調により、供用開始は行えませんでした。が、工事発注を行い、整備に向けた環境整理を行いました。	4
予算	487,512 千円						
決算見込	519,642 千円						

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	仮換地指定率 67% ※仮換地指定面積（累計）と全宅地面積との割合。	仮換地指定率 66.3%	3	仮換地指定率 70%	仮換地指定率 70%	3
指標②	宅地使用開始率 52% ※権利者により使用収益が開始された箇所の面積（累計）と全宅地面積との割合。	宅地使用開始率 52.2%	3	宅地使用開始率 54%	宅地使用開始率 54%	3

④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	重点整備エリアである登戸駅西側周辺地区に事業着手したこともあり、指標である仮換地指定率及び宅地使用開始率の実績値も当初設定目標に達したことから、成果があったといえます。
目標を上回る成果があった			
目標通りの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

<⑤課題の状況について>

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	登戸駅周辺地域においては、防災性や生活環境について課題が存在することから、事業の早期完了に向け2015年度も引き続き事業を推進していきます。 向ヶ丘遊園駅連絡通路等整備事業については、連絡通路の供用開始を行ったことで、課題の解決が図られました。
----------------	--

<⑥次年度における事務事業の見直し結果>

次年度における事務事業の見直し結果の説明	執行体制については、2014年度についても民間事業者を活用した補償交渉支援業務を導入しましたが、引き続き成果の検証を実施するとともに、民間事業者の活用を図ります。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	魅力ある都市拠点の整備（幹線道路）
作成課	建設緑政局計画部企画課	関係課	建設緑政局道路河川整備部道路整備課、建設緑政局計画部企画課
重点課題の内容	●魅力あふれるまちづくりを目指すため、安全・安心・快適な交通環境や活力と賑わいのある都市の形成に向けた交通体系を構築する必要があります。 ●慢性的な渋滞は、大きな経済的損失を招くとともに、環境の悪化や市民の安全性の低下など、市民生活の豊かさに大きく関わる重要課題となっております。市内の幹線道路には、依然として、交差点や踏切において、渋滞が発生しており、渋滞の基本的な対策となる道路ネットワークの整備などを推進する一方で、早期の効果発現を目的とした渋滞対策が必要です。		
重点課題の解決に向けた目標	●都市計画法や道路法に基づき、市民生活や経済活動を支える都市基盤施設である幹線道路の整備を行います。 ●市内の渋滞の緩和を図るため、交差点改良など局所的かつ即効的な対策により、早期の効果発現を目的として、2014年から概ね3カ年で、京急川崎（大）第2踏切、元木交差点、溝口交差点、稻生橋交差点、宿河原1丁目交差点の5か所の交差点および踏切を対象として緊急渋滞対策を実施します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
街路整備事業	宮内新横浜線（宮内・子母口）及び関連道路（国道409号、幸多摩線）用地交渉 荻宿小田中線（Ⅰ・Ⅲ期）用地交渉 東京丸子横浜線（市ノ坪）工事施工、（木月）工事完成 丸子中山茅ヶ崎線（小杉御殿）電共設計委託・用地交渉、（蟻山坂）用地交渉 世田谷町田線（登戸・万福寺・片平・上麻生）用地交渉・工事施工 菅早野線（白山・下麻生）用地交渉・工事施工 登戸2号線 用地交渉・工事施工 尻手黒川線（Ⅳ期）用地交渉 柿生町田線（柿生駅前）用地交渉 野川柿生線（久本・王禅寺）・用地交渉	目標どおり達成できました。	3	宮内新横浜線（宮内・子母口）及び関連道路（国道409号、幸多摩線）用地交渉 荻宿小田中線（Ⅰ・Ⅲ期）用地交渉 東京丸子横浜線（市ノ坪）工事施工、（木月）工事完成 丸子中山茅ヶ崎線（小杉御殿）電共設計委託・用地交渉、電共工事着手（蟻山坂）用地交渉 世田谷町田線（登戸・万福寺・片平・上麻生）用地交渉・工事施工 菅早野線（白山・下麻生）用地交渉・工事施工 登戸2号線 用地交渉・工事施工 尻手黒川線（Ⅳ期）用地交渉 柿生町田線（柿生駅前）用地交渉 野川柿生線（久本・王禅寺）・用地交渉	目標どおり達成できました。	3
道路改良事業(国県道)	国道409号（市ノ坪）用地交渉・工事施工 国道409号（小杉・小杉御殿町）用地交渉 主要地方道川崎府中（枳形・生田）用地交渉・工事施工 主要地方道横浜生田（東三田）用地交渉・工事施工 主要地方道横浜上麻生（下麻生）用地交渉	目標どおり達成できました。	3	国道409号（市ノ坪）用地交渉・工事施工 国道409号（小杉・小杉御殿町）用地交渉 主要地方道川崎府中（枳形・生田）用地交渉・工事施工 主要地方道横浜生田（東三田）用地交渉・工事施工 主要地方道横浜上麻生（下麻生）用地交渉・工事施工	目標どおり達成できました。	3
緊急渋滞対策事業	●京急川崎(大)第2踏切：交通量調査を実施し、渋滞状況の把握や渋滞原因の抽出、対策案を検討。 ●元木交差点：交通管理者と対策案についての協議・調整。 ●溝口交差点：対策案についての詳細検討。 ●稲生橋交差点：交通管理者と対策案についての協議・調整。 ●宿河原1丁目交差点：交通管理者と対策案についての協議・調整。	目標どおり達成できました。	3	●京急川崎(大)第2踏切：交通量調査を実施し、渋滞状況の把握や渋滞原因の抽出、対策案を検討。京浜急行電鉄側との協議・調整。 ●元木交差点：交通管理者と対策案についての協議・調整。 ●溝口交差点：対策案についての詳細検討及び交通管理者と協議・調整。 ●稲生橋交差点：交通管理者と対策案についての協議・調整。 ●宿河原1丁目交差点：交通管理者と対策案についての協議・調整。	目標どおり達成できました。	3
予算	5,313,629 千円					
決算 見込	4,970,952 千円					
予算	2,987,802 千円					
決算 見込	2,534,204 千円					
予算	0 千円					
決算 見込	0 千円					

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1 年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①				渋滞対策に向けた5か所の協議・調整	渋滞対策に向けた5か所の協議・調整及び2か所の対策の実施	3

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分		事務事業の総合的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標通りの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		
		●幹線道路の整備については、移転先の確保や権利関係の輻輳など、地権者交渉に多くの時間を要しましたが、東京丸子横浜線、世田谷町田線、国道409号は道路工事を進め、年度内に整備を行いました。また、宮内新横浜線、菅早野線、国道409号、横浜上麻生等で用地取得が進捗するなど、計画的に事業を推進しました。 ●緊急渋滞対策の取組については、対策実施に向け、対策案の検討や関係機関等との協議・調整を行い、2か所については、対策を実施するなど計画的に事業を推進しました。

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		
		●幹線道路の整備については、移転先の確保や権利関係の輻輳など、地権者交渉に多くの時間を要するなどの課題が存在するので、2015年度も引き続き取組を継続していく必要があります。 ●緊急渋滞対策事業については、市内の幹線道路には、依然として、交差点や踏切において、渋滞が発生しており、渋滞の基本的な対策となる道路ネットワークの整備などを推進する一方で、早期の効果発現を目的とした渋滞対策を2015年度も引き続き継続していく必要があります。

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●市内の幹線道路には、依然として、交差点や踏切において、渋滞が発生していることから、当初の検討方針どおり、次年度は事業内容を維持して実施する予定としています。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	身近な地域交通環境の整備
作成課	交通政策室	関係課	交通政策室
重点課題の内容	●JR南武線武蔵溝ノ口駅以北の片側改札口の5駅について、駅に隣接する踏切を横断しなくても、線路反対側の地域や駅改札口にアクセスできるように、橋上駅舎化等の整備に向けた取組を推進します。 ●安全で快適な日常生活の実現に向けて、坂が多い丘陵地や路線バスのネットワークが利用しづらいなどさまざまな特性をもつ地域では、コミュニティ交通の導入や路線バスネットワークの見直しなど、交通環境の改善が求められています。 ●市民生活を支える公共交通の強化に向け、バス事業者が需要に合わせて行う路線の新設や増便等の検討を促進する必要があります。 ●無秩序な路上荷さばきにより、幹線道路の円滑な交通環境や商店街での安全安心な歩行者空間等が阻害されています。 ●社会情勢の変化等に伴い、附置義務基準と実際の駐車需要に乖離が生じています。 ●臨海部地区については交通ネットワークの充実が課題となっており、臨海部へのアクセスを向上させるためには、超過密状態である川崎駅東口の混雑を緩和するとともに、様々な交通手段間の乗継方策などを含めた総合的な計画策定に向けた検討を行い、抜本的な公共交通機能の強化を図る必要があります。 ●「川崎市総合都市交通計画」に位置付ける施策・事業を推進するとともに、毎年度の進捗状況を把握して進行管理を行います。 ●広域公共交通機関網の整備の一環として都市交通に関する計画立案のため、東京都市圏において10年毎に人の動き、物の動きを調査・分析し計画の立案に役立つ基礎資料を作成します。		
重点課題の解決に向けた目標	●稲田堤駅、津田山駅については用地取得を行うとともに、詳細設計を完了し、工事着手を行います。また、次の整備駅を決定し、基本設計を実施します。 ●「地域交通の手引き」に基づき地域住民が主体となったコミュニティ交通の導入に向けて取り組んでいる地域協議会等に対し、進捗状況に応じ、技術的支援を行いながら、地域のニーズに適したコミュニティ交通の導入を目指します。 ●地域の利用動向に応じたバスサービスを提供し、路線バスによる地域交通の充実を図ることを目的とし、事業者が行う路線バスの社会実験に対する支援を行います。 ●川崎駅周辺地区荷さばき対策基本計画に基づき、無秩序な路上荷さばきを抑制するための対策を推進します。また、駐車需要に応じた適切な規模の駐車施設の整備を誘導します。 ●臨海部アクセスの円滑化、効率化に向け、関係機関との協議、調整を行いながら、アクセス経路、交通手段間の乗継方策、抜本的な公共交通機能の強化などについて、検討を進めます。 ●川崎市総合都市交通計画に位置付ける施策・事業の「2013年度の進捗状況」をとりまとめて公表します。 ●物資流動調査に係る課題の集計・分析を行います。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前年				1年間			
	取組内容・目標		実績等（目標との差異や次期への方向性等）		取組内容・目標		実績等（目標との差異や次期への方向性等）	
南武線駅アクセス向上等整備事業	●稲田堤駅、津田山駅については、色彩デザイン投票によりデザインを決定し、詳細設計推進 ●次の整備駅を決定		●稲田堤駅、津田山駅については、色彩デザイン投票によりデザインを決定し、詳細設計推進しました。 ●上記2駅の取組状況を踏まえ、次の整備駅の検討を進めました。		3	●稲田堤駅、津田山駅の事業用地取得 ●稲田堤駅、津田山駅の橋上駅舎化の詳細設計を完了、工事着手 ●次の整備駅について、JRに委託し基本設計実施	●稲田堤駅の用地取得については、1件取得を行いました。未取得の1件については引き続き地権者と協議を行います。津田山駅の用地取得については、事業スケジュールにあわせ、来年度取得することについて、地権者から内諾を頂きました。 ●稲田堤駅、津田山駅の橋上駅舎化の詳細設計を完了し、工事着手に向けた環境整理を行いました。 ●次の整備駅の決定について、比較検討を行い、決定に向けた整理を行いました。	3
地域交通支援事業	●地域協議会等への支援 ●条件の整った地区における本格運行実施に向けた支援 ●路線バスの運行社会実験の実施に向けた支援 ●公共交通機能強化に向けた取組の推進		●白幡台地区、岡上西地区に対し、コミュニティ交通導入に向けた取組を支援しました。また、高石地区に対し運行継続に向けた取組を支援しました。 ●長尾台地区に対し、本格運行実施に向けた取組を支援しました。 ●小田急バスに対し、社会実験実施に向けた取組を支援しました。		3	●地域協議会等への支援 ●条件の整った地区における本格運行の実施 ●路線バスの運行社会実験の実施と効果検証 ●公共交通機能強化に向けた取組の推進	●白幡台地区、岡上西地区に対し、コミュニティ交通導入に向けた取組を支援しました。また、高石地区、長尾台地区に対し運行継続に向けた取組を支援しました。 ●長尾台地区に対し、本格運行実施に向けた取組を支援し、運行を開始しました。 ●小田急バスに対し、社会実験実施に向けた取組を支援し、実験を実施しました。	3
駐車施設整備推進事業	●荷さばき対策社会実験の実施に向けた関係者協議及び実験項目、スケジュールの整理 ●附置義務条例の改正に向けた法制協議の実施。		●荷さばき対策の社会実験計画を立案するとともに、作業部会や荷さばき対策検討協議会を開催し、物流関係者の合意を得ました。 ●附置義務条例の改正案を作成し、庁内合意を経てパブリックコメントを実施しました。		3	●社会実験の実施及び実験の効果や課題検証。 ●庁内手続きやパブリックコメントの実施、附置義務条例の改正。	●実験計画に基づき社会実験を実施し、対策ごとの効果と課題を明らかにしました。また、来年度以降の協議会の進め方について合意を得ました。 ●パブリックコメントを実施した上で法制協議等を行い、議会の議決を経て条例を改正しました。	3
予算	256,715 千円							
決算見込	265,540 千円							
予算	44,252 千円							
決算見込	32,599 千円							
予算	8,930 千円							
決算見込	8,488 千円							

臨海部交通アクセス円滑化調査事業	●臨海部の交通アクセス向上に向けた交通手段間の乗継方策の検討 ●川崎駅東口周辺の交通環境改善に向けた取組の推進 ●関係機関との協議、調整	●臨海部の交通アクセス向上に向けた交通手段間の乗継方策の検討を進めるため、委託の発注準備を行いました。 ●川崎駅東口周辺の交通環境改善に向けた庁内会議を開催し、関係部署との情報共有を行うとともに、取組実施に向けた調整を行いました。	3	●臨海部の交通アクセス向上に向けた交通手段間の乗継方策の調査、検証 ●川崎駅東口周辺の交通環境改善に向けた取組の推進・進捗の管理 ●関係機関との協議、調整	●臨海部の交通アクセス向上に向け、交通手段間の乗継実態を調査し、方策の検討を行いました。 ●川崎駅東口周辺の交通環境改善に向け、荷さばき社会実験と連携し、タクシー違法客待ち対策に取組むとともに、小川町を利用する企業と送迎バスの連絡協議会の設置を協議し、とりまとめました。	3
予算	789 千円					
決算見込	633 千円					
総合的な交通体系調査事業	●物資流動調査の補完調査実施に向けた関係機関との協議・調整 ●川崎市総合都市交通計画に位置付ける施策・事業の推進及び「2013年度の進捗状況」のとりまとめに向けた情報収集や関係調整等	●目標どおり達成できました。	3	●物資流動調査の補完調査実施及び課題の集計・分析 ●川崎市総合都市交通計画に位置付ける施策・事業の推進及び「2013年度の進捗状況」のとりまとめ、公表。「2014年度の進捗状況」の把握、状況確認等	●目標どおり達成できました。	3
予算	19,330 千円					
決算見込	18,763 千円					

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	施設の完成する事業などがないため、指標を設定することが困難です。					

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分		事務事業の総合的な実施結果区分についての説明	●南武線アクセス向上事業については、用地取得や詳細設計、工事着手に向けた環境整理を行い、ほぼ目標どおりの成果があったと考えられます。 ●地域交通支援事業については、地域交通の中心である路線バスの社会実験の実施など公共交通利用促進に向けた取組を進めるとともに、地域協議会への支援や長尾台地区コミュニティ交通の本格運行を開始するなど、目標どおりの成果があったと考えられます。 ●駐車施設整備推進事業については、荷さばき社会実験の実施による対策ごとの効果と課題の明確化や附置義務条例の改正を進め、目標どおりの成果があったと考えられます。 ●臨海部交通アクセス事業については、交通手段間の乗継方策の検討や川崎駅東口周辺で発着する送迎バスの企業間の連絡体制の整備などを目的とする東口通勤バス連絡協議会の設置を促進するなど、目標どおりの成果があったと考えられます。 ●総合的な交通体系調査事業については、物資流動調査の補完調査実施や総合都市交通計画に位置付ける施策等の進捗管理等を進め、目標どおりの成果があったと考えられます。
目標を上回る成果があった			
目標通りの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	●南武線アクセス向上の課題は引き続き存在するので、次年度も取組を継続する必要があります。 ●地域交通環境の課題は引き続き存在するので、次年度も取組を継続する必要があります。 ●荷さばき社会実験の結果を踏まえ、来年度以降は本格実施に向けた協議を進め、課題の縮小に向けた取組を行います。また条例改正により、来年度以降は駐車需要の実態に応じた基準で事業者との協議を進めます。 ●臨海部交通アクセス向上の課題は引き続き存在するので、次年度も中長期の事業を見据えて取組を継続する必要があります。 ●2013年3月に策定した川崎市総合都市交通計画は、計画策定後の環境変化などを踏まえ、施策・事業の見直しを行うこととしており、次年度から見直しに向けた検討作業に着手する必要があります。
課題は増大している			
課題は同水準で存在する	■		
課題は縮小・解消している			

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●川崎市総合都市交通計画については、例年どおり施策・事業の進捗状況の把握作業を実施するとともに、次年度からは、施策・事業の見直しに向けた検討作業に着手します。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進
作成課	まちづくり局総務部企画課	関係課	まちづくり局交通政策室、建設緑政局道路河川整備部道路施設課
重点課題の内容	●交通バリアフリー法に基づく構想の新法の内容への拡充が強く求められているとともに、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて加速する国際化等への対応が求められているなど、ユニバーサルデザインのまちづくりを推進する必要があります。 ●タクシーは個人のニーズにあわせて運行が可能な身近な交通手段であり、その中でも一般の利用者だけでなく高齢者や車いす利用者など誰もが利用しやすいユニバーサルデザインタクシーの車両普及や利用環境の整備が求められています。 ●ノンステップバスの普及促進を図り、障害者や高齢者等の公共交通機関の利用環境を整備し、福祉のまちづくりを推進することが求められています。		
重点課題の解決に向けた目標	●高齢者、身体障害者等の交通機関を利用した移動の利便性・安全性の向上を図るために、市内の鉄道駅等周辺19地区において策定した鉄道駅等の旅客施設を中心とした一定の区域において、本市が作成する基本構想（推進構想）に基づき、旅客施設周辺の道路、駅前広場等のバリアフリー化を重点的・一体的に整備します。 ●百合ヶ丘駅周辺地区についてバリアフリー基本構想を改定します。また、更なる市民の外出機会や来街者の増加に向け、バリアフリー法の概念を継承しつつ、誰もが安全・安心に暮らし訪れることのできるユニバーサルデザイン都市の実現に向けた取組を推進します。 ●高齢者や車いすの方など誰でも利用可能なユニバーサルデザインタクシー車両の導入を促進し、2017年度末までに川崎市内の法人タクシー総台数の10%（約140台）の導入を目指すため、補助制度を活用し導入促進を図ります。また、ユニバーサルデザインタクシーに対応した乗場を整備し、ユニバーサルデザインタクシーの認知度を高めることで、誰もが利用しやすい交通環境の整備に向けて取り組みます。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
バリアフリー重点整備地区交通安全施設整備事業	バリアフリー推進構想地区5地区（JR南武支線沿線、武蔵中原・武蔵新城駅周辺、元住吉駅周辺、梶が谷・宮崎台駅周辺、生田・ランド・百合ヶ丘駅周辺地区）におけるバリアフリー化の推進 ●関係機関協議 ●設計積算	●梶が谷・宮崎台駅周辺地区について点字ブロック設置工事に着手 ●JR南武支線沿線地区等については設計積算完了	3	バリアフリー推進構想地区5地区（JR南武支線沿線、武蔵中原・武蔵新城駅周辺、元住吉駅周辺、梶が谷・宮崎台駅周辺、生田・ランド・百合ヶ丘駅周辺地区）におけるバリアフリー化の推進 ●工事施工 ●工事完成	バリアフリー推進構想地区5地区（JR南武支線沿線、武蔵中原・武蔵新城駅周辺、元住吉駅周辺、梶が谷・宮崎台駅周辺、生田・ランド・百合ヶ丘駅周辺地区）におけるバリアフリー化の推進 ●工事施工 ●工事完成	3
バリアフリー推進事業	●各構想に基づくバリアフリー事業の進行管理 ●新百合ヶ丘駅周辺地区を対象とした現地点検に向けてのチェックリスト作成 ●ユニバーサルデザインに関する考え方の整理	●目標どおり達成できました。	3	●新百合ヶ丘駅周辺地区バリアフリー基本構想の改定 ●（仮称）ユニバーサルデザイン構想（素案）の作成	●新百合ヶ丘駅周辺地区バリアフリー基本構想の改定 ●川崎駅周辺地区バリアフリー基本構想（事務局案）の作成 ●（仮称）ユニバーサルデザイン構想の考え方（検討案）の作成	3
民営ノンステップバス導入促進事業	●地域公共交通会議による生活交通改善事業計画の策定	●目標どおり達成できました。	3	●民間バス事業者へのノンステップバス導入の促進	民間バス事業者への国庫補助導入を促進しました。なお、市には民間バス事業者からの申請がなく市補助金を支出していません。	3
ユニバーサルデザインタクシー導入促進事業	●ユニバーサルデザインタクシー導入補助 ●登戸駅、新川崎駅におけるユニバーサルデザインタクシー対応乗場整備に向けた調整	●3社に対し、ユニバーサルデザインタクシー4台の導入に補助金を支出しました。 ●登戸駅、新川崎駅へのユニバーサルデザインタクシー対応乗場整備に向けた調整を行いました。	3	●ユニバーサルデザインタクシー導入補助 ●登戸駅、新川崎駅におけるユニバーサルデザインタクシー対応乗場の整備完了	●1社に対し、ユニバーサルデザインタクシー1台の導入に補助金を支出しました。 ●登戸駅、新川崎駅へのユニバーサルデザインタクシー対応乗場の整備を完了しました。	3
予算	29,424千円					
決算見込	17,013千円					
予算	3,840千円					
決算見込	3,186千円					
予算	1,450千円					
決算見込	0千円					
予算	6,327千円					
決算見込	1,081千円					

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①				ユニバーサルデザインタクシー導入予定台数 9台	ユニバーサルデザインタクシー導入台数 5台	4

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標通りの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	●バリアフリー重点整備地区交通安全施設整備事業の取組により目標地区のバリアフリー化は、ほぼ達成することができました。 ●バリアフリー推進事業については、目標どおり新百合ヶ丘駅周辺地区においてバリアフリー基本構想を改定しました。また、２０１５年度に実施予定の川崎駅周辺地区バリアフリー基本構想の改定に向けての、事務局案を作成したとともに（仮称）ユニバーサルデザイン構想の考え方（検討案）を取りまとめました。 ●ユニバーサルデザインタクシー導入促進事業の取組は順調に進められましたが、指標としていたユニバーサルデザインタクシーの導入台数は下回りました。
------------------------	---

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	●ユニバーサルデザインのまちづくりの実現に向けて課題が存在するため、２０１５年度も引き続き取組を継続してきます。
----------------	---

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●バリアフリー重点整備地区交通安全施設整備事業により、引き続きバリアフリー推進構想地区等においてバリアフリー化を推進します。 ●バリアフリー推進事業については、ユニバーサルデザインのまちづくりへ展開する必要があるため、事業を継続していく予定です。 ●ユニバーサルデザインタクシー導入促進事業については、当初の方針通り、更なる導入に向けて事業を継続することが適切と考えています。 ●民営ノンステップバス導入促進事業については、今年度も予算執行のない状況が続いているため、次年度は事務事業の内容を見直す方向となりました。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	暮らしやすい住宅・住環境の整備
作成課	まちづくり局市街地開発部住宅整備課	関係課	まちづくり局計画部景観・まちづくり支援課 まちづくり局市街地開発部市街地整備推進課 まちづくり局市街地開発部住宅建替推進課 まちづくり局市街地開発部住宅管理課
重点課題の内容	●市民が主体的に景観形成に取り組む都市景観形成地区では、地域の特性や資源を活かした市民主体の景観づくりを促進します。 ●特に重点的に改善すべき密集市街地については、災害に強い安全で快適な住環境の形成を図ります。 ●良好な住環境の形成に向け、優良建築物等整備事業等により土地・建物の共同化や建替えを支援します。 ●市営住宅が適切な状態で有効に活用されるよう、計画的な建替・改善事業の実施や、入居者の高齢化に対応した新たな管理方法を検討します。 ●住宅・住環境の新たな課題に対応し住宅政策を推進するため住宅事情を定期的に調査するとともに、住宅に係る重要事項を調査審議するため住宅政策審議会を適切に運営します。 ●耐震化・バリアフリー化・省エネ化等への支援・誘導や、住まいの相談窓口や講習会等、良質な住宅ストックの形成に向けた取組を実施します。 ●高齢者や障害者、外国人、子育て世帯等が安心して暮らせるように、居住支援制度の充実や公的賃貸住宅の供給の促進などの施策を推進します。 ●地区まちづくり育成条例に基づき、地域ニーズ等に応じたルールを制度等を活用して定めるよう誘導します。		
重点課題の解決に向けた目標	●市民の自主的な景観形成のルールづくりを通じた、市民・事業者・市の協働による景観づくりを目指します。 ●重点密集市街地において、共同住宅建替促進事業、住宅不燃化促進事業等、耐火建物等への建替を推進します。 ●市街地環境改善のため、優良建築物等整備事業等の事業促進を図ります。 ●市営住宅について、建替え・耐震化等の計画的な実施や、新たな管理手法についてモデル的な実施・検証を行います。 ●審議会（3回開催）が充実した審議となるよう事前調整を十分に行い、本市における住宅を取り巻く課題に対応した住宅政策の展開を図ります。 ●分譲マンション段差解消工事の助成等、住宅の良質化を支援します。また住まいアドバイザーの現地派遣等、市民の多様なニーズに的確に応えられるよう体制の充実を図ります。 ●高齢者、障害者、外国人、子育て世帯など、誰もが安心して暮らせるよう、それぞれに応じた住宅の供給促進等を図ります。 ●地区まちづくりを行う団体の立上げと運営、活動の周知等を支援し、地区の特徴を活かした魅力あるまちづくりを推進します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
都市景観形成推進事業	●小杉町3丁目東地区地区計画及び産業道路駅前地区地区計画における地区計画形態意匠条例の策定	目標どおり達成できました。	3	●小杉町3丁目東地区地区計画及び産業道路駅前地区地区計画における地区計画形態意匠条例の策定 ●新川崎地区・川崎駅周辺地区・川崎大師地区・武蔵小杉駅周辺地区などにおいて、景観計画特定地区の指定拡充など景観づくりの推進 ●フォーラムの開催など景観施策の情報提供、啓発活動の実施 ●市民主体のまちなみづくりの取組の推進	目標どおり達成できました。	3
予算	6,440 千円					
決算見込	4,069 千円					
密集住宅市街地整備促進事業	●重点密集市街地における災害に強い住環境の形成推進（共同住宅建替促進事業、住宅不燃化促進事業、重点路線区画道路拡幅整備の助成） ●地域啓発活動の実施（広報誌配布1回、コンサル派遣1回、補助制度普及冊子の配布1回） ●密集市街地の改善に向けた取組検討（対象地区の現況調査及び課題整理、不燃領域率の推移等）	コンサル派遣については、日程調整が不調に終わり、派遣できませんでした。年内を目途に実施予定です。住宅不燃化促進事業について、5件事業実施しています。	3	●重点密集市街地における災害に強い住環境の形成推進（共同住宅建替促進事業、住宅不燃化促進事業、重点路線区画道路拡幅整備の助成） ●地域啓発活動の実施（広報誌配布3回/年、コンサル派遣1回/年、補助制度普及冊子の配布1回、町内会等への説明会5町会×1回） ●密集市街地の改善に向けた取組検討取りまとめ	目標どおり達成できました。	3
予算	13,400 千円					
決算見込	11,506 千円					
優良建築物等整備事業	●戸手4丁目北地区（事業採択、基本設計への助成）の推進 ●京急川崎駅東街区（建物除却・工事監理への助成）の推進 ●大島4丁目4番地地区（実施設計への助成）の推進 ●駅前本町4番地北地区の事業調整 ●戸手4丁目北地区公共施設整備のスケジュール調整等	目標どおり達成できました。	3	●戸手4丁目北地区の事業推進（基本設計・地盤調査・実施設計への助成） ●京急川崎駅東街区の事業推進（建物除却・工事監理への助成） ●大島4丁目4番地地区の事業推進（実施設計・建物除却への助成） ●駅前本町4番地北地区の事業推進（事業採択、基本設計・地盤調査への助成） ●戸手4丁目北地区公共施設整備（道路、公園、下水の設計業務）	駅前本町4番地北地区については権利者の合意形成が図られず事業採択に至りませんでした。また、戸手4丁目北地区公園設計業務については工程の見直しから次年度以降に設計に着手する方針としました。	3
予算	90,292 千円					
決算見込	38,604 千円					

市営住宅等ストック活用事業		●建替事業の推進 継続：4団地6棟：小向2期、塚越、末長1期、中野島1期 ●耐震改修事業の推進 着手：4団地14棟：京町耐火AB、菅生、千年前田、南平第2	耐震改修事業の推進については、3団地11棟の工事に着手しました。1団地3棟は、11月までに契約する予定です。	●建替事業の推進 着手：6団地7棟：大島、久末、中野島2期、有馬第21期、南平耐火1期、高石1期 完成：4団地6棟：小向2期、塚越、末長1期、中野島1期 ●耐震改修事業の推進 完成：4団地14棟：京町耐火AB、菅生、千年前田、南平第2	●建替事業については、3団地4棟が完成しました。なお、末長1期については、地盤や地中障害等の影響によりやむを得ず繰越することとしましたが6月中に完成する予定です。 ●耐震改修事業については、3団体12棟が完成しました。なお、京町耐火ABについては、住民調整の影響によりやむを得ず繰越することとしましたが4月中に完成する予定です。
予算	7,108,105 千円	住宅政策推進事業	目標どおり達成できました。	●住宅基本計画に基づいた、住宅・住環境の整備に関する施策の推進及び進行管理 ●住宅政策基礎調査のとりまとめ ●第7次川崎市住宅政策審議会の開催運営（3回、部会3回） ●川崎市住宅政策の推進に関するモデル調査のとりまとめ	目標どおり達成できました。
決算見込	5,855,489 千円				
予算	4,161 千円	住宅・マンション良質化支援推進事業	子育て等あんしんマンション認定制度の整備費補助及び子育て相談員の派遣については、マンション関連セミナーでのチラシ配布やアゼリア広報コーナーでのパネル掲示により啓発活動を実施しましたが、事業者等からの申請はありませんでした。	●マンション共用廊下等段差解消改修工事費用の助成及び翌年度準備 ●子育て等あんしんマンション認定制度の実施 ●子育て等あんしんマンション子育て相談員の派遣 ●リフォーム事例集の案確定	目標どおり達成できました。
決算見込	4,061 千円				
予算	14,311 千円	民間賃貸住宅等居住支援推進事業	目標どおり達成できました。	●居住支援制度の実施 ●あんしん賃貸支援事業の実施	目標どおり達成できました。
決算見込	12,179 千円				
予算	10,482 千円	公的賃貸住宅等供給推進事業	目標どおり達成できました。（高齢者向け優良賃貸住宅の事業者募集については、応募のあった3件（合計82戸）を選定しました。）	●特定優良賃貸住宅の適正管理 ●高齢者向け優良賃貸住宅の供給促進及び計画認定 ●サービス付き高齢者向け住宅の供給の誘導及び管理体制の確認 ●賃貸住宅事業者向け経営管理相談事業の実施	目標どおり達成できました。（高齢者向け優良賃貸住宅については、選定したうち1件、事業者の辞退があったものの、2件（合計59戸）認定を行うことができました。59戸については、2016年度供給予定。）
決算見込	8,407 千円				
予算	243,822 千円	住情報提供事業	目標どおり達成できました。 （高齢者向け優良賃貸住宅の事業者募集については、応募のあった3件（合計82戸）を選定しました。）	●特定優良賃貸住宅の適正管理 ●高齢者向け優良賃貸住宅の供給促進及び計画認定 ●サービス付き高齢者向け住宅の供給の誘導及び管理体制の確認 ●賃貸住宅事業者向け経営管理相談事業の実施	目標どおり達成できました。 （高齢者向け優良賃貸住宅については、選定したうち1件、事業者の辞退があったものの、2件（合計59戸）認定を行うことができました。59戸については、2016年度供給予定。）
決算見込	215,881 千円				
予算	10,816 千円	市営住宅等再生事業	住情報提供事業の再構築に向けた検討会の設置については、内部での検討会及び関係団体との打合せ等を通じ、意見を集約しているところです。今後は、NPO法人へのヒアリングを実施し、実際の相談内容等、現場の意見を踏まえ、再構築に向けて引き続き検討していきます。	●住宅リフォームやマンション管理に関する相談受付等 ●住まい・アドバイザー派遣制度の実施 ●マンション管理基礎セミナーの開催（2回） ●長期優良住宅や住宅性能表示制度等の住まい・まちづくりに関する講習会等を実施（2回） ●住情報提供事業の再構築に向けた報告書の作成	目標どおり達成できました。
決算見込	10,815 千円				
予算	110 千円	市営住宅等再生事業	目標どおり達成できました。	●1団地での管理補助業務委託契約に基づき地元町内会と連携した新たな管理手法のモデル的な実施 ●駐車場施設等の財産の効果的活用の推進 ●特定公共賃貸住宅において、新たな使用者負担制度等の導入のための庁内調整	目標どおり達成できました。
決算見込	110 千円				

地区まちづくり推進事業	●地区まち構想認定に向けた組織の運営支援	目標どおり達成できました。	3	●地区まち構想認定に向けた組織の運営支援 ●防災まちづくりモデル地区における組織の運営支援 ●まちづくり計画策定支援	目標どおり達成できました。	3
予算	7,525 千円					
決算見込	6,006 千円					

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			バリアフリー化された市営住宅の戸数(4811戸)	バリアフリー化された市営住宅の戸数(4707戸) (達成率98%)	3
指標②	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			分譲マンション段差解消工事等費用助成の実施件数(10件)	分譲マンション段差解消工事等費用助成の実施件数(17件) (達成率170%)	2
指標③	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			住まいアドバイザー派遣制度の1年間の利用件数(50件)	住まいアドバイザー派遣制度の1年間の利用件数(60件) (達成率120%)	2

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		●優良建築物等整備事業について、駅前本町4番地北地区においては、権利者の合意形成が図られず、事業採択には至りませんでした。戸手4丁目北地区においては、複数年に及び全体工程を再精査し必要な事業間調整を追加実施することにより、全体工事の完了は目標どおり達成できる見通しが立つなど、目標を概ね達成することができました。 ●市営住宅等ストック活用事業については、一部の事業について工期延期を行いました。工事の完成見通しが立っており、他の建替は順調に推進したことから、目標を概ね達成することができました。 ●その他の事務事業については、目標どおり事業を遂行し、課題の解決につながる成果が得られたと考えます。
目標通りの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		●少子高齢化の進展や将来的な人口減少社会の到来が見込まれる中で、多様な居住ニーズなどに対応するための課題は引き続き存在するので、2015年度も取組を継続していくことが必要です。
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●民間賃貸住宅等居住支援推進事業については、支援対象者が増えることが予想されるため、制度のより効率的な執行について、検討します。 ●住情報提供事業については、関係団体の役割分担の明確化、新たな団体との連携方法や具体的な場所の確保、費用負担等の課題について、引き続き関係団体と協議しながら、ワンストップサービスの実現や相談内容の充実化に向け検討します。 ●市営住宅等再生事業については、社会福祉法人と連携した新たな管理手法のモデル的な実施と検証を行います。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

＜①重点課題の内容等＞

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	連続立体交差事業の推進
作成課	建設緑政局計画部企画課	関係課	建設緑政局道路河川整備部道路整備課、建設緑政局計画部企画課
重点課題の内容	●京浜急行大師線連続立体交差事業は、京急川崎駅から小島新田駅間の延長約5kmのうちほぼ全線を地下化することにより14か所の踏切を除却し、踏切事故や交通渋滞を解消するとともに、交通渋滞に起因する騒音、振動、大気汚染を改善し、加えて地域の一体化を促進する事業です。 ●JR南武線連続立体交差事業は、JR南武線の尻手駅～武蔵小杉駅間を連続立体化することにより、13か所の踏切を除却し、地域分断の解消や道路交通の円滑化、公共交通機関の定時性確保、一体的な市街地形成などを図るとともに、都市計画道路整備など関連事業により利用者の利便性向上等の取組を促進し、安全・安心で災害に強い活力あるまちづくりにも寄与する事業です。		
重点課題の解決に向けた目標	●京浜急行大師線連続立体交差事業は全線を整備するまでには、長い期間と多大な事業費を必要とすることから、費用対効果の大きい産業道路を立体化する段階的整備（1期①区間：小島新田～東門前、延長約1.2km）を促進します。鈴木町すりつけを含む東門前～川崎大師（1期②区間）については、早期着手に向け鉄道事業者等との協議を進めます。2期区間（川崎大師～京急川崎）については、事業環境の整備に向けた取組を推進します。 ●JR南武線連続立体交差事業の事業実施に向けた調査・検討及び関係機関との調整を行います。		

＜②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等＞

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
京浜急行大師線連続立体交差事業	①事業を推進するにあたっての諸課題（用地取得、施工管理等）に対する解決策を鉄道事業者と協議し、課題解決に取り組みます。また、大師線第1期沿線協議会を通じて、地元や鉄道事業者等の協力が得られるように調整を図ります。	目標どおり達成できました。	3	①事業を推進するにあたっての諸課題（用地取得、施工管理等）に対する解決策を鉄道事業者と協議し、課題解決に取り組みます。	目標どおり達成できました。	3
予算	2,087,099千円			②1期②区間（東門前～川崎大師）（鈴木町すり付け）の早期着工に向け、国、県、鉄道事業者等との協議・調整を実施します。		
決算見込	3,313,165千円			③2期区間（川崎大師～京急川崎）の事業環境の整備に向けて、鉄道事業者と方向性の調整を行います。		
JR南武線連続立体交差事業	●事業調査の着手前に地域の皆様へ事業の目的や事業調査の内容等について説明を実施 ●鉄道事業者と事業調査の協定を締結 ●測量、地質調査の実施	目標どおり達成できました。	3	●事業調査の着手前に地域の皆様へ事業の目的や事業調査の内容等について説明を実施 ●鉄道事業者と事業調査の協定を締結 ●測量、地質調査の実施 ●基本設計の実施 ●基本構造や関連都市基盤整備の基本的な考え方を検討	目標どおり達成できました。	3
予算	221,400千円					
決算見込	180,325千円					

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	大師線第1期沿線協議会の開催	8月に開催しました。	3			

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標通りの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	【京浜急行大師線連続立体交差事業】 ●1期①区間については、産業道路の立体交差化に向け、着実に工事を推進しました。 ●1期②区間については、早期着手に向け、鉄道事業者等と調整を進めました。 ●2期区間については、事業環境の整備に向け、鉄道事業者と方向性の調整を進めました。 【ＪＲ南武線連続立体交差事業】 ●ＪＲ南武線連続立体交差事業調査について、1年目に予定していた地質調査、測量、基本設計を進めました。 ●ＪＲ南武線連続立体交差事業調査と並行して関係機関との協議を進め、2年目の調査を一部前倒しするなど工夫を行い、早期事業化に向けて取組を進めました。
------------------------	--

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	【京浜急行大師線連続立体交差事業】 ●京浜急行大師線連続立体交差事業は全線を整備するまでには、長い期間と多大な事業費を必要とすることから、2015年度も着実に事業を推進していく必要があります。 【ＪＲ南武線連続立体交差事業】 ●ＪＲ南武線連続立体交差事業の推進にあたっては、横浜市との調整が必要となるため、将来的な整備に支障が生じないように、2015年度も連携を密にしながら検討を進めていく必要があります。
----------------	---

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	【京浜急行大師線連続立体交差事業】 ●京浜急行大師線連続立体交差事業は全線を整備するまでには、長い期間と多大な事業費を必要とすることから、費用対効果の大きい産業道路を立体化する段階的整備（1期①区間：小島新田～東門前、延長約1.2km）を促進します。鈴木町すりつけを含む東門前～川崎大師（1期②区間）については、早期着手に向け鉄道事業者等との協議を進めます。2期区間（川崎大師～京急川崎）については、事業環境の整備に向けた取組を推進します。 【ＪＲ南武線連続立体交差事業】 ●JR南武線連続立体交差事業の事業実施に向けた調査・検討及び関係機関との調整を行います。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	緑豊かな公園緑地の整備（等々力陸上競技場の改築など）
作成課	建設緑政局計画部企画課	関係課	建設緑政局緑政部みどりの保全整備課、建設緑政局緑政部生田緑地整備事務所、建設緑政局緑政部等々力緑地再編整備室
重点課題の内容	●「富士見周辺地区整備実施計画」（2011年3月策定）に基づき、長方形競技場の整備をはじめとして、都心における総合公園にふさわしい富士見公園の再生に向けた取組を推進します。 ●「生田緑地ビジョン」（2011年3月策定）の基本理念「豊かな自然・文化・人・まちがともに息づき緑が繋げる持続可能な生田緑地の実現」に向けて、生田緑地ビジョンに位置づけられた豊かな自然の保全や、多様な主体が生田緑地の管理運営に参加する生田緑地マネジメント会議の運営、戦略的な情報発信などの取組を推進します。また、緑地の魅力や利用価値の向上を図るため、緑地の外郭をつなぐ周遊散策路やゴルフ場クラブハウスの跡地整備を行うとともに、計画的な用地取得を行います。 ●「等々力緑地再編整備実施計画」（2011年3月策定）に基づき、水と緑の自然環境のもと、スポーツ・レクリエーションの拠点施設及び災害時の広域避難場所として、緑地の一体的な整備を進めます。		
重点課題の解決に向けた目標	●「富士見周辺地区整備実施計画」に基づき、総合公園としての機能回復に向け、引き続き富士見公園整備事業を推進するため、現状の事業内容を維持します。 ●「生田緑地ビジョン」に基づき、多様な主体が運営に参加する生田緑地マネジメント会議において、プロジェクトを立ち上げ、オリジナル切手の作成や駅前でのばら苑への案内などを行うとともに、東口ビジターセンター・西口サテライトを活用した一体的な情報発信を行い、生田緑地の価値と魅力の向上に向けた取組を推進します。また、緑地の回遊性機能の強化やゴルフ場クラブハウス跡地整備など、今後も引き続き生田緑地の整備を推進するため、現状の事業内容を維持します。 ●等々力緑地再編整備実施計画に基づき、陸上競技場・硬式野球場などの運動施設をはじめとした施設者老朽化の課題や災害時の活動拠点としての整備、防災機能の強化について取り組みを行います。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前半			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
富士見公園整備事業	予算	●長方形競技場整備 ・北側スタンド整備工事	目標どおり達成できました。	3	●長方形競技場整備 ・北側スタンド整備工事 ・人工芝張替え工事	目標どおり達成できました。	3
	869,339 千円						
	決算 見込						
817,920 千円							
生田緑地整備事業	予算	●ゴルフ場クラブハウス解体 ●用地取得に向けた地権者交渉	目標どおり達成できました。	3	●初山地区園路広場整備 ●ゴルフ場キャディハウス建替え ●次年度工事整備設計	目標どおり達成できました。	3
715,223 千円							
決算 見込							
120,468 千円							
生田緑地調整事業	予算	●生田緑地ビジョンに基づく取組の推進 ●東口ビジターセンター・西口サテライトを活用した事業実施	目標どおり達成できました。	3	●生田緑地ビジョンに基づく取組の推進 ●東口ビジターセンター・西口サテライトを活用した事業実施	目標どおり達成できました。	3
113,957 千円							
決算 見込							
104,642 千円							
等々力緑地再編整備事業	予算	●陸上競技場第1期整備については、仮設スタンドによりJリーグ等の試合を開催しながら、利用団体等と協議を行い、メインスタンド改築工事を推進する。また既存サイドスタンドに大型映像装置を設置するため利用団体等と協議・調整を行う。 ●「硬式野球場整備計画」に基づき、野球場に導入する設備機器等について関係者協議を行い、実施設計を推進する。 ●「等々力緑地再編整備実施計画」に基づき、正面広場及び周辺道路の再整備について、実施設計を推進する。 ●交付金を含む事業費の調整や事業スケジュールの調整などを行うとともに、地域住民に対して事業説明を行うなど、再編整備事業の推進に向けて協議・調整を行う。	目標どおり達成できました。	3	●陸上競技場第1期整備については、引き続き利用団体等と協議を行いながら、2015年3月の供用開始を目指し、メインスタンド改築工事を実施する。また、既存サイドスタンドに大型映像装置を設置する。 ●硬式野球場の機能や導入する設備機器等について、引き続き関係者と調整を図り、実施設計を推進する。 ●正面広場及び周辺道路の再整備について、2015年度に工事に着手できるよう、移植樹木の根回しなどの準備工事を実施する。 ●引き続き、交付金を含む事業費の調整や事業スケジュールの調整などを行うとともに、地域住民に対して事業説明を行うなど、再編整備事業の推進に向けて協議・調整を行う。	目標どおり達成できました。	3
7,161,540 千円							
決算 見込							
7,003,595 千円							

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①				生田緑地東口ビジターセンター・西口サテライトを活用した事業実施 5回	5回(約860名参加)実施	3

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の 総括的な実施結果区分 についての説明
目標を上回る成果があった		
目標通りの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		
		●富士見公園整備事業については、川崎富士見球技場の北側スタンド整備工事及び人工芝張替え工事が完了しました。 ●生田緑地整備事業については、初山地区園路広場整備や次年度工事の整備設計などを進めました。 ●生田緑地調整事業については、多様な主体が運営に参加する生田緑地マネジメント会議において、プロジェクトを立ち上げ、駅前でのばら苑への案内などを行うとともに、東口ビジターセンター・西口サテライトを活用した一体的な情報発信を行い、生田緑地の価値と魅力の向上に向けた取組を推進しました。 ●等々力緑地再編整備事業については、陸上競技場メインスタンドの引渡しを受け、供用を開始しており、野球場や正面広場においても設計を取りまとめました。

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況 区分について の説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		
		●富士見公園整備事業については、引き続き、再整備を進める必要があることから、2015年度も取組を継続していくことが必要です。 ●生田緑地整備事業については、引き続き、整備を進める必要があることから、2015年度も取組を継続していくことが必要です。 ●生田緑地調整事業については、50を超える多様な主体との調整など引き続き課題が存在するので、2015年度も取組を継続していくことが必要です。 ●等々力緑地再編整備事業については、引き続き再編整備を進める必要があり、2015年度も取組を継続していくことが必要です。

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●生田緑地調整事業については、今後も生田緑地ビジョンに基づき、多様な主体が管理運営に参加する「協働のプラットフォーム」の具体的な仕組みとしての生田緑地マネジメント会議の運営を推進するとともに、東口ビジターセンター・西口サテライトを活用した一体的・効果的な情報発信を行い、更なる生田緑地の価値と魅力の向上を図ってまいります。 ●等々力緑地再編整備事業については、「等々力緑地再編整備実施計画」に基づき、再編整備取り組んでおりますが、野球場をはじめとした施設等の整備には多額の予算が見込まれることから、予算の平準化を行うため執行時期について調整を行いました。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	上下水道施設の地震対策等の推進
作成課	上下水道局経営管理部経営企画課	関係課	上下水道局水道部水道計画課、上下水道局下水道部管路課、上下水道局下水道部施設課
重点課題の内容	●水道事業では大規模地震の発生に備えるため、浄水場など基幹構造物の施設改良、更新に合わせ耐震化を推進するとともに、東日本大震災を踏まえ、応急給水拠点の確実性・利便性を高め、より迅速な応急給水の実現を図るため、配水池・配水塔や供給ルートの耐震化が完了した小中学校等を対象に開設不要な応急給水拠点の整備を進めていきます。また、老朽管更新等の管路工事の実施に合わせて効率的に管路の耐震化を進めていきます。 ●下水道事業では東日本大震災の教訓を踏まえ、大規模地震発生時においても下水道機能の確保が必要となる重要な管きよの耐震化や、施設の再整備・再構築に合わせた耐震化・津波対策を進めるとともに、被害の最小化を図る減災対策も合わせ、計画的かつ効率的に下水道施設の地震対策を進めていきます。また、浸水実績を考慮した浸水対策や合流式下水道の改善等を進めていきます。		
重点課題の解決に向けた目標	●水道事業における浄水場など基幹構造物において、2015年度までに浄水施設の耐震化を完了させ、配水池・配水塔の耐震化については、2022年度の完了を目指し、長沢浄水場や鷺沼配水池等の耐震化を進め、当該耐震化率を13.8%（2013年度末）から66.1%（2016年度末）に引き上げます。また、老朽配水管更新による管路耐震化工事を進めます。 ●水道事業における応急給水拠点（開設不要型含む）整備について、2023年度に全311か所の完了を目指し、139か所（2013年度末）から173か所（2016年度末）に増設し震災時に身近な場所で応急給水が受けられるよう整備を進めます。 ●下水道事業における管きよの耐震化について、老朽管が多く地盤の液状化による被害が想定される、川崎駅以南の地域の重要な管きよについては、2019年度の完了を目指し、新川下水幹線等の耐震化を進め、当該耐震化率を27.6%（2013年度末）から65.1%（2016年度末）に引き上げます。また、その他の地域（川崎駅以北）の重要な管きよの耐震診断を2019年度の完了を目指し進めます。 ●下水道事業における浸水対策重点化地区の整備について、2018年度末の完了を目指し、丸子地区、宮崎地区等で整備を進め、当該実施率を19.8%（2013年度末）から57.8%（2016年度末）に引き上げます。 ●下水道事業における合流式下水道の改善について、2023年度の完了を目指し、引き続き大師河原貯留管の整備等を進めます。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前年			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
水道施設の整備・再構築事業		●浄水場や配水池等の基幹構造物の更新・耐震化 ・長沢浄水場更新工事の推進 ・生田配水池更新工事の推進 ・鷺沼配水池の耐震化の推進 ●開設不要型応急給水拠点の整備の推進 ●老朽配水管更新による管路耐震化工事の推進 ●基幹施設の自家発電設備等の設置工事の推進	目標どおり達成できました。	3	●浄水場や配水池等の基幹構造物の更新・耐震化 ・長沢浄水場更新工事の推進【完成目標2015年度】 ・生田配水池更新工事の推進【完成目標2015年度】 ・鷺沼配水池の耐震化の推進【完成目標2015年度】 ・宮崎配水塔更新工事の着手【完成目標2016年度】 ・末吉配水池更新工事の着手【完成目標2018年度】 ●開設不要型応急給水拠点の整備の推進（配水池配水塔3か所、小中学校10か所完成）【整備完了2023年度】 ●老朽配水管更新による管路耐震化工事の推進（老朽配水管更新3.3km完成） ●基幹施設の自家発電設備等の設置工事の推進【整備完了2016年度】	目標どおり達成できました。	3
予算	11,113,049千円						
決算見込	11,458,273千円						
下水管きよ施設の整備・再整備事業		●川崎駅以南の地域の重要な下水管きよの耐震化の推進 ・田島、小田その2下水幹線などの耐震化の推進 ●浸水対策重点化地区における雨水幹線などの整備の推進 ・丸子地区、宮崎地区などの浸水対策の推進 ●合流改善機能を有する貯留管の整備の推進 ・大師河原貯留管の整備の推進 ●未普及地域解消に向けた取組の推進 ・多摩美地区、登戸土地区画整理地区などでの取組の推進 ●老朽化した下水管きよの計画的な再整備の推進 ・老朽化した下水管きよが集中する川崎駅以南を中心とした地区での再整備の推進	目標どおり達成できました。	3	●川崎駅以南の地域の重要な下水管きよの耐震化の推進【対策完了目標2019年度】 ・田島、小田その2、新川下水幹線などの耐震化の推進（約0.4km完成） ●浸水対策重点化地区における雨水幹線などの整備の推進【対策完了目標2018年度】 ・丸子地区、宮崎地区などの浸水対策の推進（約21ha完成） ●合流改善機能を有する貯留管の整備の推進【貯留管整備完了目標2018年度】 ・大師河原貯留管の整備の推進 ●未普及地域解消に向けた取組の推進 ・多摩美地区、登戸土地区画整理地区などでの取組の推進（約3ha完成） ●老朽化した下水管きよの計画的な再整備の推進 ・老朽化した下水管きよが集中する川崎駅以南を中心とした地区での再整備の推進（約15km完成）	目標どおり達成できました。	3
予算	6,242,558千円						
決算見込	6,559,587千円						

水処理センター・ポンプ場施設の整備・再構築事業		●地震対策の推進 ・加瀬水処理センター南系水処理施設、六郷・登戸ポンプ場などの耐震化の推進 ●高度処理の推進 ・入江崎水処理センター西系水処理施設、沈砂池管理棟などの整備の推進 ●合流改善の推進 ・大師河原貯留管送水ポンプ棟整備の推進 ・観音川、京町、六郷ポンプ場などの夾雑物除去スクリーン設置の推進 ●老朽化対策の推進 ・入江崎総合スラッジセンター、水処理センター、ポンプ場などの長寿命化対策の推進 ・渡田ポンプ場再構築工事の推進	目標どおり達成できました。	●地震対策の推進 ・加瀬水処理センター南系水処理施設、六郷・登戸ポンプ場などの耐震化の推進（加瀬水処理センター反応タンク、六郷ポンプ場管理棟の耐震化の完了） ・入江崎水処理センター、大師河原ポンプ場などの津波対策の推進 ●高度処理の推進 【対策完了目標2024年度】 ・入江崎水処理センター西系水処理施設、沈砂池管理棟などの整備の推進 ・等々力水処理センター流量調整池整備の着手 ●合流改善の推進 【対策完了目標2023年度】 ・大師河原貯留管送水ポンプ棟整備の推進 ・観音川、京町、六郷ポンプ場などの夾雑物除去スクリーン設置の推進 ●老朽化対策の推進 ・入江崎総合スラッジセンター、水処理センター、ポンプ場などの長寿命化対策の推進 ・渡田ポンプ場再構築工事の推進	目標どおり達成できました。
予算	9,555,122 千円	3	3		
決算見込	7,881,842 千円				

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	上下水道局中期計画の最終年度である2016年度の目標値を設定しています。		3	浄水施設の耐震化率 100% (2016年度末)	41.2% (2014年度末)	3
指標②			3	配水池・配水塔の耐震化率 66.1% (2016年度末)	32.8% (2014年度末)	3
指標③	応急給水拠点数(総数) 139か所	142か所	3	応急給水拠点数(総数) 152か所	152か所	3
指標④	上下水道局中期計画の最終年度である2016年度の目標値を設定しています。		3	川崎駅以南の重要な下水管 きよの耐震化率 65.1% (2016年度末)	33.5% (2014年度末)	3
指標⑤			3	浸水対策実施率 ※2013年度段階の重点化地区を対象 57.8% (2016年度末)	22.6% (2014年度末)	3
指標⑥			3	合流改善率 ※合流式下水道における大雨時の放流回数の削減などが図られた割合 68.5% (2016年度末)	68.5% (2014年度末)	3

※「応急給水拠点数（総数）」以外の指標については3か年での目標を設定しています。

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標通りの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	上下水道施設の地震対策等の取組について、現在の取組の継続により指標として設定した計画値を達成することが見込まれるため、目標通りの成果があったと考えられます。
------------------------	--

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	引き続き課題が存在するので、2015年度も取組を継続していく必要があります。
----------------	--

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	重点課題名	次期経営健全化計画に基づくバス事業の推進
作成課	交通局企画管理部経営企画課	関係課	庶務課、経理課、労務担当 管理課、運輸課、お客様サービス課、安全指導課
重点課題の内容	●川崎市バス事業経営プログラム（計画期間：2014年度から2018年度）に基づき、安全を第一の使命としつつ、お客様に満足いただける利用しやすいサービスの提供に向けて継続的にサービス向上を図り、市民やお客様の足を確保していくため、持続可能な経営を行います。		
重点課題の解決に向けた目標	●法令遵守の徹底など運輸安全マネジメントに基づく取組を充実・強化し、安全な輸送サービスの確保を図ります。 ●市バスネットワークを維持・充実するとともに、お客様の声を反映させたサービス向上を図り、安心・快適な移動空間を提供します。 ●効率的かつ持続可能な事業運営を図り、資金不足額の削減及び累積欠損金の縮減を図ります。 ●公営バスとしての意義・役割に応じた事業運営を図り、社会的要請等に対応した事業を推進します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算 算額	前年			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
市バスネットワークの維持・充実	●井田営業所管内の市民フラザ線、久末線、久末団地線のダイヤ改正を実施 ●上平間営業所管内の御幸線、小倉循環線、宮内線、等々力線のダイヤ改正に向けた検討 ●路線の見直しや管轄営業所の見直しについて、検討作業を実施	目標どおり達成しました。	3	●井田営業所管内の市民フラザ線、久末線、久末団地線のダイヤ改正を実施 ●上平間営業所管内の御幸線、小倉循環線、宮内線、等々力線のダイヤ改正を実施 ●新川崎駅交通広場の整備に伴う路線の開設準備 ●路線の見直しや管轄営業所の見直しについて、検討作業を実施	目標どおり達成しました。	3
予算	6,573 千円					
決算 見込	6,046 千円					
運輸安全マネジメントの推進	●「職員の安全意識向上」 「川崎市交通局安全方針」の徹底 など ●PDCAサイクルによる取組の進捗管理 マシ ャントビ ュー など ●効果的な事故防止対策の実施 事故防止目標の周知徹底、効果的な事故防止対策の実施 ●安全教育・研修の実施 運転手グループワーク研修、事故防止研修 など	目標どおり達成しました。	3	●「職員の安全意識向上」 「川崎市交通局安全方針」の徹底 など ●PDCAサイクルによる取組の進捗管理 マシ ャントビ ュー、内部監査の実施 など ●効果的な事故防止対策の実施 事故防止目標の周知徹底、効果的な事故防止対策の実施 ●安全教育・研修の実施 運転手グループワーク研修、事故防止研修など	目標どおり達成しました。	3
予算	12,123 千円					
決算 見込	11,649 千円					
市バスサービスポリシーの実践	●本年度の重点取組項目を含めた実行計画の策定 ●重点取組項目の実践のためのサービス向上研修（第1回）、グループワーク研修（第1回）の実施 ●添乗観察（第1回）の実施	目標どおり達成しました。	3	●本年度の重点取組項目を含めた実行計画の策定 ●重点取組項目の実践のためのサービス向上研修（年3回程度）、グループワーク研修（年2回）等の実施 ●添乗観察（年2回）の実施及び添乗観察結果に基づく指導の充実 ●「市バスお客様アンケート」の実施と結果の分析・検証 ●「市バスお客様アンケート調査」「お客様の声」「添乗観察結果」等の事業運営への反映	目標どおり達成しました。	3
予算	9,776 千円					
決算 見込	5,615 千円					
経営計画の推進	●川崎市バス事業経営プログラムの策定 ●経営プログラムの具体的な事業進捗管理手法の検討 ●局内進捗管理会議の開催 ●新たな『川崎市バス事業アドバイザー・ボード』の実施手法の検討	目標どおり達成しました。	3	●川崎市バス事業経営プログラムの策定 ●経営プログラムの事業進捗管理（局内進捗管理会議の開催） ●新たな『川崎市バス事業アドバイザー・ボード』開催	目標どおり達成しました。	3
予算	3,894 千円					
決算 見込	2,165 千円					
経営の効率化の推進	●変形労働時間制の検証・見直し ●営業所事務職員の運行管理業務の効率化などの検証 ●営業所事務職員の勤務形態の検証 ●効率的な軽油の調達	目標どおり達成しました。	3	●組織の見直しによる効果的な組織体制の整備・機能強化 ●変形労働時間制の検証・見直し ●営業所事務職員の運行管理業務の検証・見直し ●営業所事務職員の勤務形態の検証・見直し ●効率的な軽油の調達	目標どおり達成しました。	3
予算	0 千円					
決算 見込	0 千円					

事業基盤の充実・強化		●正規運転手採用選考 ●公募嘱託運転手採用選考 ●整備職員採用選考 ●転任選考 ●営業所施設の計画的な整備に当たり、現場調査・補修内容を関係部署と協議・調整 ●営業所の建替えに当たっての課題等の整理、関係部署と協議・調整を行い、仕様書等の取りまとめを実施	目標どおり達成しました。	3	●公募嘱託運転手採用選考 ●整備職員採用選考 ●運輸事務職係長昇任選考 ●再任用・再雇用選考 ●塩浜営業所外壁補修工事等の実施 ●上平間営業所の基本計画策定	目標どおり達成しました。	3
予算	28,650 千円						
決算見込	15,686 千円						

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	計画・目標値	前半		1年間		
		実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	走行距離10万kmあたりの有責事故発生件数 【月ごとの実績値の累積ではないため、1年間の目標値として設定】			走行距離10万kmあたりの有責事故発生件数 年間 0.28件以下 (年間実績を公表)	走行距離10万kmあたりの有責事故発生件数 年間 0.29件	3
指標②	「市バスお客様アンケート調査」におけるお客様総合満足度 【調査は年1回であるため、1年間の目標値として設定】			「市バスお客様アンケート調査」におけるお客様総合満足度 56パーセント以上 (調査は年1回実施)	「市バスお客様アンケート調査」におけるお客様総合満足度 55.4パーセント	3

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	
目標を上回る成果があった			
目標通りの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	
課題は増大している			
課題は同水準で存在する	■		
課題は縮小・解消している			

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●現状の事業内容を維持し、実施していきます。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	市内の公衆無線LAN環境の整備
作成課	総務局情報管理部 ICT推進課	関係課	
重点課題の内容	●市民をはじめ来訪者・観光者など市内にいる全ての方々の利便性向上を図るため、公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備を順次行います。また、公衆無線LAN（Wi-Fi）環境を活用し、ポータルサイトから安全・安心な暮らしの情報、地域の情報、SNSなど、利用者が必要な情報を必要とするタイミングで的確に取得できるよう、ソフト面の検討も併せて行います。 ●一部の市施設に公衆無線LANのアクセスポイントを試行的に設置し、利用状況等を把握します。		
重点課題の解決に向けた目標	具体的な整備手法やサービス内容等の検討にあたっては、有識者や企業代表者の方々をメンバーとした「川崎市公衆無線LAN環境整備検討委員会」を設置して、情報通信に関する最新の動向や官・民の役割分担等を踏まえた効率的・効果的な整備の方針・手法、利活用について検討を進めます。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前半		1年間	
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）
地域情報化推進事業		●外部有識者による検討委員会（川崎市公衆無線LAN環境整備検討委員会）の設置 ●検討委員会の開催（3回程度） ●検討委員会の中間報告を踏まえた公衆無線LAN環境整備の基本的な方向性（整備スケジュール、整備範囲、提供サービス等）の確認	●有識者や企業代表者で構成する川崎市公衆無線LAN環境整備検討委員会を設置して、8月までに3回の委員会開催や個別ヒアリングを実施し、整備の方向性などについて検討を行い中間報告書を取りまとめました。	●外部有識者による検討委員会（川崎市公衆無線LAN環境整備検討委員会）の設置 ●公衆無線LAN環境の整備実施に向けた「整備の考え方」のとりまとめ ●市施設への公衆無線LANアクセスポイントの試行設置	目標どおり達成できました。 ●有識者や企業代表者で構成する川崎市公衆無線LAN環境整備検討委員会を設置して、5回の委員会開催や個別ヒアリングを実施するとともに、市民等へのアンケート調査や企業ヒアリングを行い、最終報告書を取りまとめました。 ●広域避難場所である4公園、帰宅困難者用一時滞在施設11か所及び市役所第三庁舎に公衆無線LANアクセスポイントを設置しました。
予算	13,632 千円				
決算見込	11,245 千円				

③重点課題の解決状況に関連する指標

指標①	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
	※今後、情報通信に関する最新の動向や官・民の役割分担等を踏まえた効率的・効果的な整備の考え方を取りまとめるため、その結果が出る前に指標を設定することは困難です。					

④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標通りの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●2014年度は、公衆無線LAN環境の整備に向けて、外部の有識者や企業代表者から構成される公衆無線LAN環境整備検討委員会において意見をいただくとともに、市民等へのアンケート調査や企業ヒアリングを行うなど、本市の公衆無線LAN環境の整備にあたっての基本的な考え方をまとめました。これにより2015年度から効率的・効果的な公衆無線LANの環境整備を進めていく予定です。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

＜①重点課題の内容等＞

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	臨海部における国際戦略拠点の形成
作成課	総合企画局臨海部国際戦略室	関係課	総合企画局臨海部国際戦略室
重点課題の内容	●羽田空港の再拡張・国際化の時機を捉え、「K I N G S K Y F R O N T（殿町3丁目地区）」を中心に、日本経済の持続的な成長を牽引するライフサイエンス・環境分野の国際戦略拠点の形成を進めるため、適切な企業や研究機関等の立地誘導・研究開発支援を推進します。 ●国際戦略総合特区間の連携強化や新たな国家戦略特区の目標である国際的ビジネス拠点の形成を促進するための一体的な拠点形成に資する道路として、羽田連絡道路の整備に向けた取組を推進します。		
重点課題の解決に向けた目標	●国の総合特区支援制度を活用しながら、企業・研究機関の立地誘導や事業推進を図ります。 ●羽田連絡道路について、関係機関との合意形成に向けた取組を推進します。		

＜②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等＞

事務事業名・予算額		前半			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
国際戦略拠点地区整備推進事業		●国家戦略特別区域計画の策定 ●国際戦略総合特別区域計画に基づく事業の実施 ●特区制度などを活用した企業・研究機関等の誘致推進 ●国際戦略拠点形成に向けたプロモーションの実施 ●市民に開かれた拠点の形成に向けたイベントの開催	目標とおり達成できました。（国家戦略特別区域計画の策定に向けて、国や関係団体等と調整を行い、東京圏として区域計画素案を策定しました。）	3	●国家戦略特別区域計画に基づく事業の実施 ●国際戦略特別区域計画に基づく事業の実施 ●特区制度などを活用した企業・研究機関等の誘致推進 ●国際戦略拠点形成に向けたプロモーションの実施 ●拠点形成を先導する中核施設である（仮称）ものづくりナノ医療イノベーションセンターの整備完了	目標とおり達成できました。（国や関係団体等と調整を行い、国家戦略特別区域における区域計画の策定や規制緩和の追加提案などを行いました。また、5件の企業、研究機関等の誘致を行いました。）	3
	予算	958,575 千円					
	決算見込	947,618 千円					
羽田連絡道路関連事業		●合意形成に向けた関係機関との協議	・これまでの取組成果として、9月に開催された「羽田空港周辺・京浜臨海部連携強化推進委員会」の場で、関係者間（国、東京都、大田区、神奈川県、横浜市、川崎市）で連絡道路の整備について合意が図られました。 ・引き続き、ルート・構造、事業主体等の決定に向けた協議・調整を進めます。	2	●合意形成に向けた関係機関との協議 ●合意形成に係る課題項目の調査・検討	・連絡道路の推進にあたっては、関係者との合意が欠かせない中、当初目標は、合意に向けた課題項目の検討等の取組を進めることとしていましたが、これまでの取組成果として、9月に開催された「羽田空港周辺・京浜臨海部連携強化推進委員会」の場で、関係者間（国、東京都、大田区、神奈川県、横浜市、川崎市）で連絡道路の整備について合意が図られ、整備に向けた検討・調整が始まりました。 ・引き続き、ルート・構造、事業主体等の決定に向けた協議・調整を進めます。	2
	予算	8,000 千円					
	決算見込	7,182 千円					

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	企業・研究機関等の動向によるところが大きい指標であり、目標値の設定に適さないため、実績のみを把握する指標を設定しますが、実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の実績値の欄に記載します。				●企業・研究機関等の誘致件数（5件）	
指標②	イベント開催に伴う来場者数は、天候など外部要因に左右され目標値の設定に適さないことから、実績値のみ記載します。	●イベント開催に伴う来場者数（650人）			●イベント開催に伴う来場者数（650人） イベントは8月に開催されましたので、前半の実績を記載します。	

<④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について>

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	■
目標通りの成果があった	
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	●企業・研究機関の立地誘導や事業推進については、特区制度の活用やプロモーションの実施などにより、5件の企業・研究機関等が進出決定しました。 ●羽田連絡道路については、その推進に向け、関係者との合意が欠かせない中、当初目標は、合意に向けた取組を進めることとしていましたが、国主催の推進委員会において、関係者間の合意が図られ、整備に向けた検討、調整が開始されるなど、当初目標を上回る進捗がありました。
------------------------	--

<⑤課題の状況について>

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	●日本経済の持続的な成長を牽引する国際戦略拠点の形成を図るため、今後進出企業等による拠点集積が進み、企業や研究者間の交流促進などのキングスカイフロントを活性化する機能の導入が重要となってくることから、引き続き企業などの立地誘導、研究開発支援を進めるとともに、拠点形成を支える基盤整備に向けた取組が必要です。また、イノベーションの創出に向けて、様々な分野の研究者同士が日常的に交流を図れるようにするため、協議会の設置を含めた交流できる仕組みの構築についても検討します。
----------------	--

<⑥次年度における事務事業の見直し結果>

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●羽田連絡道路の整備推進に向け、本年1月より、新たに建設緑政局に担当部署が設置されました。国や関係自治体との協議・調整等は、引き続き、総合企画局が担い、連携した取組を図ります。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	「音楽のまち・かわさき」「映像のまち・かわさき」の推進
作成課	市民・こども局市民文化室	関係課	
重点課題の内容	●音楽のまちづくりの一層の推進を図るため、幅広い世代の市民が身近に音楽を楽しめる環境づくりを行い、音楽文化の裾野を広げる必要があります。 ●市のイメージアップを図るため、国際音楽イベントとの連携や、国際音楽文化交流の推進による川崎の魅力発信を行います。 ●川崎シンフォニーホールは音楽によるまちづくりの中核施設であるため、ホール機能の維持・向上に向けた定期的・計画的な管理運営が求められています。 ●市内の豊富な映像資源による活動をより活発化させるため、「映像のまち・かわさき」推進フォーラムの活動を支援するとともに、映像に係るさまざまな主体の間に立って連携・協力の調整を行うことで、多様な主体の参加による活力と潤いのあるまちづくりを推進する必要があります。		
重点課題の解決に向けた目標	●良質な音楽を市内の身近な場所で提供することや、幅広い世代の市民が音楽を中心にした交流を進めることで、豊かな生活環境と都市イメージを創出し、活力ある地域社会の実現を目指します。 ●映像によるまちづくりを推進することで、まちの魅力の向上、映像文化の振興、映像産業の発展、次世代の映像文化を担う子どもたちの育成などを目指します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前半			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
音楽のまちづくり推進事業		●アジア交流音楽祭の開催 ●モントルー・ジャズ・フェスティバル開催に向けての協議 ●交流の響きの計画作成・協議	目標どおり達成できました。	3	●アジア交流音楽祭の開催 ●モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさき2014の開催 ●交流の響きの開催	●目標どおり達成できました。 ●モントルー・ジャズ・フェスティバルは、日本とスイスの国交樹立150周年記念事業として実施、ジャズ・コンパティションなど多彩なイベントにより川崎の魅力の発信を行いました。	3
音楽文化振興事業		●海外友好都市等との音楽文化交流事業の詳細決定 ●ザルツブルク市との人材交流事業の詳細決定 ●ブラチナ音楽祭の開催 ●東京交響楽団による巡回コンサートの実施 ●音楽・映像による坂本九魅力発信事業の詳細決定	目標どおり達成できました。 （昨年実施したシニア世代によるコンサート「シニア音楽祭」を市制90周年事業「ブラチナ音楽祭2014」として開催し、2,000名の来場がありました。）	3	●海外友好都市等との音楽文化交流事業の実施 ●ザルツブルク市との人材交流事業の実施 ●ブラチナ音楽祭の実施 ●東京交響楽団による巡回コンサートの実施 ●音楽・映像による坂本九魅力発信事業の実施	●目標どおり達成できました。 ●（ザルツブルク市との交流事業については、人材育成事業は関係機関の意向が異なり、事業効果が見込めないと判断し中止しましたが、音楽文化交流事業は、1回実施予定のところ、ザルツブルク音楽祭パブリックビューイング内でのミニコンサートなど4回実施し、交流を深化させました。）	3
川崎シンフォニーホール管理運営事業		●フェスタサマーミュージアの開催 ●海外オーケストラによる演奏会の開催 ●中長期修繕計画の策定に基づく予防保全型メンテナンスの推進	目標どおり達成できました。 （「フェスタサマーミュージア」について、ホールで18公演のほか、昭和音楽大学での出張公演を2公演行いました。またこどもフェスタやミニコンサート及び企画展示（夏ラボ）なども実施し、全体で35,634人の来場者がありました。）	3	●フェスタサマーミュージアの開催 ●海外オーケストラによる演奏会の開催 ●中長期修繕計画の策定に基づく予防保全型メンテナンスの推進	目標どおり達成できました。	3
映像のまち・かわさき推進事業		●「映像のまち・かわさき」推進フォーラムの活動支援を通じたまちづくりの推進 ●教育現場及び地域における映像制作活動の実施に向けた支援 ●毎日映画コンクール表彰式の川崎開催に向けた支援 ●表彰式を核とした様々なイベント開催に向けた支援 ●ザルツブルク音楽祭パブリックビューイングの準備	目標どおり達成できました。	3	●「映像のまち・かわさき」推進フォーラムの活動支援を通じたまちづくりの推進 ●教育現場及び地域における映像制作活動の支援 ●毎日映画コンクール表彰式の川崎開催の支援 ●表彰式を核とした様々なイベント開催の支援 ●ザルツブルク音楽祭パブリックビューイングの実施	●目標どおり達成できました。 ●（当初の取組内容に加え、川崎にゆかりの深い映画『暁の挑戦』特別上映会の開催や、10年後の成人式等で上映する「映像タイムカプセル」の募集などを行いました。）	3
予算	102,457千円						
決算見込	100,551千円						
予算	12,075千円						
決算見込	6,865千円						
予算	1,239,414千円						
決算見込	1,079,740千円						
予算	28,493千円						
決算見込	24,841千円						

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①				毎日映画コンクール表彰式を核とした様々なイベントの参加・協力団体数 目標値 前年（36団体）比増	39団体	2
指標②				「音楽のまち・かわさき」推進協議会のホームページに掲載された市内で行われる音楽イベント・コンサート（有料・無料含む）の年間件数 目標値 (2,200件)	2,213件	3

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標通りの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		
		●フェスタサマーミュージアは出演オーケストラの増加や、近隣に開設された民間科学施設との連携した企画展示を実施することで、参加者数が増加するなど成果があったと考えられます。 ●海外友好都市等との交流については、人材交流事業を中止したものの、音楽文化交流事業として、ザルツブルク市にゆかりのある演奏家のコンサートを2回実施するとともに、パブリックビューイング事業と連携し、ミニコンサートを2回実施することで、全体としては交流を深化させることができました。 ●映像のまち・かわさき推進事業については、指標として設定した「毎日映画コンクール表彰式を核とした様々なイベントの参加・協力団体数」の実績値も年度当初に設定した目標値を上回るなど、地域での連携の輪が広がりつつあり、成果があったと考えられます。

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		
		●引き続き課題が存在しますので、2015年度も取組を継続していく必要があります。

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●10年目を節目に、より川崎らしい事業目的とそれにふさわしい内容とするため、アジア交流音楽祭メインステージの廃止、モントルー・ジャズ・フェスティバルから新たなジャズ・フェスティバルへの転換と見直しを図ります。 ●ザルツブルク市との人材交流事業は、関係機関との調整、受入先の調整が困難な状況にあるため、事業の見直しを行います。 ●映像のまち・かわさき推進事業の「ザルツブルク音楽祭パブリックビューイング」については、本年度の事業実施の結果、上映媒体の確保などに課題が残っていることから、事業の再検討が必要であると分析され、ザルツブルク市との周年事業のタイミングで実施を検討することでより効率的に事業を推進できると考えられることから、2015年度はパブリックビューイングを休止いたします。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	「スポーツのまち・かわさき」の推進
作成課	市民・こども局市民スポーツ室	関係課	市民・こども局スポーツ・文化複合施設整備推進室
重点課題の内容	●子どもの運動能力低下、高齢化、地域コミュニティの希薄化などが進行している中で、市民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができる場や機会の提供が必要であり各種スポーツ事業を開催すると共に、地域スポーツ活動の拠点として各区のスポーツセンターを位置付け、効果的にスポーツ施策を推進していきます。またスポーツ・文化・レクリエーション活動拠点の強化を図るためスポーツ・文化総合センターの整備を、PFI手法により推進していきます。 ●多摩川の活用やかわさきスポーツパートナーなど地域におけるスポーツ資源が持つ社会的な効果を活かし、スポーツの推進や市の魅力発信を行うとともに、川崎への愛着・連帯感を高めるためのまちづくりを推進していきます。		
重点課題の解決に向けた目標	●川崎市スポーツ推進計画を推進するため各区と連携し各種スポーツ事業を開催します。 ●スポーツを通して夢や感動を与えるために、トップアスリートが参加する大規模スポーツ大会の実施・誘致を行います。 ●かわさきスポーツパートナーとの連携によるスポーツによるまちづくりを推進します。 ●2017年10月の供用開始に向けて着実なモニタリング等によりスポーツ・文化複合施設の整備を推進します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
市民スポーツ活動の推進事業	●「川崎市スポーツ推進計画」の遂行 ●第3期スポーツ推進審議会の開催 ●各種スポーツ事業の実施 ●競技スポーツ選手、指導者育成事業の推進	目標どおり達成できました。	3	●「川崎市スポーツ推進計画」の遂行 ●第3期スポーツ推進審議会の開催 ●各種スポーツ事業の実施 ●競技スポーツ選手、指導者育成事業の推進	目標どおり達成できました。	3
予算	28,721 千円					
決算見込	32,288 千円					
多摩川を活用したスポーツ大会開催事業	●2014川崎国際多摩川マラソンの計画 ●カヌー教室の計画・実施	目標どおり達成できました。（カヌー教室では、定員120人を超える人数の応募があり、計画通りに事業を進めることができました。（応募人数127人、参加者117人）	3	●2014川崎国際多摩川マラソンの計画・実施 ●2015多摩川リバーサイド駅伝の計画・実施	目標どおり達成できました。（川崎国際多摩川マラソンでは、6,937人申込、6,072人参加と計画どおりに開催することができました。多摩川リバーサイド駅伝では、1,583チーム7,236人申込、1,495チーム6,837人参加と計画どおりに開催することができました。）	3
予算	21,880 千円					
決算見込	21,857 千円					
スポーツ施設の管理運営	●各スポーツ施設でスポーツ教室、スポーツデー等の実施 ●各区の民間活用推進委員会にて2013年度事業評価実施	目標どおり達成できました。	3	●各スポーツ施設でスポーツ教室、スポーツデー等の実施 ●屋内スポーツ施設館長会議の実施、適正かつ効果的な事業推進に向けた指定管理者との情報共有	目標どおり達成できました。	3
予算	842,654 千円					
決算見込	826,866 千円					
スポーツ・文化複合施設整備事業	●基本設計の実施 ●自主環境アセス等、各種手続きの着手	目標どおり達成できました。	3	●設計モニタリングの実施及び設計定例会の開催 ●実施設計の着手 ●自主環境アセス及び解体工事に関する住民説明会の開催 ●既存施設の解体工事着手	目標どおり達成できました。	3
予算	11,338 千円					
決算見込	11,304 千円					
ホームタウンスポーツ推進事業	●かわさきスポーツパートナー等による小学生ふれあいスポーツ教室等の実施 ●かわさきスポーツパートナーと連携した市制90周年記念イベント「ボールゲームフェスタ」を開催、約270人の親子が参加しました。） ●ホームタウンスポーツに関する広報・PRの実施	目標どおり達成できました。（9月21日に、かわさきスポーツパートナーと連携した市制90周年記念イベント「ボールゲームフェスタ」を開催、約270人の親子が参加しました。）	3	●かわさきスポーツパートナー等による小学生ふれあいスポーツ教室等の実施 ●かわさきスポーツパートナーのホームゲーム等への市民招待 ●ホームタウンスポーツに関する広報・PRの実施	目標どおり達成できました。（かわさきスポーツパートナーの優勝報告会の開催などを通じスポーツのまち・かわさきを広くPRすることができました。）	3
予算	4,236 千円					
決算見込	3,629 千円					

Jリーグクラブ支援事業	●小・中学校での巡回サッカー教室を順次実施 ●7月に実施される市制記念試合に1,000組2,000名の市民招待 ●川崎フロンターレ連携・魅力づくり事業企画（計画） ●後援会の活動支援		3	●小・中学校での巡回サッカー教室を順次実施 ●川崎フロンターレ連携・魅力づくり事業企画（実施） ●川崎フロンターレの区民祭等への参加促進 ●等々力陸上競技場メインスタンド竣工記念試合でのイベント実施 ●後援会の活動支援	目標どおり達成できました。（等々力陸上競技場メインスタンド完成記念として、90組180名の市民を招待しました。また後援会会員数は過去最高の27,051人となりました。）	3
	予算	25,000 千円				
	決算 見込	26,104 千円				
アメリカンフットボールを活用したまちづくり推進事業	●アメリカンフットボールの魅力を広報・PR ●公式試合への市民招待 ●商店街ほか地域イベントへのチャ・選手の参加・PR出展 ●アメフト×商店街事業の拡充 ●フラッグフットボール等の普及 ●川崎富士見球技場メインスタンド竣工記念イベントの実施		3	●アメリカンフットボールの魅力を広報・PR ●公式試合への市民招待 ●商店街ほか地域イベントへのチャ・選手の参加・PR出展 ●アメフト×商店街事業の拡充 ●フラッグフットボール等の普及 ●川崎富士見球技場完全竣工記念イベントの検討・企画	目標どおり達成できました。	3
	予算	9,219 千円				
	決算 見込	8,762 千円				

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 （計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値 （計画・目標値との差異）	区分
指標①	※「スポーツのまち・かわさき」の推進事業として数値化できるものは、配下の各事業の実績しかありませんが、目標値には適さないため、指標を設定することは困難です。					

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標通りの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●市民スポーツ活動の推進事業について、スポーツに参加する・親しむ機会として市民大会、大規模スポーツ大会の開催は、スポーツ推進施策のうえで重要であり、また生涯スポーツ推進には地域スポーツの牽引役であるスポーツ推進委員の活動が不可欠のため引き続き継続していきます。 ●マラソン・駅伝については大会の安全な実施のため、新たな無線システムを導入し、情報伝達を更に充実させます。また、警察との情報の共有を密にし、ランナーが安全に・安心して参加できるように計画を進めます。等々力陸上競技場メインスタンドの改修工事が終了することに伴い、参加者へのサービス面の充実を図ります。 ●Jリーグクラブ支援事業について、ホームタウンとしての環境づくりを継続するとともに、今以上に多くの市民がフロンターレを通じて本市の魅力を感じてもらえるよう引き続き取組を進めます。 ●アメリカンフットボールを活用したまちづくり推進事業について、アメリカンフットボールの拠点となっている川崎富士見球技場が2015年4月に完全竣工することを契機としてより一層事業を推進していきます。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	ものづくり産業の支援
作成課	工業振興課	関係課	国際経済推進室、次世代産業推進室
重点課題の内容	●本市には、200を超える研究開発機関や高度な技術力を有する中小企業が数多く集積し、地域産業を支える重要な役割を担っていますが、経済の国際化や内陸部工業系用途地域における宅地化など、ものづくり産業を取り巻く経営環境は大きく変化しています。 ●本市が有する研究開発機能や高度な技術力を活かし、超高齢社会や地球規模で深刻化する環境問題などの課題解決に資する先端技術の開発促進や、情報発信力や営業力が弱い中小企業の自社ブランド製品づくりの促進、開発された製品の国内外への情報発信と販路開拓、さらには、内陸部工業系用途地域における中小製造業の操業環境の確保などを通じて、ものづくり産業の成長を促進することが必要となります。		
重点課題の解決に向けた目標	●本市の強みであるものづくり機能やナノ医療イノベーションセンター等の研究開発機能を活かして、ライフサイエンスなどの分野における先端技術の事業化の促進、産業デザイン活用による自社ブランド製品づくりの促進、ものづくりブランドとして国内外への情報発信と販路の拡大、ものづくり産業集積エリアにおける地域住民への理解促進などを通じて、ものづくり産業の成長を促進します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前半			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
内陸部操業環境保全対策事業		●住工共生のまちづくりを推進するため工業者を中心とした勉強会の開催 ●住工共生に向けた地域主体の交流活動及び情報発信活動の支援 ●都市計画道路「宮内新横浜線」建設に伴う移転対象事業者の市内への立地誘導 ●ものづくり企業集積エリアの確保に向けた調査の実施	目標どおり達成できました。 （勉強会2回開催、イベント活動1件支援）	3	●住工共生のまちづくりを推進するため工業者を中心とした勉強会の開催 ●住工共生に向けた地域主体の交流活動及び情報発信活動の支援 ●都市計画道路「宮内新横浜線」建設に伴う移転対象事業者の市内への立地誘導 ●ものづくり企業集積エリアの確保に向けた調査の実施	目標どおり達成できました。 （勉強会6回開催、イベント活動4件支援）	3
予算	6,100 千円						
決算見込	3,715 千円						
先端産業等立地促進事業		●先端産業創出支援制度を活用した先端産業の立地促進 ●工業用地及び業務系事務所等の需給情報の積極的な収集と活用による産業立地の誘導	目標どおり達成できました。 （先端産業創出支援助成金認定申請1件、工場等希望用地相談対応8件）	3	●先端産業創出支援制度を活用した先端産業の立地促進 ●工業用地及び業務系事務所等の需給情報の積極的な収集と活用による産業立地の誘導	目標どおり達成できました。 （先端産業創出支援助成金認定申請1件、先端産業創出支援助成金認定1件、工場等希望用地相談対応24件）	3
予算	2,198 千円						
決算見込	843 千円						
海外販路開拓事業		●川崎市海外ビジネス支援センターにて、市内企業の海外展開に向けたワンストップサービスの実施 ●中国における市内企業の展示会等出展支援、現地拠点を活用したサポートの実施 ●川崎日中産業交流協会や川崎国際ビジネス交流推進協議会を通じたセミナー、交流会の開催	目標どおり達成できました。	3	●川崎市海外ビジネス支援センターにて、市内企業の海外展開に向けたワンストップサービスの実施 ●中国、タイにおける市内企業の展示会等出展支援、現地拠点を活用したサポートの実施 ●タイ、ラオスへのミッション団の派遣、市内企業の進出支援を目的とした現地機関との提携開始 ●川崎日中産業交流協会や川崎国際ビジネス交流推進協議会を通じたセミナー、交流会の開催	目標どおり達成できました。	3
予算	44,262 千円						
決算見込	42,697 千円						
ものづくり医療イノベーション推進事業		●医療分野への企業の進出支援に向けた準備・調整 ●事業用定期借地契約締結に向けた準備・調整	目標どおり達成できました。 （●市内企業の医療分野進出に関する支援に関する委託業務の企画提案の公募、業者選定、委託契約の締結 ●医療分野への企業の進出支援の実施 ●事業用定期借地契約締結に向けた賃料設定のための鑑定評価の実施）	3	●医療分野への企業の進出支援に向けた準備・調整 ●医療分野への企業の進出支援の実施 ●事業用定期借地契約締結 ●UR都市機構から割賦制度により購入した用地に対する割賦利息支払い	目標どおり達成できました。 （●用地の貸付については、契約方法を事業用定期借地契約から公有財産使用貸借契約へ変更して締結）	3
予算	49,174 千円						
決算見込	46,534 千円						
かわさきブランド推進事業		●川崎ものづくりブランド認定製品・制度の周知広報 ●川崎ものづくりブランド認定企業の販路開拓支援	目標どおり達成できました。	3	●川崎ものづくりブランド認定製品・制度の周知広報 ●川崎ものづくりブランド認定企業の販路開拓支援 ●川崎ものづくりブランドの認定（5件程度）	9件を認定を行い、目標を上回りました。	2
予算	5,091 千円						
決算見込	5,091 千円						

ものづくり中小企業販路開拓支援事業	予算	4,419 千円	●販路開拓支援事業補助金（展示会出展補助金）の募集・交付決定 ●展示会に共同出展 ●「かわさきものづくりPR製品」販路拡大支援等事業委託業者の決定	目標どおり達成できました。（販路開拓支援事業補助金については5社から申請があり、5社を交付先に決定しました。）（展示会の共同出展については、1回実施しました）	3	●補助金の募集・交付決定・補助金額の確定及び支払 ●展示会に共同出展及びフォローアップ ●「かわさきものづくりPR製品」販路拡大支援等事業委託業者の決定・展示会出展・これまでの事業成果取りまとめ	目標どおり達成できました。（販路開拓支援事業補助金については6社から申請があり、6社を交付先に決定しました。）（展示会の共同出展については、3回実施しました）（「かわさきものづくりPR製品」については、委託業者の決定・展示会出展・事業成果の取りまとめを行いました）	3
	決算見込	4,272 千円						
産業デザイン振興育成事業	予算	16,484 千円	●「かわさき産業デザインコンペ」の協賛企業を公募により決定 ●協賛企業、専門家による検討・調整によるデザインテーマの決定、デザイン案の募集開始 ●「かわさきデザインフォーラム」の開催	目標どおり達成できました。	3	●かわさきデザインフォーラムの開催 ●かわさき産業デザインコンペの開催等	目標どおり達成できました。	3
	決算見込	5,798 千円						

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	指標に関する実績値が1年ごとにしか把握できないため、1年間の目標値のみ設定しています。			●海外展開セミナー参加者数（350人） ●海外企業ビジネスマッチング数（80件）	●海外展開セミナー参加者数（360人） ●海外企業ビジネスマッチング数（201件 海外展示会等への市内企業の出展社数の拡大による）	2
指標②	●川崎ものづくりブランドの申請件数 ●補助金の申請企業数 ※申請にあたっては、企業が多大な労力を投入するため、事前相談をきめ細かにし、記載内容を精査した上で受理しているため、数値目標の設定に適さず、実績値のみを記載。			●川崎ものづくりブランドの認定（5件程度） ●補助金の交付企業件数（6件程度）	●川崎ものづくりブランドの認定（9件） ●補助金の交付企業件数（6件）	2

④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標通りの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●ものづくり医療イノベーション推進事業については、次年度以降は、産業振興財団と本市との間で今年度締結した協定書に基づき、同センター共用スペース等の維持管理費の一部を本市が負担し、産学官が異分野融合体制で、革新的課題の研究とその成果の実用化に取り組む施設として安定的な運営が行えるよう、支援を実施します。 ●ものづくり中小企業販路開拓支援事業については、次年度は、川崎ものづくりブランド認定企業による展示会への出展経費への補助と複数企業の共同出展経費の一部の補助を継続する一方で、かわさきものづくりPR製品開発等支援を廃止するなど、事業内容を見直しして実施します。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	中小企業の成長促進
作成課	工業振興課	関係課	次世代産業推進室・企画課
重点課題の内容	●本市には、大企業の研究機関や高度な技術力を有する中小企業が数多く集積し、地域産業を支える重要な役割を担っていますが、経済の国際化や少子高齢化など急激な社会経済環境の変化により、中小企業を取り巻く経営環境は大きく変化しています。 ●地域経済の活性化を図るためには、ものづくり産業集積の優位性を活かしながら、製品や技術等の高付加価値化、生産性の向上、知的財産の活用促進を図るとともに、独自の技術やサービスを活かした起業・創業や新事業分野進出の取組に対する支援や、新たな成長産業の振興・育成を通じて、中小企業の成長を促進することが必要となります。		
重点課題の解決に向けた目標	●本市の強みであるものづくり機能や研究開発機能を活かして、新技術・新製品開発や産学連携の促進、知的財産の活用によるオープンイノベーションの推進、起業・創業の促進、超高齢社会に対応したウェルフェアイノベーションの推進に取り組むことで、川崎発のイノベーションを起こせるような環境づくり、しくみづくりを推進し、競争力のある付加価値の高い産業構造への転換を図ることで中小企業の成長を促進します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算 算額	前半			1年間		
	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
新技術・新製品開発等支援事業 予算 6,465 千円 決算見込 5,959 千円	●補助金の公募を実施 ●川崎市産業振興支援事業評価委員会及び審査会の開催 ●補助金の交付決定事務	目標どおり達成できました。	3	●補助金の公募を実施 ●川崎市産業振興支援事業評価委員会及び審査会の開催 ●補助金の交付決定事務 ●補助金の交付企業に対する中間検査の実施 ●実績報告に基づく補助金額の確定及び支払 ●次年度の補助金制度の募集説明会・個別相談会の開催 ●過去の交付企業へのフォローアップ（訪問・アンケート）	目標どおり達成できました。 ●申請企業11社 ●採択企業8社 ●交付企業7社	3
産学共同研究開発プロジェクト助成事業 予算 6,000 千円 決算見込 3,670 千円	●補助金の公募を実施 ●川崎市産業振興支援事業評価委員会及び審査会の開催 ●補助金の交付決定事務	目標どおり達成できました。	3	●補助金の公募を実施 ●川崎市産業振興支援事業評価委員会及び審査会の開催 ●補助金の交付決定事務 ●補助金の交付企業に対する中間検査の実施 ●実績報告に基づく補助金額の確定及び支払 ●次年度の補助金制度の募集説明会・個別相談会の開催 ●過去の交付企業へのフォローアップ（訪問・アンケート）	目標どおり達成できました。	3
起業化総合支援事業 予算 7,040 千円 決算見込 5,867 千円	●創業フォーラムの開催（年2回のうち1回） ●かわさき起業家オーディションの開催（年6回のうち2回まで） ●創業支援担当者会議の開催（年2回のうち1回）	目標どおり達成できました。	3	●創業フォーラムの開催（年2回） ●起業家塾の開催（10日間程度） ●かわさき起業家オーディションの開催（年6回） ●創業支援担当者会議の開催（年2回）	目標どおり達成できました。	3
ウェルフェアイノベーション推進事業 予算 63,913 千円 決算見込 56,044 千円	●ウェルフェアイノベーションフォーラム分科会の開催 ●コーディネーターの配置 ●福祉製品開発等のプロジェクト創出 ●プロジェクトに対する試作化委託の実施 ●中国の福祉や法整備等の実態把握	目標どおり達成できました。	3	●ウェルフェアイノベーションフォーラムの開催 ●コーディネーターを活用したプロジェクトの推進 ●中国福祉関係者との交流、現地視察 ●中国の実態把握の成果をウェルフェアイノベーションフォーラム等で報告	目標どおり達成できました。	3
知的財産戦略の推進 予算 8,400 千円 決算見込 8,896 千円	●知的財産シンポジウムの開催（1回） ●知的財産交流会の開催（2回） ●知的財産マッチング支援及び事業化に向けたフォロー（コーディネータ派遣）（100回） ●大企業と中小企業のマッチング成立件数（2件） ●知的財産スクールの開催（6回）	●知的財産シンポジウムの開催（1回） ●知的財産交流会の開催（5回） ●コーディネータ派遣（133回） ●マッチング成立件数（3件） ●知的財産スクールの開催（6回）	2	●知的財産シンポジウムの開催（1回） ●知的財産交流会の開催（4回） ●知的財産マッチング支援及び事業化に向けたフォロー（コーディネータ派遣）（220回） ●大企業と中小企業のマッチング成立件数（3件） ●知的財産スクールの開催（6回）	●知的財産シンポジウムの開催（1回） ●知的財産交流会の開催（8回） ●コーディネータ派遣（265回） ●マッチング成立件数（4件） ●知的財産スクールの開催（6回）	2

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	●補助金の申請企業数 (新技術・新製品開発等支援事業、産学共同研究開発プロジェクト助成事業) ※補助金の申請企業数は、国や県の補助制度の実施状況の影響を受けるため、数値目標の設定に適さず、実績値のみを記載		3	●補助金の交付企業数 (新技術・新製品開発等支援事業、産学共同研究開発プロジェクト助成事業) ※補助金の申請企業数は、国や県の補助制度の実施状況の影響を受けるため、数値目標の設定に適さず、実績値のみを記載	●新技術・新製品開発等支援事業(8件) ●産学共同研究開発プロジェクト助成事業(1件)	3
指標②	●プロジェクト創出・推進件数 ●ウェルフェアイノベーションフォーラム(分科会・マッチング会等を含む)開催回数(1回)	●ウェルフェアイノベーションフォーラム(分科会・マッチング会等を含む)開催回数(1回)	3	●プロジェクト創出・推進件数(6件) ●ウェルフェアイノベーションフォーラム(分科会・マッチング会等を含む)開催回数(3回)	●プロジェクト創出・推進件数(10件) ●ウェルフェアイノベーションフォーラム(分科会・マッチング会等を含む)開催回数(3回)	3
指標③	●創業フォーラムの開催(年2回のうち1回) ●かわさき起業家オーディションの開催(年6回のうち2回まで) ●知的財産交流会等の開催回数(2回)	●創業フォーラムの開催(1回) ●かわさき起業家オーディションの開催(2回) ●知的財産交流会等の開催(5回)	2	●創業フォーラムの開催(年2回) ●かわさき起業家オーディションの開催(年6回) ●知的財産交流会等の開催回数(4回)	●創業フォーラムの開催(年2回) ●かわさき起業家オーディションの開催(年6回) ●知的財産交流会等の開催(5回)	3

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標通りの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●新技術・新製品開発等支援事業、産学共同研究開発プロジェクト助成事業については、市内中小企業が他社との差別化を図るためには、新製品や新技術開発による新事業や新分野への進出が必要不可欠であることから、引き続き事業を継続していきます。 ●起業化総合支援事業については、市内での起業・創業をより一層進めていくために、引き続き事業を継続していきます。 ●ウェルフェアイノベーション推進事業については、事業の必要性が高まっていること、プロジェクトの創出・推進が順調に進んでいることから、次年度は一層の充実を図っていきます。 ●知的財産戦略の推進では、知的財産交流会において大企業と中小企業の間で数多くのマッチング成果が生まれ、中小企業の新事業展開の促進につながっており、「川崎モデル」の特許流通支援として国や全国の自治体からも注目されていることから、引き続き積極的に推進していきます。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

＜①重点課題の内容等＞

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	都市農業の振興
作成課	農業振興課	関係課	農地課・農業技術支援センター
重点課題の内容	●農業を取り巻く環境は、営農環境の悪化や担い手の減少など、厳しさを増しています。そのような中、市民に新鮮で、安全・安心な農産物を供給するとともに、自然環境や防災、教育など多面的な機能を有する農業・農地の重要性は益々高まっています。 ●現行の農業振興計画（かわさき農の新生プラン）に基づき、農業者の営農意欲を向上させ、農業・農地の維持・保全をしていくためには、農業技術支援や農業生産基盤整備、地産地消の推進が特に重要となります。また、計画期間の終了期を迎えている現行の農業振興計画に代わるものとして、新たな課題に対応した今後10年間の次期農業振興計画を策定する必要があります。		
重点課題の解決に向けた目標	●農業者の営農意欲を向上させ、次世代に農業・農地を残していくために、各種講習会や品評会の開催、試験研究、大学・企業等との連携等を通じた技術的支援や、市民の農業理解や市内農業を応援する仕組みづくり、ブランド化等による市内産農産物の販売促進などのソフト面での施策展開を図るとともに、農業振興地域を中心とした農業用施設等の計画的な調査・改修（ストックマネジメント）を行い長寿命化を図るなど、ハード面での整備を推進します。また、新たな課題に対応した今後10年間の次期農業振興計画を策定します。		

＜②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等＞

事務事業名・予算額		前半		1年間	
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）
農業振興計画推進事業		●次期農業振興計画部内検討会の開催（月1～2回） ●次期農業振興計画策定懇談会及び策定部会の開催（各1回） ●2013年度農業実態調査の集計 ●害獣被害調査（委託事業）の実施（5月～、月次報告確認） ●HP・メルマガ、農政情報誌等による農情情報の発信・PR	目標どおり達成できました。	●次期農業振興計画案の策定 ●2013年度農業実態調査の取りまとめ及び結果公表 ●害獣被害調査の実施（～2月、報告書の確認、有害鳥獣駆除事業へのフィードバック） ●HP・メルマガ、農政情報誌等による農情情報の発信・PR	目標どおり達成できました。
	予算 26,431 千円				
	決算見込 25,975 千円				
農業技術支援事業		●農産物加工実習室の設置、老朽化施設整備の検討 ●大学や企業等と連携した試験研究及び大学からのインターンシップ等の受け入れ ●生産者向け講習会等の実施 ●園芸展覧会（植木の部）の開催（5月：等々力緑地）、梨・ぶどう品評会（前期・後期）の開催（前期：8月農業技術支援センター、後期：8～9月農業技術支援センター） ●有償援農ボランティアの育成	目標どおり達成できました。	●農産物加工実習室の運用、老朽化施設整備の検討 ●大学や企業等と連携した試験研究及び大学からのインターンシップ等の評価 ●大学や企業等と連携した試験研究 ●生産者向けの講習会等の実施 ●園芸展覧会（園芸生産物の部）の開催（11月） ●有償援農ボランティアの育成	目標どおり達成できました。
	予算 44,037 千円				
	決算見込 54,752 千円				
地産地消推進事業		●第1回かわさき地産地消推進協議会の開催 ●かわさきそだちPR活動（バスツアー、料理教室等）及びその一環としての農産物直売の実施 ●学校給食への供給推進及び食農教育指導者の育成の検討 ●JR南武線活性化事業と連動したイベント等の検討 ●地域農産物確立のための講習会等の企画	目標どおり達成できました。	●かわさき地産地消推進協議会の開催（年3回） ●かわさきそだちPR活動（バスツアー、料理教室等）及びその一環としての農産物直売の実施 ●学校給食への供給及び食農教育指導者の育成 ●JR南武線活性化事業と連動したイベント等の検討 ●市内産農産物の安定供給支援 ●大型農産物直売所出荷奨励及び直売団体育成支援	目標どおり達成できました。
	予算 28,830 千円				
	決算見込 27,631 千円				

生産基盤等整備事業	●早野ため池におけるハザードマップ作成に向け関係機関等との調整 ●早野ため池間水路改修に向けた測量設計の実施 ●農業用施設ストックマネジメント改修費補助 ●黒川東土地改良事業共同施工の換地促進	目標どおり達成できました。	●早野ため池におけるハザードマップ作成に向け関係機関等との調整 ●早野ため池間水路改修工事の実施 ●農業用施設のストックマネジメント調査の実施 ●農業用施設ストックマネジメント改修費補助 ●黒川東土地改良事業共同施工の換地促進 ●動力揚水機（農業用水取水堰代替施設）の動力費及び維持管理費の補償 ●農業用動力揚水機の動力費の補助 ●大丸用水堰改修事業費の一部負担（基本設計）	年度内での完了を予定していた、早野ため池間水路改修工事について、関係部局や受益者である地元農家団体との調整に時間を要してしまっただけ、次年度初めまで工期を延長することとなりました。	4
予算	45,742 千円				
決算見込	24,995 千円				

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	農業者数や農地面積等の指標が計画・目標値となり得るが、半年・1年という短期間での成果が期待できないため、指標を設定することが困難です。					

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標通りの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●生産基盤等整備事業における早野ため池については、神奈川県が実施した耐震調査の結果、耐震に問題ないことが確認できました。 ●その他の農業生産基盤施設の老朽化調査・整備の推進を図ります。 ●地産地消推進事業における出荷奨励事業については、今年度の検討の結果、次年度は事業を継続する方向となりましたが、2016年度以降は、政策効果発現の観点から、どのような支援がより効果的か、再度検討することとなりました。 ●次期農業振興計画の策定において、農業技術支援センターの技術支援機能の強化に向けた検討を進める中、安全性に課題のある同センターの熱帯果樹温室等の老朽化施設については、撤去を基本に検討を進めていきます。撤去後の跡地については、試験ほ場や研修ほ場等としての利用を検討していきます。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

＜①重点課題の内容等＞

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	新川崎・創造のもり地区での新たな施設整備
作成課	経済労働局次世代産業推進室	関係課	
重点課題の内容	●「新川崎・創造のもり」第3期第2段階事業として、先端産業の集積及び新技術・新産業創出に向けた新たな産学交流・研究開発施設の整備を推進します。		
重点課題の解決に向けた目標	●民間活力を活用した産学交流・研究開発施設の整備に向けて、要求水準書を作成し、整備に取り組む民間事業者の募集を行います。		

＜②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等＞

事務事業名・予算額	前半				1年間			
	取組内容・目標		実績等（目標との差異や次期への方向性等）		取組内容・目標		実績等（目標との差異や次期への方向性等）	
新川崎・創造のもり第3期計画推進事業	●第3期第2段階事業施設整備に係る基本計画策定及び要求水準書（案）作成等		目標通り達成できました。		●第3期第2段階事業施設整備に係る要求水準書作成等		概ね目標通りに達成できました。	
予算	56,939	千円	3				3	
決算見込	55,202							

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値		実績値（計画・目標値との差異）	計画・目標値		実績値（計画・目標値との差異）
指標①	民間活力を活用した新たな研究開発施設の整備に向けて、民間事業者の募集・選定等を行うものであり、数値の指標を設定することが困難です。					

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分		事務事業の総合的な実施結果区分についての説明	新川崎・創造のもり地区への新たな産学交流・研究開発施設の整備事業については、2014年12月に募集要項・要求水準書の素案を公表し、民間事業者との対話、正式な公募に向けた公募条件の調整を行い、年度当初に設定した目標を概ね達成しました。
目標を上回る成果があった			
目標通りの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	引き続き課題が存在するので、2015年度も取組を継続していく必要があります。
課題は増大している			
課題は同水準で存在する	■		
課題は縮小・解消している			

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	新川崎・創造のもり地区への新たな産学交流・研究開発施設整備事業については、本年度の検討の結果、事業の必要性が高いことが確認されたことから、民間事業者の活力を活用した整備手法を採用することにより、事業効率の向上を図りつつ、事業を推進します。 2015年度は、施設整備を行う民間事業者の選定等を実施する予定です。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	重点課題名	臨港道路東扇島水江町線の整備等による川崎港の機能強化
作成課	港湾局港湾経営部整備計画課	関係課	港湾局港湾経営部経営企画課、港湾局港湾経営部整備計画課、川崎港管理センター設備課
重点課題の内容	●国際コンテナ戦略港湾の実現に向けて、川崎港を含む京浜港の国際競争力強化を目指すとともに、貨物集荷等の取組を推進します。 ●千鳥町再整備計画に基づく施設の再配置や既存ストックの有効活用を図ることにより、千鳥町地区の再整備を推進します。 ●コンテナ貨物量の動向や社会経済情勢などを見据えながら、川崎港コンテナターミナルの適正な維持管理を行うとともに、施設整備等を図ります。 ●京浜港における外貿コンテナ輸送需要の増加や東扇島の物流機能の効率化に対応した交通機能の強化、臨海部交通ネットワークの充実、環境負荷の軽減、災害時における緊急物資輸送路並びに東扇島で働く人々の避難路の拡充のため、東扇島と水江町を結ぶ臨港道路の整備を促進します。		
重点課題の解決に向けた目標	●京浜港広域連携の取組を推進し、特に川崎港のメインターゲットであるアジア関連貨物の集荷に取り組むとともに、川崎港コンテナターミナルの第2段階の民営化に向けた検討・調整を行います。 ●老朽化対策や埠頭機能の転換が必要な千鳥町公共埠頭の効率化を図ります。 ●川崎港コンテナターミナル内の各種施設の維持補修や再整備を実施することにより、コンテナターミナル機能の維持・向上を図ります。 ●臨海部の交通ネットワークの充実や環境負荷の軽減、災害時における緊急物資の輸送路や働く人々の避難路を拡充するため、臨港道路東扇島水江町線の整備を促進します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前半			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
京浜港広域連携推進事業	予算	●国際コンテナ戦略港湾の実現に向けた三港連携施策の推進 ●川崎港利用促進策の検討・実施 ●京浜三港の特例港湾運営会社の統合に向けた協議	目標どおり達成できました。	3	●国際コンテナ戦略港湾の実現に向けた三港連携施策の推進 ●川崎港利用促進策の検討・実施 ●京浜三港の特例港湾運営会社の統合に向けた協議	目標どおり達成できました。	3
	140,732 千円						
	決算見込						
千鳥町再整備事業	107,642 千円	●千鳥町再整備事業の円滑な推進に向け、地元港湾関係者で構成する「千鳥町再整備計画推進会議」の第1回を開催 ●倉庫の再配置・高度化に向けた民間土地所有者（A者）との交渉、協議の上、用地取得に係る庁内会議等の手続きの実施 ●倉庫の再配置・高度化に向けた民間土地所有者（B者）との交渉、協議の上、土地交換について内諾を取得 ●荷役効率化に向け、荷捌地の大規模な移転計画の検討及び荷捌地利用者との調整 ●1号上屋の機能を維持するための工事の実施	目標どおり達成できました。	3	●千鳥町再整備事業の円滑な推進に向け、地元港湾関係者で構成する「千鳥町再整備計画推進会議」を2回開催 ●倉庫の再配置・高度化の実現に向けた民間土地所有者（A者）の用地取得及び荷捌地整備 ●倉庫の再配置・高度化の実現に向けた民間土地所有者（B者）の土地交換に係る庁内会議等の手続きの実施 ●荷役効率化に向け、荷捌地の大規模な移転計画の策定及び荷捌地移転の実施 ●1号上屋の機能を維持するための工事の実施 ●A号上屋の機能を維持するための工事の実施 ●千鳥町地区の油水分離施設整備に向けた設計及び工事の実施	各取組について、ほぼ目標どおり達成できました。油水分離施設の工事については、利用者調整の結果、次年度以降に実施することとしました。	3
	3,381,594 千円						
	決算見込						
コンテナターミナル維持・整備事業	3,138,946 千円	●受電用電気設備及び受変電棟空調設備補修工事の設計・積算及び発注 ●ガントリークレーン・トランスファークレーン補修工事の設計・積算及び発注 ●ターミナルの改良工事の実施	目標どおり達成できました。	3	●受変電等電気設備の保守点検・補修工事の実施 ●ガントリークレーン・トランスファークレーンの保守点検・補修工事の実施 ●第3レーンの改良を実施 ●照明設備詳細設計を実施 ●ターミナルの改良工事の実施	各取組について、ほぼ目標どおり達成できました。受変電設備の保守点検及びガントリークレーン・トランスファークレーンの保守点検を実施し、補修・改修工事を行い完了しました。また、ヤード改良工事においては利用者調整の結果、来年度に実施いたします。	3
	811,616 千円						
	決算見込						
臨港道路東扇島水江町線整備事業	413,080 千円	●国等関係機関との協議・調整 ●国による整備の取組への支援 ●道路改良工事	目標どおり達成できました。	3	●国等関係機関との協議・調整 ●国による整備の取組への支援 ●道路改良工事	目標どおり達成できました。	3
	2,875,441 千円						
	決算見込						
	1,770,022 千円						

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分	計画・目標値	実績値 (計画・目標値との差異)	区分
指標①	臨港道路東扇島水江町線や千鳥町の再整備など、複数年にまたがる事業によって機能強化を図るため、単年度での指標を設定することが困難です。					

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分		事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	●臨港道路東扇島水江町線については現地工事に着手し、川崎港コンテナターミナル内の各種施設の維持補修・再整備および千鳥町再整備に向けた取組も着実に進捗したことから、成果があったと考えられます。
目標を上回る成果があった			
目標通りの成果があった	■		
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		

課題の状況区分についての説明	●引き続き課題が存在するので、2015年度も取組を継続していく必要があります。
----------------	---

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	●臨港道路東扇島水江町線整備事業については、今年度、現地工事に着手したことから、今後は順次、事業規模が拡大していくこととなります。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	5 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり	重点課題名	有償ボランティア制度の検討
作成課	総合企画局自治推進部	関係課	
重点課題の内容	●市内には、65歳以上のシニア世代が26万人以上います。元気で経験と知識の豊富なシニア世代は地域社会の宝物であり、その経験や知識を活かして様々な活動に参加していただくことで輝いていただき、また、活動が活発化することで地域の活性化につなげるための取り組みが必要です。その際に活動が続けられる程度の対価を支払うことで、生きがいと地域ビジネスの両立を目指す仕組み（有償ボランティア制度）の構築を行います。		
重点課題の解決に向けた目標	●制度設計を行うにあたって、庁内での検討会議を立ち上げます。 ●様々な事例の調査検討や、実際に活動されている多くの方々のご意見や有識者へのヒアリングを実施します。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前半			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
多様な主体による連携推進事業		●多様な主体との連携に向けた基準策定のための検討委員の選定及び依頼 ●有償ボランティア制度の構築に向けた庁内検討会議の各課依頼 ●様々な事例検討や実際の活動家・有識者等へのヒアリングを行うための外部委託業者の選定	有償ボランティア制度の構築については、制度設計に向け、関係各課へのヒアリングや打ち合わせを適宜行いました。事例検討については、業者発注による手法を改め、都市政策研究会での講師依頼や、市民活動センターや社会福祉協議会等の関係団体や有識者に対して直接訪問を行いヒアリングを行いました。	3	●多様な主体との連携に向けた基準策定のための検討委員会の立ち上げ及び課題の抽出・基準づくりに向けた検討 ●有償ボランティア制度の構築に向けた庁内検討会議の立ち上げ及び課題の抽出・解決に向けた検討 ●事例調査・実際の活動家や有識者へのヒアリング	目標どおり達成できました。なお、有償ボランティア制度の構築に向けた課題の抽出・解決に向けた検討は、庁内で協働・連携推進施策の構築に向けた検討を行うために設置した「川崎市地方分権推進会議 協働・連携に関する専門部会」の中で、地域貢献・社会貢献のための環境整備の一環として検討することとしました。	3
予算	1,857千円						
決算見込	1,322千円						

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	重点課題の内容が制度の検討ですので、数値目標を設定することが困難なため指標を設定できません。					

④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分	事務事業の総括的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった	
目標通りの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	課題の状況区分についての説明
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果の説明	次年度も引き続き「多様な主体による協働・連携推進事業」の一環として検討を進めます。
----------------------	---

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

＜①重点課題の内容等＞

基本戦略	5 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり	重点課題名	町内会・自治会活動の活性化
作成課	市民・子ども局市民生活部市民活動推進課	関係課	
重点課題の内容	地域コミュニティの中核を担う重要な組織であり、行政との協働のパートナーである町内会・自治会を支援します。現行の町内会・自治会会館整備に係る補助制度について見直しを行い、2015年度から新たな制度を導入します。2018年度に再開発ビルに移転する総合自治会館について、市民自治活動の拠点としてふさわしいものとなるよう、（公財）川崎市市民自治財団の機能強化と併せた検討を行います。 また、同財団及び川崎市全町内会連合会に対して補助金を交付するとともに、自治功労者表彰等の実施、市内の全町内会・自治会に対する住民組織調査の実施、認可地縁団体に係る事務の実施、町内会・自治会活動の広報・啓発等を行います。		
重点課題の解決に向けた目標	新たな会館整備補助制度の構築や、新総合自治会館の施設概要の取りまとめを行うとともに、川崎市全町内会連合会及び（公財）川崎市市民自治財団の活動支援や、自治功労者表彰等の実施を通じて、町内会・自治会活動の活性化を図ります。		

＜②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等＞

事務事業名・予算額		前半			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
地域振興事業		●新たな会館整備補助制度の骨格についての庁内合意 ●現行の利子補給制度に係る事務の実施 ●新総合自治会館の移転に向けた施設概要の検討 ●川崎市全町内会連合会の活動の支援 ●住民組織調査の実施 ●認可地縁団体に係る事務の実施	目標どおり実施できました。	3	●2015年度から実施する新たな会館整備補助制度の構築 ●現行の利子補給制度に係る事務の実施 ●新総合自治会館の施設概要のとりまとめ ●川崎市全町内会連合会の活動の支援 ●認可地縁団体に係る事務の実施 ●町内会・自治会の活動等に係る広報・啓発 ●自治功労者表彰等の実施	目標どおり実施できました。	3
川崎市市民自治財団補助・運営事業		●（公財）川崎市市民自治財団の活動の支援 ●川崎市総合自治会館の老朽化に対応するための施設整備の実施	目標どおり実施できました。	3	●（公財）川崎市市民自治財団の活動の支援 ●川崎市総合自治会館の老朽化に対応するための施設整備の実施	目標どおり実施できました。	3
町内会・自治会会館耐震化事業		●現行の耐震化助成制度に係る事務の実施 （●新たな会館整備補助制度の骨格についての庁内合意）	目標どおり実施できました。	3	●現行の耐震化助成制度に係る事務の実施 （●2015年度から実施する新たな会館整備補助制度の構築）	目標どおり実施できました。	3
予算	30,902 千円						
決算見込	28,805 千円						
予算	48,945 千円						
決算見込	48,919 千円						
予算	6,918 千円						
決算見込	2,454 千円						

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

		前半			1年間		
		計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	町内会・自治会は、地域住民によって自発的に結成される任意団体であり、その活動に関して行政が目標値を設定することはなじまないと考え、指標を設定しなかったものです。						

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総括的な実施結果区分	
目標を上回る成果があった	
目標通りの成果があった	■
目標を下回る成果があった	
ほとんど成果なし	

事務事業の総括的な実施結果区分についての説明	新たな会館整備補助制度の構築や、新総合自治会館の施設概要の取りまとめを行ったほか、川崎市全町内会連合会及び（公財）川崎市市民自治財団の活動支援や、自治功労者表彰等を適正に実施したことから、当初目標として設定した、町内会・自治会活動の活性化については、成果があったと考えられます。
------------------------	--

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分	
課題は増大している	
課題は同水準で存在する	■
課題は縮小・解消している	

課題の状況区分についての説明	町内会・自治会活動の活性化に向けて、引き続き課題が存在するので、2015年度以降も取組を継続していくことが必要です。
----------------	---

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果の説明	町内会・自治会会館耐震化事業については、地域活動の拠点である会館の整備をより一層促進していくため、2015年度から補助内容を充実させることとしました。これに伴い、会館建設資金に係る利子補給制度については2015年度から新規受付を停止することとなりました。 また、川崎市総合自治会館の再開発ビルへの移転は、ビル竣工時期の変更に伴い2018年度から2019年度に変更することとなりました。会館移転に向け、管理運営者である（公財）川崎市市民自治財団と連携し、同会館が市民自治活動の拠点となるよう会館機能等の検討を行います。
----------------------	--

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート

①重点課題の内容等

基本戦略	5 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり	重点課題名	区への分権等に向けた取組
作成課	市民・こども局区政推進部区調整課	関係課	
重点課題の内容	●「身近な課題は身近な所で解決する」という「補完性の原則」に基づき、区が地域の特性に応じて、自ら課題を解決することができる責任と権限を持った区役所とすることが必要です。 ●今後、国における地方自治法改正の動向も注視しながら、予算や組織などについて総合的に調査・検討し、「区役所のあり方」を取りまとめ、区への分権に向けた取組を推進します。		
重点課題の解決に向けた目標	●国における地方自治法改正の動向も注視し、新たな総合計画や行財政運営に関する改革プログラム等との整合性を図りながら、「区役所のあり方」の考え方を取りまとめる。		

②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等

事務事業名・予算額		前半			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
区役所機能の強化		●区への分権に向けた中長期的な「区役所のあり方」の考え方（素案）の策定 ●区における地域の課題解決や協働の推進に向けた取組の推進 ●2015年度予算を含む「区予算のあり方」についての検討及び予算要求手法・内容の決定 ●「区における総合行政の推進に関する規則」の運用	中長期的な「区役所のあり方」の考え方の素案となる『区への分権に向けた中長期的な「区役所のあり方」の考え方の基本方向』を取りまとめました。 今年度末に中長期的な「区役所のあり方」の考え方を取りまとめます。	3	●区への分権に向けた中長期的な「区役所のあり方」の考え方の取りまとめ ●区における地域の課題解決や協働の推進に向けた取組の推進 ●2015年度予算を含む「区予算のあり方」についての検討及び方向性の確認 ●「区における総合行政の推進に関する規則」の運用	目標どおり達成できました。	3
予算	0千円						
決算見込	0千円						

③重点課題の解決状況に関連する指標

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①	現在、中長期的な「区役所のあり方」の考え方に基づき、「区役所改革の基本方針」策定に向けた検討を進めておりますので、具体的な指標の設定は困難です。					

④重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分について

重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分		事務事業の総合的な実施結果区分についての説明
目標を上回る成果があった		
目標通りの成果があった	■	
目標を下回る成果があった		
ほとんど成果なし		
		●区総合行政推進会議をはじめ、中長期的な「区役所のあり方」検討会議等で検討を重ね、区への分権に向けた『中長期的な「区役所のあり方」の考え方』を取りまとめました。 - この考え方を踏まえ、2015年度は「区役所改革の基本方針」を策定します。

⑤課題の状況について

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明
課題は増大している		
課題は同水準で存在する	■	
課題は縮小・解消している		
		●引き続き課題が存在することから、2015年度も検討を重ね、「区役所改革の基本方針」を策定することが必要です。

⑥次年度における事務事業の見直し結果

次年度における事務事業の見直し結果の説明	
----------------------	--

3 重点課題進行管理シート 掲載ページ索引

「アクションプログラム2014」に基づく51の重点課題は、次のとおり基本戦略順に掲載しています。また、114ページ以降には作成局別の索引を掲載しています。

(1) 基本戦略順索引

基本戦略1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり

No.	重点課題名	頁
1	防災機能の強化	16
2	本庁舎等の耐震対策の推進	18
3	健康危機管理体制の整備（新型インフルエンザ等発生時のための対策強化）	19
4	高齢者の多様な居住環境の整備	21
5	地域包括ケアシステムの構築に向けた取組	23
6	障害者の暮らしを支える取組の充実	26
7	予防接種による感染症予防の推進	28
8	がん検診の取組の強化	29
9	民間建築物の耐震化の促進	30
10	臨海部の防災・減災対策の推進	32
11	市立病院の病院機能の強化と井田病院の全面開院に向けた取組	34
12	消防力の総合的な強化	36

基本戦略2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり

No.	重点課題名	頁
1	質の高い保育・幼児教育の総合的な提供	38
2	小児医療費助成の拡充	41
3	「キャリア在り方生き方教育」の推進	42
4	確かな学力の育成	43
5	一人ひとりの教育的ニーズに対応した総合的な支援	46
6	中学校完全給食の導入に向けた取組	48
7	教育環境の整備	49
8	地域ぐるみで教育を支える環境の充実	51

基本戦略3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり

No.	重点課題名	頁
1	スマートシティ戦略の推進	53
2	地球温暖化対策の推進	55
3	国際環境施策の推進	58
4	資源循環社会の構築に向けた取組の推進	61
5	魅力ある都市拠点の整備（川崎駅周辺地区）	63
6	魅力ある都市拠点の整備（小杉駅周辺地区）	65
7	魅力ある都市拠点の整備（新百合ヶ丘駅周辺地区）	67
8	魅力ある都市拠点の整備（新川崎・鹿島田駅周辺地区）	68
9	魅力ある都市拠点の整備（溝口駅周辺地区）	70
10	魅力ある都市拠点の整備（鷺沼駅周辺地区）	71
11	魅力ある都市拠点の整備（登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区）	72
12	魅力ある都市拠点の整備（幹線道路）	74
13	身近な地域交通環境の整備	76
14	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	78
15	暮らしやすい住宅・住環境の整備	80
16	連続立体交差事業の推進	83
17	緑豊かな公園緑地の整備（等々力陸上競技場の改築など）	85
18	上下水道施設の地震対策等の推進	87
19	次期経営健全化計画に基づくバス事業の推進	89

基本戦略4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり

No.	重点課題名	頁
1	市内の公衆無線LAN環境の整備	91
2	臨海部における国際戦略拠点の形成	92
3	「音楽のまち・かわさき」「映像のまち・かわさき」の推進	94
4	「スポーツのまち・かわさき」の推進	96
5	ものづくり産業の支援	98
6	中小企業の成長促進	100
7	都市農業の振興	102
8	新川崎・創造のもり地区での新たな施設整備	104
9	臨港道路東扇島水江町線の整備等による川崎港の機能強化	105

基本戦略5 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり

No.	施策課題名	頁
1	有償ボランティア制度の検討	107
2	町内会・自治会活動の活性化	108
3	区への分権等に向けた取組	110

（２）作成局別索引

<総務局>

No.	重点課題名	頁
1	防災機能の強化	16
2	本庁舎等の耐震対策の推進	18
3	市内の公衆無線LAN環境の整備	91

<総合企画局>

No.	重点課題名	頁
1	スマートシティ戦略の推進	53
2	臨海部における国際戦略拠点の形成	92
3	有償ボランティア制度の検討	107

<市民・子ども局>

No.	重点課題名	頁
1	「音楽のまち・かわさき」「映像のまち・かわさき」の推進	94
2	「スポーツのまち・かわさき」の推進	96
3	町内会・自治会活動の活性化	108
4	区への分権等に向けた取組	110

<市民・子ども局子ども本部>

No.	重点課題名	頁
1	質の高い保育・幼児教育の総合的な提供	38
2	小児医療費助成の拡充	41

<経済労働局>

No.	重点課題名	頁
1	ものづくり産業の支援	98
2	中小企業の成長促進	100
3	都市農業の振興	102
4	新川崎・創造のもり地区での新たな施設整備	104

<環境局>

No.	重点課題名	頁
1	地球温暖化対策の推進	55
2	国際環境施策の推進	58
3	資源循環社会の構築に向けた取組の推進	61

<健康福祉局>

No.	重点課題名	頁
1	健康危機管理体制の整備（新型インフルエンザ等発生時のための対策強化）	19
2	高齢者の多様な居住環境の整備	21
3	地域包括ケアシステムの構築に向けた取組	23
4	障害者の暮らしを支える取組の充実	26
5	予防接種による感染症予防の推進	28
6	がん検診の取組の強化	29

<まちづくり局>

No.	重点課題名	頁
1	民間建築物の耐震化の促進	30
2	魅力ある都市拠点の整備（川崎駅周辺地区）	63
3	魅力ある都市拠点の整備（小杉駅周辺地区）	65
4	魅力ある都市拠点の整備（新百合ヶ丘駅周辺地区）	67
5	魅力ある都市拠点の整備（新川崎・鹿島田駅周辺地区）	68
6	魅力ある都市拠点の整備（鷺沼駅周辺地区）	71
7	魅力ある都市拠点の整備（登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区）	72
8	身近な地域交通環境の整備	76
9	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	78
10	暮らしやすい住宅・住環境の整備	80

<建設緑政局>

No.	重点課題名	頁
1	魅力ある都市拠点の整備（溝口駅周辺地区）	70
2	魅力ある都市拠点の整備（幹線道路）	74
3	連続立体交差事業の推進	83
4	緑豊かな公園緑地の整備（等々力陸上競技場の改築など）	85

<港湾局>

No.	重点課題名	頁
1	臨海部の防災・減災対策の推進	32
2	臨港道路東扇島水江町線の整備等による川崎港の機能強化	105

<交通局>

No.	重点課題名	頁
1	次期経営健全化計画に基づくバス事業の推進	89

<病院局>

No.	重点課題名	頁
1	市立病院の病院機能の強化と井田病院の全面開院に向けた取組	34

<消防局>

No.	重点課題名	頁
1	消防力の総合的な強化	36

<教育委員会事務局>

No.	重点課題名	頁
1	「キャリア在り方生き方教育」の推進	42
2	確かな学力の育成	43
3	一人ひとりの教育的ニーズに対応した総合的な支援	46
4	中学校完全給食の導入に向けた取組	48
5	教育環境の整備	49
6	地域ぐるみで教育を支える環境の充実	51

<上下水道局>

No.	重点課題名	頁
1	上下水道施設の地震対策等の推進	87

参考資料 帳票

1 様式1 事務事業進行管理シート

2014年度 事務事業進行管理シート

様式1

<事務事業の基礎情報>

事務事業コード		事務事業名		重点課題	
第1階層名 (暫定分類)		第2階層名 (暫定分類)		第3階層名 (暫定分類)	
事務事業所管組織				担当者名	連絡先
事務事業の概要					

予決算 (単位：千円)	年度	2013年度		2014年度		2015年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
	事業費	0	0	0	0	0	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0
人工(単位：人)		0.00		0.00		0.00	

<目標・実績に関する情報>

2014年度の 取組内容・目標							
2014年度の 目標の達成状況区分							
実績等(目標との差 異や次期への方向性 等)							
数値で把握するこ とが可能な事業	種類	数値指標の内容		2013	2014	2015	単位
			実績値				
			実績値				
			実績値				
			実績値				

<新たな総合計画に向けた事務事業の方向性に関する情報>

事務事業のあり方 に関する検討方針	☐ 事務事業内容の見直し (☐ 事業規模拡大 ☐ 事業規模縮小 ☐ 事業手法・執行体制の変更 ☐ その他) ☐ 他事務事業との統合 ☐ 事務事業の廃止 ☐ 現状維持
上記に関する補足事 項	
上記の検討結果(事 務事業を見直し、次 年度に反映させた内 容を含む)	

2 様式2 事務事業進行管理シート（重点課題用）

2014年度 事務事業進行管理シート（重点課題用）

様式2

<事務事業の基礎情報>

事務事業コード		事務事業名		重点課題	
第1階層名 (暫定分類)		第2階層名 (暫定分類)		第3階層名 (暫定分類)	
事務事業所管組織				担当者名	連絡先
事務事業の概要					

予決算 (単位：千円)	年度		2013年度		2014年度		2015年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算
	財 源 内 訳	事業費	0	0	0	0	0	0
		国庫支出金	0	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0		
人工(単位：人)			0.00		0.00		0.00	

<目標・実績に関する情報>

2014年度の 取組内容・目標	前半		1年間					
2014年度の 目標の達成状況区分								
実績等（目標との差異や次期への方向性等）								
数値で把握することが可能な事業	種類	数値指標の内容			2013	2014	2015	単位
			実績値					
			実績値					
			実績値					
			実績値					
			実績値					

<新たな総合計画に向けた事務事業の方向性に関する情報>

事務事業のあり方に関する検討方針	☐ 事務事業内容の見直し（ ☐ 事業規模拡大 ☐ 事業規模縮小 ☐ 事業手法・執行体制の変更 ☐ その他） ☐ 他事務事業との統合 ☐ 事務事業の廃止 ☐ 現状維持
上記に関する補足事項	
上記の検討結果（事務事業を見直し、次年度に反映させた内容を含む）	

3 様式3 事務事業進行管理シート（その他の事務事業用）

2014年度 事務事業管理シート

様式3

<事務事業の基礎情報>

事務事業コード		事務事業名			
事務事業所管組織			担当者名		連絡先
事務事業の概要					

予決算 (単位：千円)	年度		2013年度		2014年度		2015年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算
	財 源 内 訳	事業費	0	0	0	0	0	0
		国庫支出金	0	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0		
人丁(単位：人)			0.00		0.00		0.00	

<新たな総合計画に向けた事務事業の方向性に関する情報>

事務事業のあり方に関する検討方針	☐ 事務事業内容の見直し（ ☐ 事業規模拡大 ☐ 事業規模縮小 ☐ 事業手法・執行体制の変更 ☐ その他） ☐ 他事務事業との統合 ☐ 事務事業の廃止 ☐ 現状維持
上記に関する補足事項	
上記の検討結果（事務事業を見直し、次年度に反映させた内容を含む）	

4 **様式 4** 「アクションプログラム 2014」に基づく重点課題進行管理シート

「アクションプログラム2014」に基づく重点課題進行管理シート **様式 4**

＜①重点課題の内容等＞

			担当者		連絡先	
基本戦略		重点課題名				
作成課		関係課				
重点課題の内容						
重点課題の解決に向けた目標						

＜②重点課題に位置付けられた事務事業の目標・実績等＞

事務事業名・予算額		前半			1年間		
		取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分	取組内容・目標	実績等（目標との差異や次期への方向性等）	区分
予算	千円						
決算見込	千円						
予算	千円						
決算見込	千円						

＜③重点課題の解決状況に関連する指標＞

	前半			1年間		
	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分	計画・目標値	実績値（計画・目標値との差異）	区分
指標①						
指標②						
指標③						

＜④重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分について＞

重点課題に位置付けられた事務事業の総合的な実施結果区分		事務事業の総合的な実施結果区分についての説明	
目標を上回る成果があった			
目標通りの成果があった			
目標を下回る成果があった			
ほとんど成果なし			

＜⑤課題の状況について＞

年度当初と比べた現時点での課題の状況区分		課題の状況区分についての説明	
課題は増大している			
課題は同水準で存在する			
課題は縮小・解消している			

＜⑥次年度における事務事業の見直し結果＞

次年度における事務事業の見直し結果区分の説明	
------------------------	--

「アクションプログラム 2014」
実施結果

平成 2 7 年 8 月発行

問い合わせ先

川崎市総合企画局都市経営部企画調整課

T E L 0 4 4 - 2 0 0 - 2 0 3 7

F A X 0 4 4 - 2 0 0 - 3 7 9 8

E - mail 20kityo@city.kawasaki.jp

H P <http://www.city.kawasaki.jp>



KAWASAKI CITY